

第十一條 監督員ハ検査上周到ナラスト見認ル場合ニ於テハ再検査ヲ郡長ニ協議スル者ト
ス 但本條ノ場合ニ於テハ其顛末ヲ通報スルモノトス

○縣令甲第十四號 明治二十四年二月二十四日

縣稅徵收細則縣會ノ決議ヲ經テ左ノ通定ム 但明治二十四年度ヨリ施行ス(樣式略ス)

縣稅徵收細則

第一條 縣稅ノ徵收ハ都ヘテ縣知事ヨリ各郡長ニ委任シテ之ヲ取扱ハシムヘシ

第二條 郡長ニ於テ町村ニ對シ發スル徵稅令書ハ第一號樣式ニ依リ調製シ納期初日ヨリ五日以内ニ發付スヘシ(二十九年縣令第一四號ヲ以テ改正)

第三條 町村長ニ於テ納稅人ニ交付スル徵稅傳令書ハ第二號樣式ニ依リ調製シ納期初日ヨリ十日以内ニ於テ交付スヘシ(同上)

第四條 郡長ニ於テ直ニ納稅人ニ對シ發スル日稅、屠畜稅、捕獸鳥稅其他隨時徵收ノ徵稅令書ハ第三號樣式ニ依リ調製シ其時々納人ニ發付スヘシ(同上)

第五條 郡長ニ於テ徵稅令書ヲ發シタルトキハ第一號樣式ノ納額告知書ヲ切離シテ之ヲ縣出納吏ニ交付スヘシ

第六條 町村長ニ於テ地租割、船車稅ノ徵稅傳令書ヲ各納稅人ニ交付シタル後納期限內納付前ニ於テ納稅人ノ土地若クハ船車ノ所有權移轉シ又ハ土地ノ質入ト爲ルモノアルトキハ曩キノ徵稅傳令書ヲ更正シテ現所有者又ハ質取主ニ之ヲ交付スヘシ(二十九年縣令第四號ヲ以テ本條中改正)

第七條 前條ニ依リ船車稅ニ係ル徵稅傳令書ノ更正ヲ要スルトキ其現所有者他ノ町村ニ居住スルトキハ其稅目及納稅額並ニ納稅人ノ住所氏名ヲ速ニ郡長ニ申報スヘシ(二十五年縣令甲第五號ヲ以テ改正)

第八條 郡長ニ於テ前條ノ申報ヲ受ケタルトキ所管內ノ町村ナルトキハ即時ニ徵稅令書ヲ更正シテ發付ノ手續ヲナシ他ノ所管ニ係ルトキハ其納稅人ノ住所氏名並ニ稅目及納稅額ヲ其所管郡長ニ報告スヘシ

第九條 徵稅傳令書ヲ受ケタル各納稅人ニ於テ稅金ヲ町村收入役ニ納付スルトキハ徵稅傳令書ヲ添付スヘシ

第十條 町村長ニ於テ徵收シタル稅金ハ毎月三回(十日、二十日、末日ノ前日)ニ取纏メ第四號樣式ニ依リ納付書ヲ添ヘ縣出納吏ニ拂込ムヘシ(二十九年縣令第一四號ヲ以テ改正)

第十一條 第四條ニ依リ徵稅令書ヲ受ケタル各納稅人ニ於テ稅金ヲ縣出納吏ニ納付スルトキハ徵稅令書ヲ添付スヘシ

第十二條 縣出納吏ニ納付スル稅金ハ現金取扱所ニ拂込ムヘシ(二十五年縣令甲第一五號ヲ以テ改正)

第十三條 現金取扱人ハ町村長若クハ各納稅人ヨリ稅金ノ拂込ヲ受ケタルトキハ徵稅令書若クハ稅金納付書ヲ切離シ其別符及領收證書ノ符ヲ町村長又ハ納稅人ニ返付シ之ヲ縣出納吏ニ差出シ領收證書ヲ請ハシムヘシ(同上)

第十四條 町村收入役ハ各納稅人ヨリ稅金ノ拂込ミヲ受ケタルトキハ徵稅傳令書ヲ切離シ

テ領收證書ニ町村長檢印ノ上之ヲ交付スヘシ

第十五條 縣出納吏ハ町村長若クハ各納税人ヨリ領收證書ヲ請フトキハ別符ヲ切離シ領收證書ヲ交付スヘシ

第十六條 町村收入役ハ切離シタル徵稅傳令書ニ税金領收濟ノ年月日ヲ記入シ其下ニ捺印シ之ニ據リテ收入簿及徵稅簿ニ記入スヘシ但帳簿ハ便宜ノ式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第十七條 縣出納吏ハ切離シタル徵稅令書及納付書ノ別符ニ税金領收證書交付ノ年月日ヲ記入シ其下ニ捺印シ之ニ據リテ收入町村別簿及收入整理簿ニ記入スヘシ(二十五年縣令甲第一五號ヲ以テ改正)

第十八條 (二十六年縣令甲第一八號ヲ以テ削除)

第十九條 (同上)

第二十條 郡長ハ町村及各納税人ノ税金徵收額ヲ調定スルトキハ第六號様式ニ依リ縣稅調定簿又ハ第八號様式ニ依リ縣稅隨時調定簿ヲ調製シテ之ニ町村若クハ各納税人ノ徵稅額ヲ記入スヘシ(二十六年縣令甲第一八號ヲ以テ改正)

第二十一條 郡長ハ前條ノ手續ニ依リ徵稅額ヲ調定シタルトキハ之ニ據リテ徵稅令書ヲ調製シ元簿ト割印シテ發付ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十二條 縣出納吏ハ第五條ノ納額告知書ヲ受ケタルトキハ第九號様式ニ依リ收入町村別簿ヲ調製シテ之ニ記入スヘシ

第二十三條 縣出納吏ハ第十七條ニ依リ收入額ヲ收入町村別簿ニ記入スルトキハ納稅告知

額ト税金收入額トヲ照查スヘシ

第二十四條 縣出納吏ハ第十號様式ニ依リ收入整理簿ヲ調製シテ税金收入額及收入報告額ヲ之ニ記入シ徵稅達高ト收入額並ニ報告額トヲ照查スヘシ(二十五年縣令甲第一五號ヲ以テ改正)

第二十五條 縣出納吏ハ毎日第十一號様式ニ依リ收入額日計表及毎月末日第十二號様式ニ依リ月計表ヲ調製スヘシ

第二十六條 縣出納吏ハ切離シタル徵稅令書若クハ納付書ノ別符及收入額日計表ト現金取扱所ノ税金拂込日計金額トヲ毎日照查スヘシ(二十五年縣令甲第一五號ヲ以テ改正)

第二十七條 縣出納吏ニ於テ收入シタル税金ハ毎月三回(十日、二十日、末日)ニ取纏メ縣知事ニ納付スヘシ(二十九年縣令甲第一四號ヲ以テ改正)

第二十八條 (二十五年縣令甲第一五號ヲ以テ削除)

第二十九條 縣出納吏ハ毎年五月三十一日限り前年度徵稅完結書ヲ調製シ縣知事ニ報告スヘシ(二十九年縣令甲第一四號ヲ以テ改正)

第三十條 町村長ハ避クヘカラサル變災ニ罹リ徵收金ヲ亡失シタル場合ニ於テ縣知事ニ訴願シ其責任免除ヲ得タルトキハ之ヲ縣出納吏ニ報告スヘシ

第三十一條 縣出納吏ハ税金納期限後町村長若クハ各納税人ヨリ錯誤アルコトヲ申立タルトキハ直ニ之ヲ調査シ果シテ錯誤ナルトキハ下戻ノ事由ヲ縣知事ニ申報シ其命令ヲ得テ町村長若クハ各納税人ニ下戻ノ手續ヲ爲スヘシ(二十五年縣令甲第一五號ヲ以テ改正)

第三十二條 町村長ハ縣稅納期限ヲ過キ稅金滯納者アルトキハ其稅目及納稅額並ニ滯納者ノ住所氏名ヲ直ニ郡長ニ申報スヘシ(二十五年縣令甲第五號ヲ以テ挿入)

第三十三條 郡長ハ稅金滯納者アリテ其處分ヲ執行シ及滯納處分執行ニ付稅金ニ缺損ヲ生シタルトキハ速ニ之ヲ縣知事ニ申報スヘシ(同上)

第三十四條 縣稅納期限ヲ過キ町村長ヨリ滯納報告以後督促令狀發付以前ニ於テ該滯納稅金ヲ納付セントスル者アルトキハ納付書ノ別符ニ縣出納吏ニ於テ裏書ヲ爲シ稅金ハ各納稅人ヲシテ直ニ現金取扱所ニ拂込シムヘシ(同上)

第三十五條 此細則ハ府縣制施行ニ至ル迄ノ間地方稅ノ徵收ニ適用ス

○縣訓令第二百十六號 明治二十六年三月三十一日 郡村役場所

明治二十四年二月縣令甲第十四號縣稅徵收細則第十六條ニ依リ調製スル帳簿ハ左ノ様式ニ依ルヘシ

(用紙美濃紙)

明治何年度縣稅徵收簿

何郡何町(村)役場

地租割		徵稅		傳令		領收		納人住所氏名	
發付年月日	番號	納期	調定額	納付期日	領收	收入役印	收	納	納人住所氏名
明治何年何月何日	一	町村長傳令書ト割印第一期	金何程〇	何月何日	何月何日領收〇	收入役印	大字何々	何某	何某
明治何年何月何日	二	第二期	金				大字何々	何某	何某
明治何年何月何日	三	第三期	金				大字何々	何某	何某
明治何年何月何日	四	第三期	金				大字何々	何某	何某
明治何年何月何日	五	第二期	金				大字何々	何某	何某
明治何年何月何日	六	第二期	金				大字何々	何某	何某
明治何年何月何日	七	第一期	金何程〇	何月何日		何々ニ依リ滯納ニ付郡長ニ報告ス	町村長印		
(△印ハ朱書符號)									
地租割合計		要		未・濟		額			
年月日	摘要	徵稅令書額	收入額	納付額	收入	納	付	額	
明治何年何月何日	第何期徵稅令書	一五〇〇〇〇	一四〇〇〇〇		一五〇〇〇〇	一四〇〇〇〇			
明治何年何月何日	何某外何人納				一〇〇〇〇	一四〇〇〇〇			

第四類 地方財務 第一款 縣稅

何月何日	何月何日	何月何日	何月何日	發付年月日	明治日年	明治日年	明治日年	明治日年
第何期何郡役所へ納付ス	何某外何人納 <small>△何某外何人滯納ニ付郡長へ報告ス</small>	第何期分何郡役所へ納付ス		番號	納期	調定額	納付期日	領
					金	金	金	收 納人住所氏名
九〇〇	一〇〇	九			大字	大字		
一四〇〇〇〇		九〇〇			大字			
一〇〇〇〇								
〇	九	九						
	九〇〇							

二十六

明治日年	明治日年	明治日年	明治日年	明治日年	明治日年	發付年月日	雜種稅何稅	徵	稅	傳	領	收
後半期	前半期	後半期	前半期	後半期	前半期		何稅	番號	納期	調定額	納付期日	納人住所氏名
金	金	金	金	金	金		何稅					大字
後半期	前半期	後半期	前半期	後半期	前半期		何稅					大字
金	金	金	金	金	金		何稅					大字
							何稅					大字

第四類 地方財務 第一款 縣稅

雜種稅 何稅合計

二十七

右及請求候也
年月日

知事氏名宛

某郡長印

○埼玉縣令第四十五號

明治三十年八月二十七日

縣稅滯納ニ依リ管内所在ノ財産ニ對シ處分ヲ爲ス場合ニ於テハ其財産所在地ノ縣出納吏ヲシテ之ヲ執行セシム(三十年縣令第四十六號ヲ以テ縣出納吏ト改正)

○埼玉縣訓令第六號

明治三十年八月二十七日

本年八月埼玉縣令第四十五號ニ依リ縣稅滯納處分ヲ要スルトキハ財産所在地ノ縣出納吏ニ其處分事項ノ引繼ヲナスヘシ但此場合ニ於テハ直ニ其稅目及稅額納期別滯納者ノ氏名ヲ縣廳ニ報告スヘシ(三十年訓令第一一四號ヲ以テ縣出納吏ト改正)

○訓令第七十三號

明治二十四年六月十九日

郡役所

縣稅徵收細則第三十二條ニ依リ滯納處分執行ニ係ル申報ハ左ノ書式ニ依リ調製スヘシ但明治十九年八月訓第三號廢止ス

明治何年度地方稅滯納處分執行報告

細則第三十二條
第三十三條
第三十三條

稅目	督促令狀ヲ發シタルモノ		財産差押著手以テ發シタルモノ		前完納シタル者ヲ發シタルモノ		滯納處分執行以前完納又ハ代納シタルモノ		財産差押賣却ヲ執行シタルモノ		人員處分費額	
	人員	額	人員	額	人員	額	人員	額	人員	額		
地租割	一〇	一〇〇〇〇	四	五〇〇〇	五	五〇〇〇	四	五〇〇〇	三	三〇〇〇	四	一〇〇〇
營業稅				(以下之レニ倣フ)								
商業稅												
何々												
雜種稅												
何々												
戶數割												
計												

右申報候也

明治年月日

知事氏名殿

郡長氏名印

○埼玉縣訓令第六十號

明治二十七年五月一日

郡 稅 役 所

國稅、地方稅滯納處分表ハ二十六年分ヨリ本年^四大藏省訓令第二十五號更正ノ様式ニ準據調製シ該訓令差立期限三十日以前ニ本廳ヘ差出スヘシ

但明治二十五年^二訓令第二十五號ハ廢止ス

○埼玉縣訓令第十六號

明治三十年十月一日

內務部 警察部
監獄署

縣ノ經濟ニ關スル事務取扱手續左ノ通定ム

但明治二十四年^九訓令第三百三十七號ハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス

縣ノ經濟ニ關スル事務取扱手續

第一章 總則

第一條 縣稅ノ賦課徵收及稅外諸收入ニ關スル事務ハ內務部第一課ノ管掌トシ其收納及精算ニ關スル事務ハ內務部第四課ノ管掌トス

第二條 備荒儲蓄金縣有資金ニ關スル事務ハ內務部第一課ノ管掌トシ其收納及精算ニ關スル事務ハ內務部第四課ノ管掌トス

第三條 小學校教員恩給基金同恩給金ニ關スル事務ハ內務部第三課ノ管掌トシ其收納及精算ニ關スル事務ハ內務部第四課ノ管掌トス

第四條 保證金ハ保證ノ事項ニ關係アル部署課ノ管掌トス

第五條 土地(堤防道路並木敷ヲ除ク)建物ノ賣渡讓渡貸渡及使用ニ關スル事務ハ內務部第一課ノ管掌トス

ス

第六條 土地建物ノ買受讓受其他物件ノ寄附ニ關スル事務ハ歲出事務管掌ノ部署課トス

第七條 收入支出ノ計算書及證據書ノ検査ハ內務部第四課ノ管掌トス

第八條 內務部第四課長ハ毎年十月上旬半年度ノ歲入歲出計算書ヲ調製シ其月末日迄ニ知事ニ差出スヘシ

第九條 歲出事務ノ管掌ハ左ノ區分ニ據ル

- 一 縣會議諸費
- 一 郡吏員給料旅費及廳中諸費
- 一 救育費
- 一 諸達書及揭示諸費
- 一 衆議院議員選舉費
- 一 豫備費
- 一 縣債費
- 一 以上內務部第一課
- 一 土木費
- 一 郡町村土木補助費
- 一 縣、郡、警察廳舍監獄學校測候所試驗所縣會議場ノ建築修繕費

- 以上内務部第二課
 - 一 教育費
 - 一 郡町村教育補助費
 - 一 徵發費
 - 以上内務部第三課
 - 一 縣稅取扱費
 - 以上内務部第四課
 - 一 勸業費
 - 以上内務部第五課
 - 一 警察費
 - 以上警察部第一課
 - 一 衛生及病院費
 - 以上警察部第二課
 - 一 監獄費
 - 以上監獄署第一課
- 第十條 縣吏員費財產費ハ歲出事務又ハ其財產ニ關係アル部署課ノ管掌トス
- 第十一條 收入支出ノ證據書ハ款毎ニ區別シ其所屬年度及項目ヲ記入スヘシ

第二章 豫算

- 第十二條 主務課ニ於テハ毎年度其所管收入ノ豫定書ヲ調製シ前年度六月二十日限内務部第一課ニ送付スヘシ
- 内務部第一課ハ前項ノ豫定書及各麻長ヨリ差出シタル收入概算書ヲ計査シ更ニ總括シタル概算書ヲ編製シ前年度七月三十一日限内務部長ニ差出スヘシ
- 第十三條 主務課ニ於テハ毎年度其主務經費全體ノ概算書ヲ調製シ内務部第一課ニ回議シ前年度七月三十一日限部署長ニ差出スヘシ 但各麻長ヨリ差出シタル概算書ニ基キ編製シタルモノハ意見ヲ付シ其書類ヲ添付スヘシ
- 第十四條 歲入歲出豫算及豫算説明書ハ主務課ニ於テ編製シタル概算書ニ基キ内務部第一課ニ於テ之ヲ調製シ關係ノ主務課ニ合議ノ上前年度八月三十一日限知事ノ裁決ヲ受ケ縣參事會ノ審査ニ付シタル後縣會ニ提出ノ手續ヲナスヘシ
- 第十五條 臨時豫算ノ必要アルトキハ第十二條乃至第十四條ノ手續ニ依リ縣會ノ議決ニ付スヘキモノハ開會ノ日ヨリ十六日前縣參事會ノ議決ニ付スヘキモノハ會議ノ當日ヨリ五日前ニ知事ノ裁決ヲ受ケ縣會若クハ縣參事會ニ提出ノ手續ヲナスヘシ 但縣參事會ニ提出スヘキモノニシテ急施ヲ要スルモノハ此限ニアラス
- 第十六條 豫算ニ關セサル事項ニシテ縣會若クハ縣參事會ノ議決ニ付スヘキモノハ前條ノ例ニ依リ主務課ニ於テ其文案ヲ起草シ内務部第一課ニ合議ノ上知事ノ裁決ヲ受ケ縣會ニ

提出スヘキモノハ其案ノ寫一通縣參事會ニ提出スヘキモノハ十四通ヲ調製シ内務部第一課ニ送付スヘシ

内務部第一課ハ前項ノ書類ヲ受ケタルトキハ縣會若クハ縣參事會ニ提出ノ手續ヲナスヘシ

第十七條 縣會若クハ縣參事會ノ議決ヲ經タル豫算ハ内務部第一課ニ於テ左ノ手續ヲナスヘシ

一 豫算ノ告示

二 内務及大藏兩省ヘ報告

三 内務部第四課ニ説明書ヲ付シタル豫算ノ令達

四 各課主管ニ屬スル歲出豫算ノ令達

五 各課及各廳長ノ所管ニ屬スル歲入豫算ノ令達

前項五ノ令達ハ其寫ヲ内務部第四課ニ送付スヘシ

第十八條 縣會若クハ縣參事會ノ議決内務及大藏大臣ニ稟請若クハ認可ヲ得テ施行スルモノハ内務部第一課ニ於テ其文案ヲ起草シ認可稟請ノ手續ヲナスヘシ

第十九條 第十七條第一項四ノ令達ヲ受ケタル主務課ニ於テ現金前渡ヲ受クヘキ各廳長ニ

仕拂豫算ノ令達ヲ要スルモノハ内務部第一課ニ合議ノ上知事ノ裁決ヲ受クヘシ

前項ノ令達ハ其寫ヲ内務部第四課ニ送付スヘシ

第二十條 豫算外又ハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲メ豫備費ノ支出ヲ要スルトキハ主務課ニ於テ取調會議ノ當日ヨリ五日前ニ内務部第一課ニ其事由ヲ付シ仕譯書ヲ送付スヘシ

内務部第一課ハ前項ノ仕譯書ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ豫備費ヨリ支出スヘキモノト認ムルトキハ其文案ヲ起草シ主務課ニ合議ノ上知事ノ裁決ヲ受ケ縣參事會ニ提出ノ手續ヲナスヘシ

第二十一條 豫算項目ノ流用ヲ要シ又ハ縣參事會ノ諮問ニ付スヘキ事項ハ主務課ニ於テ其文案ヲ起草シ内務部第一課ニ合議ノ上知事ノ裁決ヲ受ケ其案十四通ヲ調製シ第一課ニ送付スヘシ

第二十二條 縣會若クハ縣參事會ノ答申書建議書等ハ内務部第一課ニ於テ受領シ關係ノ主務課ニ回議ノ上知事ニ提出スヘシ

前項ノ答申書中豫備費ノ支出ハ主務課及内務部第四課ニ通知シ豫算ノ流用及諮問ノ事項ハ答申書ヲ回示シ以テ通知書ニ代用スヘシ

第二十三條 各廳長ヨリ豫算ノ増額若クハ流用ヲ要求シタルトキハ主務課ニ於テ第十五條第二十條第二十一條ニ依ルヘキモノハ其手續ヲ經タル後令達又ハ指令ノ文案ヲ起草シ内務部第一課ニ合議ノ上知事ノ裁決ヲ受クヘシ

第三章 收入

第四類 地方財務 第一款 縣稅

第三章 收入

第二十四條 縣廳ニ於テ直ニ收入スルモノハ各主務課ニ於テ金員仕譯書ヲ調製シ内務部第四課ニ送付スヘシ

内務部第四課ハ前項ノ仕譯書ヲ受ケタルトキハ之ヲ検査シ收入ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十五條 各廳長ヨリ收入報告書ヲ差出シタルトキハ内務部第四課ハ之ヲ検査シ收納ノ手續ヲナスヘシ

第二十六條 每會計年度出納閉鎖期限内ニ於テ收入ノ完了セサルモノアルトキハ主務課ニ於テ收入未済仕譯書ヲ調製シ翌年度五月十五日限内務部第四課ニ送付スヘシ

第二十七條 内務部第四課ヨリ交付シタル納入告知書ニ對シ出納閉鎖期限内ニ納付セサルモノアルトキハ第四課ハ納入告知書ヲ納人ヨリ還付セシメ其告知書ヲ取消シ證據書ハ主務課ニ返付スヘシ

主務課ハ前項證據書ノ返付ヲ受ケタルトキハ收入ヲ控除シ收入未済仕譯書ヲ調製シ内務部第四課ニ送付スヘシ

第四章 支出

第二十八條 縣廳ニ於テ支出ヲ要スルモノハ主務課ニ於テ債主ノ請求書ヲ徴シ又ハ金員仕譯書ヲ調製シ之ニ必要ナル證據書ヲ添ヘ課長及主任者檢印ヲ押捺シ内務部第四課ニ送付スヘシ

内務部第四課ハ前項ノ書類ヲ受ケタルトキハ之ヲ検査シ支出ノ手續ヲ爲スヘシ 但證據

書ノ完全ナラサル爲メ検査ヲ爲スコト能ハサル場合ニ於テハ必要ナル他ノ書類又ハ辯明ヲ要求スルコトヲ得

第二十九條 支出ヲ要スルニ當リ概算渡ヲナスモノアルトキハ主務課ニ於テ金員仕譯書ヲ調製シ精算期日ヲ豫定シテ内務部第四課ニ送付スヘシ 但翌年度五月二十日迄ニ精算ノ見込ナキモノハ概算渡ヲナスコトヲ得ス

第三十條 概算支出ハ主務課ニ於テ豫定ノ期日迄ニ精算シ其金員仕譯書ヲ調製シ證據書類ヲ添ヘ内務部第四課ニ送付スヘシ

内務部第四課ハ前項ノ書類ヲ受ケタルトキハ之ヲ検査シ精算ノ手續ヲナスヘシ 但概算渡ノ不足ナルトキハ支出ノ手續ヲナシ又剩餘金アルトキハ戻入ノ手續ヲナスヘシ

第三十一條 現金ノ前渡ヲ受クヘキ各廳長ニ現金ヲ交付スルハ内務部第四課ニ於テ仕拂豫算ヲ凡十二分シ毎年度四月分ノ月額ハ其月ノ首メニ其他ハ前月末ニ支出スヘシ 但一時

ニ交付シ難キトキハ數回ニ交付スルコトヲ得

第三十二條 現金ノ前渡ヲ受ケタル各廳長ヨリ經費仕拂金額ノ仕譯書ヲ差出シタルトキハ内務部第四課ニ於テ検査シ精算ノ手續ヲナスヘシ

第三十三條 誤拂過拂金ノ戻入ヲナスモノアルトキハ主務課ニ於テ金員仕譯書ヲ調製シ内務部第四課ニ送付スヘシ

内務部第四課ハ前項仕譯書ノ送付ヲ受タルトキハ之ヲ調査シ返納人ニ對シ返納告知書ヲ

發スヘシ 但告知書ハ翌年度五月十日以後ニ發スルコトヲ得ス

第三十四條 每會計年度出納閉鎖期限ニ於テ支出ノ完了セサルモノアルトキハ主務課ニ於テ支出未濟仕譯書ヲ調製シ翌年度六月十日限内務部第四課ニ送付スヘシ

第三十五條 仕拂命令ヲ受ケタルモノ出納閉鎖期限内ニ仕拂ヲ請求セサルトキハ内務部第四課ハ其支拂命令ヲ債主ヨリ還付セシメ命令ヲ取消シ證據書類ヲ主務課ニ返付スヘシ
主務課ハ前項證據書類ノ返付ヲ受ケタルトキハ支出ヲ控除シ支出未濟仕譯書ヲ内務部第四課ニ送付スヘシ

第三十六條 過年度ノ支出ヲ要スルトキハ主務課ニ於テ金員仕譯書ヲ調製シ内務部第一課ニ送付スヘシ

内務部第一課ハ前項ノ仕譯書ヲ受ケタルトキハ其決議案ヲ調製シ關係ノ部署課ニ合議ノ上知事ノ裁決ヲ受ケ縣參事會ニ提出ノ手續ヲナスヘシ

第五章 年度繰越

第三十七條 工事ノ完成又ハ物件購入ノ完納ニ至ラスシテ其年度出納閉鎖期限内ニ代價ノ支出ヲ了セサルモノアリテ翌年度ニ繰越ヲ要スルトキハ主務課ニ於テ工事ノ既成並未成又ハ物件ノ既納並未納ノ明細書ヲ調製シ完成又ハ完納ニ至ラサル事由ヲ詳記シ内務部第一課ニ送付スヘシ

内務部第一課ハ前項書類ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ其文案ヲ起草シ關係ノ主務

課ニ合議ノ上知事ノ裁決ヲ受ケ縣會又ハ縣參事會ニ提出ノ手續ヲナスヘシ 但繰越豫算ハ他ノ豫算ト混同スルコトヲ得ス

第六章 決算

第三十八條 縣廳ノ收支ニ係ルモノハ主務課ニ於テ毎年度收入及支出ノ計算書ヲ調製シ豫算ニ比シ精算増減ノ事由ヲ記シ翌年度五月三十一日限内務部第四課ニ送付スヘシ
内務部第四課ハ前項ノ計算書及各廳長ヨリ差出シタル計算書ヲ帳簿ニ對查シ決算書ヲ調製シ翌年度六月三十日迄ニ知事ニ差出スヘシ

第三十九條 内務部第四課ヨリ差出シタル決算書ハ内務部第一課ニ於テ縣參事會ノ検査ニ付シ縣會ノ認定ニ付スルノ手續ヲナスヘシ

第四十條 縣會ニ於テ決算書ノ認定ヲ經タルトキハ内務部第一課ニ於テ決算報告書並ニ之ニ關スル縣會ノ議決ヲ内務及大藏大臣ニ報告シ決算ハ告示ノ手續ヲナスヘシ

第七章 帳簿

第四十一條 縣廳主務課ニ於テハ左ノ帳簿ヲ設ケ主管ノ收入及支出ヲ登記スヘシ

- 一 收入豫算差引簿
 - 二 支出豫算差引簿
- 前項ノ外必要ナル帳簿ハ便宜之ヲ設クルコトヲ得

第八章 雜則

第四十二條 縣ノ經濟ニ屬スル官吏若クハ吏員ノ俸給旅費賄料其他給與ニ關スル規程ハ主務課ニ於テ發案シ内務部第一課ニ合議スヘシ 但縣ノ經濟ニ關スル規程亦同シ

第四十三條 事業受負及物件ノ賣買貸借ニシテ競争ニ付セス隨意契約ニ依ルモノハ内務部第一課ニ合議スヘシ

第四十四條 縣廳ノ保管ニ係ル土地建物ヲ貸渡若クハ使用セシメントスルトキハ主務課ニ於テ取調内務部第一課ニ移牒スヘシ其不用ニ屬シタルモノハ内務部第一課ニ引繼クヘシ

附則

第四十五條 本令ハ明治三十年十月十五日ヨリ施行ス

○埼玉縣訓令第百十七號

明治三十年十月一日

内務部 警察部
監獄署 郡役所
警察署 警察分署
監獄支署 縣立學校
測候所 縣立學校
金庫

縣會計検査規程左ノ通定ム 但明治二十一年四月達第十六號ハ廢止ス

縣會計検査規程

第一條 縣ノ會計ハ検査委員ヲ派遣シ毎年一回之ヲ検査セシム 但時宜ニ依リ臨時検査ヲ爲サシムルコトアルヘシ

第二條 検査委員ハ其時々之ヲ命ス

第三條 検査委員ノ検査スヘキ事項ハ左ノ如シ 但第四項ハ時宜ニ依リ検査セサルコトアルヘシ

一 歳入歳出及物品ノ出納ニ關スル諸帳簿

二 縣有ノ土地建物臺帳

三 縣有資金ニ關スル諸帳簿

四 縣ノ補助ニ係ル事業ノ會計

第四條 検査委員ハ検査ニ著手スルトキハ豫メ其月日ヲ官署學校長ヘ通知スヘシ

第五條 検査委員検査ノ事項ニ關シ主任官吏ニ質問シ又ハ辯明ヲ求メ若クハ辯明書ヲ徴スルコトヲ得

第六條 検査委員ニ於テ検査終了シタルトキハ其實況ヲ知事ニ具申スヘシ

○埼玉縣訓令第百十八號

明治三十年十月一日

内務部 警察部
監獄署 郡役所
警察署 警察分署
監獄支署 測候所
縣立學校

堤防道路並木敷其他縣有ノ土地建物貸渡及使用期限一箇年以上ニ及フモノノ料金ハ毎年度二回四月(四月ヨリ九月)十月(十月ヨリ翌年三月ニ至ル分)ニ半額ヲ徴收スヘシ 但年額貳圓以下ノ料金ハ毎年度

一回四月(三月ヨリ翌年三月ニ至ル分)ニ於テ全額ヲ徵收スヘシ
 貸渡又ハ使用ノ許可五月以後九月前若クハ十一月以後翌年三月前ナルトキハ月割ヲ以テ契
 約又ハ許可ノトキ其期ノ料金ヲ徵收スヘシ 但毎年度一回徵收スヘキ料金モ此例ニ依ル
 ○縣令乙第五號 明治二十三年八月八日
 貸座敷娼妓賦金徵收規則左ノ通定ム
 榛澤郡 深谷町
 兒玉郡 本庄町

貸座敷娼妓賦金徵收規則

- 第一條 貸座敷及娼妓ノ賦金額ヲ定ムルコト左ノ如シ
 - 一 貸座敷賦金 客間一坪ニ付一箇月金拾三錢九厘
 - 一 娼妓賦金 一人ニ付一箇月金貳圓
- 第二條 娼妓營業ノ許可ヲ受ケタルトキハ免許料トシテ金壹圓直ニ所轄郡役所ニ納ムヘシ
- 第三條 貸座敷賦金ハ其月十五日現在ノ客間坪數ニ依リ之ヲ徵收ス
- 第四條 貸座敷賦金ハ十五日以前廢業シタル者ハ其月一日現在ノ客間坪數ニ依リ半額十六日以後廢業シタル者ハ十五日現在ノ客間坪數ニ依リ全額ヲ徵收ス
- 第五條 娼妓賦金ハ十五日以前廢業シ又ハ十六日以後許可ヲ受ケタル者ハ半額十五日以前許可ヲ受ケ十六日以後廢業シタル者ハ全額ヲ徵收ス
- 第六條 貸座敷及娼妓賦金ハ休業又ハ營業停止中ト雖モ仍ホ之ヲ徵收ス
- 第七條 貸座敷營業者及娼妓ハ其月ノ賦金ヲ翌月三日限郡役所ニ納ムヘシ

二十四年縣令乙第一號ヲ以テ町役場

ヲ郡役所ト改正

第八條 貸座敷營業者及娼妓ノ廢業シタルトキハ其日ヨリ三日以内ニ其賦金ヲ郡役所ニ納ムヘシ(同上)

第九條 貸座敷營業者ハ建物ヲ増築變換若クハ取毀テタル爲メ客間ノ坪數ニ増減ヲ生シ又ハ貸座敷ヲ移轉シタルトキハ客間ノ坪數ヲ記載シ其日ヨリ三日以内ニ所轄郡役所ニ届出ツヘシ

第十條 貸座敷營業者代替若クハ改氏名ヲ爲シタルトキハ其日ヨリ三日以内ニ所轄郡役所ニ届出ツヘシ
 娼妓轉居若クハ改氏名ヲ爲シタルトキ亦同シ

第十一條 貸座敷ノ建物ハ郡長ニ於テ臨時調査スルコトアルヘシ
 第十二條 貸座敷及娼妓賦金ノ納付ヲ怠ル者ハ其營業ヲ停止ス

○訓令第四十四號 明治二十四年四月十日
 兒玉賀美那珂郡役所
 大里權羅榛澤男衾郡役所

貸座敷娼妓賦金徵收規則取扱手續左ノ通定ム
 貸座敷娼妓賦金徵收規則取扱手續

- 第一條 貸座敷及娼妓ノ賦金ヲ徵收スルトキハ郡長ニ於テ納付書ヲ調製シ毎月二十五日迄ニ之ヲ各納人ニ交付スヘシ
- 第二條 貸座敷及娼妓賦金並娼妓免許料ハ地方税金隨時收入ノ例ニ依リ之ヲ取扱フヘシ

第三條 郡長ニ於テ貸座敷及娼妓賦金並娼妓免許料ヲ領收シタルトキハ毎月三回（十日二十日末日）ニ送納書ヲ調製シテ之ヲ縣廳ニ送納スヘシ（二十四年訓令第一五二號）
（ナ以テ毎月三回ニ改正）

第四條 郡長ハ納期ヲ過キ貸座敷及娼妓ノ賦金ヲ完納セサルモノアルトキハ督促狀ヲ發スヘシ督促狀ヲ發シタル日ヨリ七日以内ニ賦金ヲ完納セサル者アルトキハ徵收規則第十二條ニ依リ之ヲ處分スヘシ

第五條 郡長ハ貸座敷建物圖面臺帳及娼妓賦金納額臺帳ヲ備フヘシ

左ノ場合ニ於テハ臺帳ヲ加除更正スヘシ

- 一 貸座敷營業者及娼妓ノ廢業シタルトキ
 - 二 貸座敷營業者及娼妓ノ改氏名ヲ爲シタルトキ
 - 三 貸座敷營業ノ代替ヲ爲シタルトキ
 - 四 貸座敷ノ建物ヲ増築變換シ若クハ取毀テタル爲メ客間ノ坪數ニ増減ヲ生シタルトキ
 - 五 貸座敷ノ移轉シタルトキ
 - 六 娼妓ノ營業許可ヲ受ケ若クハ轉居シタルトキ
- 第六條 前條第二項ノ第四第五ノ場合ニ於テハ郡長ハ吏員ヲ派遣シテ現場ノ調査ヲ爲サシムヘシ

第七條 郡長ハ毎年七月十五日現在貸座敷建物ノ客間總坪數及娼妓人員ヲ取調其月末日迄ニ之ヲ縣廳ニ報告スヘシ

第二款 縣有財產

○埼玉縣令第二十七號

明治三十年五月二十五日

縣有財產管理規則縣會ノ決議ヲ經テ左ノ通定ム

縣有財產管理規則

第一章 總則

第一條 此規則ニ於テ縣有財產ト稱スルハ縣ノ所有ニ屬スル土地建物、其附屬物、物品、有價證券及現金ヲ云フ

第二條 縣有財產ノ管理方法ハ別ニ規定スルモノヲ除ク外總テ此規則ニ依ルヘシ

第三條 財產ハ左ノ區別ニ依リ之ヲ保管ス

- 一 土地建物其附屬物及物品ハ縣廳又ハ直接之ヲ使用スル官署學校
- 二 有價證券ハ縣廳
- 三 現金ハ縣金庫又ハ現金保管人

第二章 土地建物及附屬物

第四條 縣有ニ屬スル土地建物及附屬物ハ主用ノ目的ヲ妨ケサルモノニ限り貸渡又ハ使用ヲ許可スルコトヲ得 但縣會議場ハ直接ノ公用又ハ學事、勸業、衛生、慈善ニ關スル集會ニ供スル場合ニ限ル

第五條 土地建物及附屬物ヲ貸渡又ハ使用ヲ許可セントスルトキハ縣參事會ノ議決ヲ經ル

モノトス 但縣廳、警察署附屬官舎並十日以内ノ貸渡使用ノ許可ハ此限ニアラス

第六條 土地建物及附屬物ヲ貸渡又ハ使用ヲ許可セシトキハ其貸渡料、使用料ヲ徵收ス
但直接公用ニ供スル場合又ハ警察署附屬官舎其他縣參事會ノ議決ヲ經タルモノハ此限ニアラス

前項ノ貸渡料使用料ノ額ハ縣參事會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム其貸渡又ハ使用期限十日以内ノモノハ知事ノ定ムル處ニ依ル

第七條 貸渡又ハ使用期限ハ縣廳、警察署附屬官舎ヲ除ク外ハ總テ五箇年以内トス 但特ニ縣參事會ノ議決ヲ經タルモノハ此限ニアラス

第八條 貸渡料及使用料ハ其期限一箇年以上ニ及フモノハ毎年度一回若クハ二回其他ハ契約又ハ許可ノトキ其料金を前納セシム 但期限前返還ノトキハ月割ヲ以テ料金を還付スヘシ

第九條 貸渡又ハ使用年期中ト雖モ主用ノ目的ニ妨ケヲ生シ又ハ公益上必要アルトキハ其契約ヲ解キ又ハ許可ヲ取消シ之ヲ返還セシムヘシ

前項ノ場合ニ於テ借受人又ハ使用人ニ對シ其直接ニ生シタル損害ハ之ヲ賠償スルコトアルヘシ

第十條 借受人又ハ使用人ハ許可ヲ得スシテ其原形ヲ變更シ若クハ故意怠慢ニ依リテ之ヲ荒廢シ又ハ毀損亡失シタルトキハ其損害ヲ賠償セシムルモノトス其賠償額ハ縣參事會ノ

議決スル處ニ依ル

第十一條 借受人又ハ使用人ハ許可ヲ受クルニアラサレハ他人ニ其物件ヲ轉貸シ又ハ當初ノ目的外ニ使用スルコトヲ得ス

前項ノ規定ニ違反スルトキハ貸渡又ハ使用年期中ト雖モ直ニ其契約ヲ解キ又ハ許可ヲ取消シ返還セシムヘシ此場合ニ於テ生スル損害ハ借受人又ハ使用人ノ負擔トス

第十二條 貸渡又ハ使用物件ノ修理若クハ費用負擔ノ方法其他必用ノ事項ハ契約又ハ許可ノトキ縣參事會ノ議決ヲ經テ定ムル處ニ據ル

第三章 資金

第十三條 縣有資金ハ左ノ數種ニ區分ス

一 勸業資本金

勸業資本トシテ明治二十三年勅令第六十六號ニ依リ縣ノ經濟ニ下附セラレタルモノノ救恤並ニ道路費元資金

凶荒ノ節救恤金並ニ道路費補助金ニ充ツル爲メ篤志者ヨリ元資トシテ寄附シタルモノ

將來新ニ縣有資金ニ編入スルモノニシテ前項ノ種類ト混同スヘカラサルモノハ此例ニ依リ區分ス

第十四條 縣有資金ハ凡テ公債證書ト爲シ其資金ヨリ生スル收入金ニシテ公債證書ニ爲サ

サル間ハ銀行預ケ金ト爲ス

第四章 賣渡貸渡

第十五條 縣有財産ノ賣渡、貸渡ニ關スル手續ハ知事ノ定ムル處ニ依ル

第十六條 財産ノ賣却代金ハ其財産引渡ノ際一時ニ納付セシムヘシ

第五章 雜則

第十七條 此規則ハ明治三十年六月一日ヨリ施行ス

第十八條 此規則施行前ニ貸附又ハ使用許可シタルモノハ其契約ノ滿期迄總テ其契約ニ依ル

貸附期限ヲ定メサルモノハ此規則施行ノ日ヨリ一箇年以内ニ於テ更ニ契約スヘシ

○埼玉縣令第二十八號 明治三十年五月二十五日

英照皇太后大喪恩賜金管理方法縣會ノ決議ヲ經テ左ノ通定ム

英照皇太后大喪恩賜金管理方法

第一條 恩賜金ハ慈惠救濟ノ事業ヲ起ス爲メ其基本金ト爲シ縣經濟中特別會計トシテ整理スルモノトス

第二條 基本金ハ有志者ノ寄附金ヲ以テ之ニ加ヘ其増殖ヲ圖ルモノトス

第三條 基本金ハ國債證書ト爲シ縣廳ニ於テ之ヲ保管シ其國債證書ト爲シ得ヘカラサル端數ノ金額ハ確實ナル銀行ニ預入レ利殖スルモノトス

第四條 基本金ノ利子ハ慈惠救濟ノ事業費ニ充ツルヲ以テ目的トス其事業施行ノ方法ハ基本金確立ノ上之ヲ定ムルモノトス

第五條 基本金ノ利子ニシテ支出ヲ要セサル金額ハ基本金ニ編入スルモノトス

第六條 基本金保管ニ關スル費用ハ本經濟ノ内ヨリ之ヲ支辨スルモノトス

○埼玉縣訓令第二百二十八號 明治三十年十月十五日

內務部 警察部
監獄署 郡役所
警察署 警察分署
監獄支署 縣立學校
測候所

土地建物取扱規程左ノ通定ム

但明治二十九年^{七月}埼玉縣訓令第七十二號土地建物及物品取扱順序中土地建物ニ關スル規定ハ廢止ス

土地建物取扱規程

第一條 縣廳ノ保管ニ屬スル土地建物ハ左ノ部署課ヲシテ之ヲ取扱ハシム

一 縣廳 內務部第二課

二 土木工所用ノ土地建物

三 縣會 議場 內務部第一課

四 公用ヲ廢シタル不用土地建物

五 縣廳附屬官舎建物 內務部第四課

六 巡查教習所 警察部第一課
 七 衛生試驗所 同 第二課
 八 監獄署 監獄署第三課

第二條 郡役所、警察署、警察分署、監獄支署、縣立學校、測候所ニ屬スル土地建物ハ其所管長ニ於テ保管維持スヘシ

第三條 土地建物ハ縣廳各主務課又ハ所管長ニ於テ保存効用等ニ注意シ若シ現形ニ異動ヲ生シ又ハ生セントスル虞アルトキハ其狀ヲ知事ニ開申スヘシ

第四條 所管長ニ於テ土地建物ヲ貸渡又ハ使用セシメントスルトキハ契約書案及圖面ヲ添ヘ知事ニ稟申シテ指揮ヲ請フヘシ

第五條 所管長ニ於テ其保管ニ係ル土地建物不用ニ屬シタルトキハ知事ニ開申スヘシ 但命令又ハ通達アル迄ハ尙保管ヲナスヘシ

第六條 左ノ場合ニ於テハ所管長ヨリ知事ニ稟申シ指揮ヲ請フヘシ
 一 從來所用ニ供シタルモノノ外新ニ土地建物ヲ所用セントスルトキ
 二 土地建物ノ現形ヲ變更樹木伐採共スルノ必要アルトキ 但枯損木ノ伐採ハ事後之ヲ申報スヘシ

第七條 縣廳各主務課及所管長ハ土地建物臺帳ヲ備ヘ其種類員數價格及收得ノ原因ヲ詳記シ時々異動ヲ加除スヘシ

第八條 縣廳各主務課及所管長ハ毎年三月三十一日ノ現在ヲ取調別紙書式ニ依リ四月三十日限知事ニ差出スヘシ

第九條 前條ノ調書ハ内務部第一課ニ於テ調査シ縣會ニ提出スヘキ縣有財產表ノ資料トナスヘシ

第十條 土地建物臺帳ノ價格ハ總テ買入價格又ハ新築費額トス其讓受等ニ係ルモノハ評價額トス天災時變其他ノ原因ニ由リ價格ニ著シキ變動ヲ生シタルトキハ臺帳ノ價格ヲ更訂スヘシ 但此場合ニ於テハ其事由ヲ記載シ置クヘシ

某所(署)敷地建物調

土地		種 類		種 類		種 類		種 類	
坪	數	坪	數	坪	數	坪	數	坪	數
某廳舎學校々々敷地		坪		坪		坪		坪	
建 物		坪		坪		坪		坪	
種 類	構 造	坪	價 格	坪	借 地 坪 數	坪	借 地 料	坪	摘 要
應 舍	平二階 屋	坪	坪	坪	坪	坪	所在地名及番地	坪	摘 要

第四類 地方財務 第二款 縣有財產

土 藏	物 置	何 々	合 計

備考

- 一 土地建物摘要ノ欄内ニハ何年何月買入又ハ寄附又前年ノ調ニ比シ増減アルハ何月幾坪買入又ハ寄附幾坪増築又ハ何々賣却取毀等ノ沿革ヲ記スヘシ
- 二 種類ノ欄建年月ヲ異ニシ棟ヲ同フセサルモノハ各別ニ記載スヘシ
- 三 建物ハ廳舎ト棟ヲ異ニシ使用ノ目的同シカラサルモノハ每棟坪數及價格トモ各別ニ記載スヘシ
- 四 建物構造ノ欄二階坪數ハ建坪中へ算入スヘカラス
- 五 渡廊下樹木門柵建具ノ類ハ記載スルニ及ハス

○埼玉縣訓令第七十五號

明治二十九年七月十日

内務部 警察部
 監獄署 郡役所
 警察署 警察分署
 監獄支署 尋常師範學校

本年^七月埼玉縣訓令第七十三號ヲ以テ明治二十^五六年^五月縣訓令第四百二十六號地方稅備荒儲蓄經濟ニ屬スル財產臺帳様式相廢シ候處該帳簿ノ存スル間ハ之ヲ繼續使用スルコトヲ得

第三款 備荒儲蓄

○埼玉縣令第十四號

明治二十九年三月二十七日

備荒儲蓄法施行細則縣會ノ決議ヲ經內務大藏兩大臣ノ許可ヲ得テ左ノ通改正ス

備荒儲蓄法施行細則

- 第一條 備荒儲蓄金ハ平時現金五千圓ヲ準備トシ其餘ハ國債證書ヲ購入シ縣廳ニ於テ之ヲ管守ス
- 第二條 準備金ノ内貳百三拾圓ハ縣廳ニ備置キ貳百七拾圓ハ各郡役所ニ分置シ其他ハ銀行へ當座預ト爲シ相當ノ利子ヲ付セシムヘシ
- 第三條 食料、小屋掛料、農具料及種穀料ヲ給與スルハ左ノ各項ニ依ル
 - 一 非常ノ凶荒不慮ノ災害ニ罹リ自ラ生存スルコト能ハサル窮民ト認ムル者ハ其出願ニ依リ一人一日下等玄米三合ノ割合ヲ以テ日數三十日以内ノ食料ヲ給與ス
 - 二 暴災ニ罹リ一時窮困ニ迫ル者ハ臨時避難所ヲ設ケ又ハ日數七日以内炊出米ヲ給與シ其急難ヲ救フコトアルヘシ 但炊出米ノ給與ヲ止メタル後尙食料ノ給與ヲ要スルトキハ炊出米給與ノ日數ヲ算入シ前項ノ制限ヲ超エサルモノトス

三 罹災ノ爲メ居宅ヲ亡失シ自ラ小屋掛ヲ營ムコト能ハサル窮民ト認ムル者ハ其出願ニ依リ一戸現住親族等ニシテ戸主ノ負三人以下ハ金三圓ヲ給シ以上一人ヲ増ス毎ニ金五拾錢ヲ加ヘ金拾圓以内ノ小屋掛料ヲ給與ス 但小屋掛ノ材料半以上ヲ存スルモノハ其半額トス

四 農ヲ本業トスル者ニシテ罹災ノ爲メ農具ヲ亡失シ自ラ購フコト能ハサル窮民ト認ムル者ハ其出願ニ依リ左ノ品種ニ限リ一戸金拾圓以内ノ農具料ヲ給與ス

- 一 鋤 一個 鎌 一個 馬鋤 一個 萬能 一個
- 二 肥桶 一個 肥柄杓 一個 稻拔 一個

五 農ヲ本業トスル者ニシテ罹災ノ爲メ米麥ノ種穀ヲ亡失シ自ラ購フコト能ハサル窮民ト認ムル者ハ其出願ニ依リ其地播種ノ數量ニ應シ一戸金拾圓以内ノ種穀料ヲ給與ス 但種穀ハ一反歩ニ付一斗以内トス

- 一 一筆反別ノ内米麥ノ作付面積七分未滿ノモノ
- 二 收穫前ノ被害ニシテ一筆反別ノ作付米麥收穫ノ損毛八分以上ニ至ラサルモノ
- 三 地租總納額拾圓以上ノ者又ハ耕宅地一町步鐵泉地、池沼、山林、牧場、原野、及雜種地ハ一町步ヲ以テ一反歩ニ換算ス以上ヲ所有スル者 但質入地ハ質取主ノ所有地ニ算入ス
- 四 米麥作毛ノ被害査定以前收穫物ヲ芻取タル土地

一 再播種ニ係ルモノ

六 食料ハ下等玄米、農具料ハ下等品、種穀料ノ内粃ハ上等玄米ノ半額、麥ハ上等大麥ノ價格ヲ標準トシ罹災ノ前月所轄郡役所所在地下旬相場ニ依リ代金ニ換算ス

第四條 罹災ノ爲メ土地家屋ヲ賣却スルニ非ラサレハ地租ヲ納ムルコト能ハスト認ムル者ハ其出願ニ依リ地租總納額九拾圓未滿ノ者ニ限リ其被害地ノ地租未納全額又ハ其幾分ヲ補助或ハ貸與ス 但地租ヲ補助スルハ地租總納額拾圓未滿ノ者ニ限ル

地租總納額九拾圓以上ノ者ト雖モ二箇年以上引續災害ニ罹ルトキハ其狀況ニ依リ特ニ貸與ヲ爲スコトアルヘシ

左ノ一ニ該當スル者ハ地租補助又ハ貸與セス

- 一 土地及居宅付屬建物トモ以外ノ財產農事及生活ニ必要ナルモノ又ハ風除ノ竹木ヲ除ク及補助又ハ貸與ヲ受クルヲ得サル土地ノ收穫見積價格地租未納額ニ達スル者
- 一 米麥桑茶以外ノ作物及收穫以後ノ罹災
- 一 一筆反別ノ内米麥桑茶ノ作付面積七分未滿ノ土地
- 一 植付後二箇年ヲ經サル桑園及下種後五箇年ヲ經サル茶園
- 一 一筆反別ノ作付米麥收穫損毛八分以上ニ至ラサル土地
- 一 米麥作毛ノ被害査定以前收穫物ヲ刈取タル土地
- 一 飼養ニ供シ得ヘキ桑園飲料ニ製造シ得ヘキ茶園

第五條 一筆反別ノ内麥桑茶ヲ合作スル者ハ之ヲ通算シテ其損毛歩合ヲ査定ス此場合ニ於テハ飼養ニ供シ又ハ飲料ニ製造シ得サル桑茶ハ皆損毛トシテ算定スルモノトス

第六條 米麥收穫損毛ノ歩合ヲ定ムルハ土地臺帳記載ノ收穫ニ依ル

桑茶ハ被害ノ爲メ一筆反別ノ内八分以上ヲ刈棄テタルモノヲ以テ飼養ニ供シ又ハ飲料ニ製造シ得サルモノトス

第七條 陸米裏作麥夏秋蠶ノ飼養ニ供スル桑及ニ番芽ノ茶ハ被害アリト雖モ種穀料ヲ給與シ地租ヲ補助又ハ貸與セサルモノトス

第八條 食料、小屋掛料、農具料ノ給與ハ罹災ノ當日ヨリ三日以内種穀料地租ノ補助貸與ヲ請フ者ハ十日以内ニ被害地所在ノ町村長ヲ經テ出願スヘシ

第九條 地租ノ貸與ヲ受クル者ハ土地ヲ所有スル相當ノ證人二名以上ヲ立テ貸與金借用證書ヲ差出スヘシ

第十條 地租ノ貸與金ハ貸與ノ翌年ヨリ無利五箇年賦返納トシ其納期ハ毎年二月二十日限トス

第十一條 貸與金返納年限内重テ災害ニ罹リ再度貸與ヲ受クルトキハ初度貸與ノ返納殘額ハ翌年分ノ返納ヨリ順次一箇年ノ猶豫ヲ與ヘ貸與三度ニ及フトキハ初度貸與金ノ返納殘額ハ免除ス此場合ニ於テハ町村長ヲ經テ郡長ニ申出ツヘシ

第十二條 地租貸與返納年限内便宜一時ニ返納スル者ハ其殘額ニ對シ年五分ノ割合ヲ以テ

利引ヲ爲スヘシ

第十三條 地租ノ貸與ヲ受ケタル後其所有土地ノ全部ヲ質入賣却讓與スルトキハ貸與金ヲ一時ニ返納スヘシ

第十四條 地租貸與金返納年限内家督相續又ハ遺產相續ヲ爲シタル者ハ町村長ヲ經テ郡長ニ届出ツヘシ

第十五條 地租ノ貸與ヲ受ケタル者他町村ニ轉住スルトキハ年賦金返納ノ爲メ代人ヲ定メ町村長ニ届出ツヘシ

第十六條 給與及地租補助貸與支出多キ爲メ準備金ニ不足ヲ生スルトキハ國債證書ヲ賣却シテ之レヲ補充ス

第十七條 備荒儲蓄金ニ關スル諸費用及損失ハ備荒儲蓄金ヲ以テ之ヲ支辨ス

第十八條 本則ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行シ連年据置クモノトス

○埼玉縣訓令第二十八號 明治二十九年三月二十七日

郡 役 場
町 村 役 場

備荒儲蓄法施行細則取扱順序左ノ通定メ本年四月一日ヨリ施行ス

備荒儲蓄法施行細則取扱順序

第一條 備荒儲蓄法施行細則第八條ニ依リ罹災者ヨリ出願アルトキハ町村長ハ其旨郡長ニ報告シ且實地ヲ調査シ其被害地ニハ每筆ノ地番ヲ標示シ食料、小屋掛料及農具料ハ第一號書式ニ依リ種穀料、地租ノ補助貸與ハ第二號書式ニ依リ調書ヲ製シ郡長ニ差出スヘシ

第二條 郡長ニ於テ前條ノ報告ヲ受ケタルトキハ實地及資力ヲ調査シ食料ハ五日以内小屋掛料農具料ハ規定ノ範圍内ニ於テ直ニ救助ヲ施行シ六日以上ノ食料、種穀料及地租ノ補助貸與ハ第三號書式ニ依リ申請書ヲ調製シ縣知事ノ指揮ヲ請フヘシ 但町村長ノ報告ニヨリ罹災僅少ニシテ調書ニ依リ給否ヲ決定シ得ヘシト認ムルトキハ實地ノ調査ヲ爲サ、ルモ妨ケナシ

種穀料、地租ノ補助貸與ヲ受クル者其被害地數町村ニ跨ルトキハ各町村長ヲ經テ出願スヘキモノナリト雖モ給否ヲ定ムル資力ノ調査ハ各町村ヲ通シテ算出スルモノトス此場合ニ於テハ前項申請書ノ外其人名及關係町村名等ヲ記載セル調書ヲ添付スヘシ

第三條 暴災ニ罹リ一時窮困ニ迫ル者アルトキハ町村長ハ速ニ郡長ニ通報スヘシ 郡長ニ於テ前項ノ通報ヲ受ケタルトキハ其實況ニ依リ臨時避難所ヲ設ケ又ハ日數七日以内ノ炊出米ヲ給與スルコトヲ得

第四條 救助金及地租ノ補助貸與金ハ郡長ニ於テ被害地所在ノ町村長ヲ經テ罹災者ニ下付スヘシ町村長ハ罹災者ヨリ其證書ヲ徵シ計表ヲ付シテ郡長ニ差出スヘシ

第五條 郡長ニ於テ直ニ救助ヲ施行シタルトキハ第四號書式ニ依リ報告書ヲ調製シ正當受取證書ヲ縣知事ニ差出スヘシ

第六條 郡長ニ於テ縣知事ノ指揮ヲ受ケテ施行シタルモノハ第五號書式ニ依リ精算書ヲ調製シ正當受取證書ヲ添ヘテ縣知事ニ差出スヘシ 但地租貸與ノ借用證書ハ郡長ニ於テ保

管スヘシ

第七條 地租貸與金借用證書ハ第六號書式ニ依リ調製セシメ其年賦金ノ割合ハ全額ヲ五箇年ニ平分シ若シ厘位ニ滿タサル端金ヲ生シタルトキハ末年ノ返納金ニ加算スヘシ

第八條 郡長ニ於テ五日以内ノ食料小屋掛料、農具料及避難所諸費ノ支出ヲ要スルトキハ分置金ヲ以テ之ヲ支辨スヘシ若シ分置金ヲ以テ支辨シ能ハサルトキハ臨時増額ヲ請求スルコトヲ得

第九條 町村長ハ毎年二月地租貸與ノ返納金ヲ取纏メ翌月十日迄ニ人別仕譯書ヲ添ヘテ郡長ニ納付スヘシ

第十條 郡長ニ於テ前條地租貸與返納金ノ納付ヲ受ケタルトキハ之ヲ現金取扱所ニ拂込ミ第七號書式ニ依リ收入報告書ヲ調製シテ縣知事ニ報告スヘシ

第十一條 地租貸與返納期日ヲ過キ不納者アルトキハ町村長ハ督促ヲ爲シ尙ホ納メサルトキハ直ニ證人ヨリ代納セシムヘシ本人證人共ニ納メサルトキハ其人名、金額及不納ノ事由ヲ詳記シ之ヲ郡長ニ報告スヘシ

郡長ニ於テ前項不納者ノ報告ヲ受ケタルトキハ篤ト調査ヲ遂ケ意見ヲ付シテ更ニ縣知事ニ報告スヘシ

第十二條 町村長ハ地租貸與金ノ猶豫及免除ノ申出又ハ返納期限内一時返納ノ者アルトキハ返納殘額年賦仕譯書ヲ便宜調製添付シ郡長ニ差出スヘシ

郡長ニ於テ前項ノ申出又ハ一時返納ノ報告ヲ受ケタルトキハ第八號書式ニ依リ縣知事ニ報告スヘシ

第十三條 郡長ハ數戸若クハ數町村ニ跨ル災害ニシテ其救助委任權内ヲ以テ施行シ得ラレサルモノト認ムルトキハ豫メ其狀況ヲ縣知事ニ報告スヘシ此場合ニ於テハ時宜ニ依リ縣官ヲ派遣スルコトアルヘシ

第一號書式

何災食料救助調

現住人員	資力ノ有無	住所氏名
何 人	(種類ノ員數及其概算額ヲ記入ス)	何町(村)大字何々
何 人	、、、	何町(村)大字何々
何 人	、、、	何 某
何 人	、、、	何 某

何災小屋掛料救助調

現住人員	小屋掛材料ノ有無	資力ノ有無	住所氏名
何 人	皆無(小屋掛材料半以上存在)	(種類ノ員數及其概算額ヲ記入スヘシ)	何町(村)大字何々
何 人	、、、	、、、	何 某
何 人	、、、	、、、	何 某
何 人	、、、	、、、	何 某

計

何災農具料救助調

亡失農具	資力有無	住所職業氏名
何々 何々 何々	(種類ノ員數及其概算額ヲ記入ス)	何町(村)大字何々
何々 何々 何々	、、、	農 何 某
何々 何々 何々	、、、	農 何 某
何 何 何	、、、	何 某

右ハ何月何日何災ニ罹リ(食料)(小屋掛料)(農具料)救助ノ儀願出候ニ付實地調査候處備荒儲蓄法施行細則ニ依リ救助スヘキ窮民ト認候間此段上申候也

年 月 日 何郡長氏名殿 何郡何町(村)長 何 某 印

第二號書式

備考 (收穫損毛八分以上ニ至ラサル所有反別調ニハ無害反別モ算入スルモノトス)
 (田) 收穫損毛八分以上ニ至ラサル所有反別何程 本町(村) 大字何々
 (何畑) 收穫損毛八分以上ニ至ラサル所有反別何程 同 大字何々
 同 反別何程 何町村
 同 反別何程(他町村所有ノ分)

内
 收穫損毛八分以上ノ被害反別何程 大字何々
 同 八分以上ニ至ラサル反別何程 同
 (以下此例ニ依リ町村大字異ナル毎ニ所有反別ハ漏レナク記載スヘシ)

第三號書式

罹災食料救助申請(大字ニ計ヲ付シ一町村ニ合計ヲ付シ數町村ニ總計ヲ付スヘシ)
 罹災救助食料
 但延人員何人此現人員何人
 何災救助食料
 下等玄米石相場
 金何程

金	額	石	數	現住人員	給與日數	住所氏名
				何人	日	何町(村) 大字何々
				何人	日	何
				何人	日	何々
合計				何人	日	何

罹災種穀料救助申請 (同上)

何災(畑)救助種穀料
 上米(上等大麥)一石相場
 金何程

金	額	一反步種穀量	種穀數量	(田)耕作反別	所有地	住所職業氏名
					耕宅地 鑛泉地 其他	何町(村) 大字何々
						何
						何々
合計						何人

罹災地租(補助)(貸與)申請 (同上)

何災(田)地租補助(貸與)

金	額	被害八分以上ノ所有反別	被害八分未満ノ所有反別	地租總納額	細則第四條ノ財產其他見積價格ノ概算高	住所氏名
						何町(村) 大字何々
						何
						何々
合計						何 某 戶

右ハ何月何日何災ニ罹リ救助(地租補助)(地租貸與)ノ儀申出候ニ付實地調査候處備荒儲蓄法施行細則ニ照シ不都合ノ廉難之候間救助(補助)(貸與)致度候此段稟請候也

年月日
埼玉縣知事氏名殿

何郡長 何 某 印

第四號書式

罹災救助施行報告

一金何程

但人員何人此現人員何人

何災炊出米

内

金何程

此米何程

何郡何町買入一石相場
金何程

金何程

此米何程

同上

金額	石數	現人員	給與日數	戶數	町村名
		何	日	何	何町(村)
		、	、	、	、
		、	、	、	、
		、	、	、	、

計

何何

人人

何何

日日

、

、

、

何箇町村

一金何程

但延人員何人此現人員何人
此米何程

何災食料(大字ニ計テ付シ町村ニ合計テ)
付シ數町村ニ總計テ付スヘシ)

何等支米一石相場
金何程

金額	石數	現人員	給與日數	町村名
		何	日	何町(村)大字何々
		、	、	何々
		、	、	何
		、	、	何
		何	日	何
		何	日	何
		何	日	何
		何	日	何

合計

一金何程

何災小屋掛料

金額	現住人員	小屋掛材料ノ有無	住所職業氏名
	何	皆無(小屋掛料半以上存在)	何町(村)大字何々
	、		何々
	、		何
	何		何
	何		何
	何		何
	何		何
	何		何

計

一金何程

何災農具料

計		
金額	給與品及代價	住所職業氏名
	何々何個金何程何々何個金何程	何郡何町(村)大字何々農何
		同郡同町(村)大字何々農何
		某
		某
		某

一金何程

何災避難所諸費

計				
金額	種別	數量	單價	摘要
	借家料又ハ人足賃	一日又ハ何人		何町(村)ニ於テ何々子借受又ハ何々ニ依リ何々使用

右ハ何月何日何災ニ罹リ救助ノ儀願出候ニ付調査ノ上救助(實地ニ就キ炊出米救助)致候此段及報告候也

年 月 日

何郡長 何 某 印

埼玉縣知事氏名殿

第五號書式

罹災救助地租(補助)(貸與)施行報告

一金何程
但延人員何人此現人員何人

何災食料
下等玄米一石相場

計					
金額	石數	現住人員	給與日數	戶數	町村名
		何人	何日	何戶	何町(村)
		何人	何日	何戶	何箇町村

一金何程

何災(田方)種穀料
上等(上等大麥)一石相場

計					
金額	一反步種穀量	種穀數量	耕作反別	人員	町村名
				何人	何町(村)

第四類 地方財務 第三款 備荒儲蓄

計					何	人	何	箇	町	村
---	--	--	--	--	---	---	---	---	---	---

一金何程

何災(田方)地租補助

金額	人員	町	村	名
何	何	何	町	村
何	何	何	箇	町
何	何	何	箇	町
何	何	何	箇	町
何	何	何	箇	町
何	何	何	箇	町
何	何	何	箇	町
何	何	何	箇	町
何	何	何	箇	町
何	何	何	箇	町
何	何	何	箇	町

一金何程

何災(田方)地租貸與

町種別	初年度	二年目	三年目	四年目	五年目	計
村名	金額	人員	金額	人員	金額	人員
何町(村)	二〇〇〇	一〇〇	二〇〇〇	一〇〇	二〇〇〇	一〇〇
何町(村)	二〇〇〇	一〇〇	二〇〇〇	一〇〇	二〇〇〇	一〇〇
何町(村)	二〇〇〇	一〇〇	二〇〇〇	一〇〇	二〇〇〇	一〇〇
何町(村)	二〇〇〇	一〇〇	二〇〇〇	一〇〇	二〇〇〇	一〇〇
何町(村)	二〇〇〇	一〇〇	二〇〇〇	一〇〇	二〇〇〇	一〇〇
何町(村)	二〇〇〇	一〇〇	二〇〇〇	一〇〇	二〇〇〇	一〇〇
何町(村)	二〇〇〇	一〇〇	二〇〇〇	一〇〇	二〇〇〇	一〇〇
何町(村)	二〇〇〇	一〇〇	二〇〇〇	一〇〇	二〇〇〇	一〇〇
何町(村)	二〇〇〇	一〇〇	二〇〇〇	一〇〇	二〇〇〇	一〇〇
何町(村)	二〇〇〇	一〇〇	二〇〇〇	一〇〇	二〇〇〇	一〇〇
合計						

右ハ何月何日何災ニ罹リ救助地租(補助)(貸與)ノ儀稟請許可ヲ得テ施行致候此段及報告候也
 年月日
 何郡長 何 某 印

埼玉縣知事氏名殿

第六號書式

證

一金何程
 備荒儲蓄借入金
 但明治何年ヨリ明治何年迄五箇年賦返納一箇年金何程ツ、末年何程
 右ハ明治何年何月何日田方(畑方)何災ニ罹リ損害ヲ受ケ候處該地租金上納ノ爲メ備荒儲蓄法施行細則ニ依リ御貸與被下正ニ借用仕候就テハ前掲割合ノ通毎年二月二十日限り返納可仕候萬一御規定ニ悖リ候節ハ證人ニ於テ即時代納可仕候仍テ證書差出候也

年月日
 何縣何郡何町(村)大字何々何番地 某 印
 同縣何郡何町(村)大字何々何番地 證人 何 某 印
 同縣何郡何町(村)大字何々何番地 證人 何 某 印

埼玉縣知事氏名殿

第七號書式

何災地租賃與返納金收入報告書(一町村皆納ノトキノ例)

一金何程

内譯

明治何年ヨリ何年迄何箇年貸與ノ分
初年(何年月)返納金

計	金 額		人 員	町 村 名
	何	何		
			何	何 箇 町 (村)
			、	、
			何	何 箇 町 村

右及報告候也

年 月 日

埼玉縣知事氏名殿

何郡長 何 某印

(備考) 一 地租賃與金一時ニ返納シタルモノアルトキハ本例ニ倣ヒ郡町村名ノ欄ヲ住所氏名トシ其他年賦金及事由等ヲ詳記添付スヘシ

一金何程

内譯

何災地租賃與返納金收入報告書(一町村皆納ニ至ラスノ内納ノトキノ例)

計	收 入 額		年 賦 額	町 村 名
	何	何		
			何	何 箇 町 (村)
			、	、
			何	何 箇 町 村

右及報告候也

年 月 日

埼玉縣知事氏名殿

何郡長 何 某印

(備考) 一 一町村皆納ニ至ラサルモノハ本例ニ依リ報告シ皆納ニ至リ更ニ皆納ノ例ニ依リ報告スヘシ

第八號書式

地租賃與金返納(免除)殘額年賦仕譯書

町村名	年次	年期	年賦額	納一時返額	利引額	免除額	猶豫額	更正年賦額
計								

右ハ何月何日何災ニ罹リ(何々ニヨリ)貸與再度(三度)ニ及候ニ就テハ初度貸與金一箇年猶豫(免除)ノ儀申出(一時返納シタル者アルヲ以テ利引致)候處其殘額年賦仕譯書ノ通有之候別紙相添此段及報告候也

年月日

何郡長 何 某印

埼玉縣知事氏名殿

(備考) 一 無年期整理ニ係ルモノアルトキハ其通知ヲ得タルトキ本例ニ依リ報告スルモノトス

地租貸與返納(免除)無年期整理額調書
(免除(無年期)ノトキノ例)

何年分	何年分	何年分	何年分	何年分	郡町村氏名
賦額					

計	年次	年賦額	一時返納額	利引額	郡町村氏名

(一時返納ノトキノ例)

計	年次	年賦額	一時返納額	利引額	郡町村氏名

○埼玉縣訓令第三十三號

明治二十九年四月一日

郡役所

備荒儲蓄法施行細則第二條ニ依リ各郡役所ニ分置スル金額左ノ通定ム

- 一金四拾圓 北足立郡役所 入間郡役所
- 一金貳拾五圓 比企郡役所 秩父郡役所
- 一金貳拾五圓 兒玉郡役所 大里郡役所
- 一金三拾圓 北埼玉郡役所 南埼玉郡役所
- 一金貳拾五圓 北葛飾郡役所

第四款 郡町村費 附財產

○埼玉縣訓令第六十一號 明治二十九年七月三日 郡 役 所
 明治二十四年四月内務省令第二號第二條豫算書ニ添付スヘキ説明書ハ別冊ノ式ニ依リ調製スヘシ 但別冊ハ別ニ頒ツ(別冊略ス)

○埼玉縣訓令第四十八號 明治三十年四月二十七日 郡 役 所
 郡歳入歳出精算ハ明治二十四年四月内務省令第二號豫算書及明治二十九年七月埼玉縣訓令第六十一號豫算説明書ノ式ニ準シ調製スヘシ

○縣訓令第二百三十二號 明治二十六年三月三十一日 郡 村 役 場
 明治二十二年四月訓令第四十九號町村歳入歳出豫算表記載例別冊ノ通改正ス 但決算ハ本表ニ準シ調製スヘシ 別冊ハ別ニ頒ツ

(別冊) 町村歳入歳出豫算表記載例

埼玉縣何郡何町(村)(何町村組合)明治何年度歳入出豫算(決算)表

歳 入

科	目	前年度豫算額 (本年度決算額)	本年度豫算額	附	記
---	---	--------------------	--------	---	---

第一款	財産収入				
一	貸地料				○某所字何々宅地(原野)反別何程或ハ坪數何程貸地料一箇月金何程
二	藏敷料				○某所土藏幾棟一棟一箇月金何程
三	貸附金穀利子				○共有金貸付元金何千圓年幾割此利子金何程 ○同何百圓月幾割此利子金何程 ○貸付米何石此利米何斗一石相場金何圓此代金何程
四	公債利子				○何種公債證書額面何千圓此利子金何程 ○何種公債證書額面何千圓此利子金何程
五	小作米				○某所字何々田(畑)小作米何石代金
六	森林副産物拂下				○某所字何々森林笹藪拂下金
七	水道收入				○吹井戸何十個一個ニ付金何圓此金何程 ○井戸何百個一個ニ付金何圓此金何程
第二款	使用料及手數料				
一	議事堂使用料				○何日一日金何圓
二	堤塘使用料				○某所字何々堤塘幾坪一坪金何圓
三	道路並木敷使用料				○何街道並木敷幾坪一坪金何圓

四	何使用料					○(町村制第八十四條、第八十九條ニ係ル使用料等各別ニ列記スヘシ)
五	諸收入金滞納督促手 數料					○督促手數料何度一度金何錢
六	何手數料					○(町村制第八十九條ニ係ル手數料ヲ列記スヘシ)
第三款	雜收入					
一	橋錢及渡船賃					○何川何橋橋錢何圓○何川何所渡船賃金何圓
二	竹木拂代					○何堤竹木拂下代金何圓○並木枯損木拂代金何圓
三	不用品拂代					○不用書籍拂代金何圓○反古拂代金何圓○糞尿拂代金何圓
四	小學校授業料					○生徒何百人一人金拾錢此金何程○同何十人一人金何拾錢此金何程
五	豫知スヘカラサル收 入					○(過怠金、科料金、賠償金其他豫知スヘカラサル收入ヲ編入スヘシ)
第四款	前年度繰越金					○明治何年殘餘金
第五款	地方稅補助金					
一	土木費補助					○何堤防修築補助費金何程○何道路改築補助金何圓

第六款	寄附金					
一	土木費寄附					○何橋架設費指定金何圓○何用水路修繕費指定金何圓
二	救助費寄附					○何教育場費指定金何圓○窮民救助指定金何圓
第七款	交付金					
一	國庫交付金					○國稅金何圓ノ百分ノ四
二	縣交付金					○地方稅金何圓ノ百分ノ四
第八款	町村稅					
一	地價割					○地價金何圓ニ付何錢本年地租豫算(決算)高金何程地租一圓ニ付金何程即チ地租ノ何分
二	營業稅					○本年度營業稅、雜種稅ノ何分
三	戶別(家屋)割					○本年度地方稅戶數割(家屋稅)何分
四	間接國稅附加稅					
一	何々					○本年度何々稅ノ何分

二報酬	○町(村)長金何圓○助役金何圓○常置委員金何圓○區長金何圓
三實費辨償額	○町(村)長金何圓○助役金何圓○常置委員金何圓○區長金何圓
四退隱料	○町(村)長金何圓○助役金何圓○收入役金何圓○書記金何圓○付屬員金何圓
五雇人料	○雇人足何人一人金何拾錢此金何程○筆耕料金何圓
第三項需用費	
一備品費	○卓子新調何脚一脚金何圓此金何程○同修繕何脚一脚金何圓此金何程○椅子新調何脚一脚金何圓此金何程○何々金何圓
二消耗品費	○筆紙墨金何圓○薪炭油茶金何圓○何々金何圓
三印刷費	○令狀印刷金何圓○表類金何圓○何々金何圓
四賄費	○宿直延何日一夜賄金何錢此金何程○夜勤延何日一度賄金何錢此金何程
五通信運搬買費	○郵便何通一通金何錢此金何程○電信何度一度金何拾錢此金何程○運搬何度一度金何錢此金何程
六雜費	○借家料金何圓○借地料金何圓○何々金何圓
第四項常時修繕費	

一役場修繕費	○屋根修繕何坪此金圓○塙牆修繕何間此金何圓
二物置修繕費	○屋根修繕何坪此金何圓○何々修繕何圓此金何圓
第二款會議費	
一議員實費辨償額	○議員何人延日數何日一人金何拾錢
二書記給料	○書記何人延日數何日一人日給金何拾錢
三雇人料	○臨時雇何人延日數何日一人日給金何拾錢此金何程○雇人足何人一人金何拾錢此金何程
四印刷費	○議案何枚一枚金何厘此金何程○決議書何枚一枚金何厘此金何程○何々枚一枚金何厘此金何程
五備品費	○卓子新調一脚金何圓此金何程○同修繕何脚一脚金何圓此金何程○椅子何脚一脚金何圓此金何程○何々金何圓
六消耗品費	○筆紙墨何圓○薪炭油茶金何圓○何々金何圓
七通信運搬費	○郵便何通一通金何錢此金何程○運搬何度一度金何錢此金何程
八雜費	○何々
第三款土木費	

第一項	道路修繕費	○延長何間
二	何道路修繕費	○延長何間
第二項	橋梁費	○諸色代金何圓○人夫賃金何圓
一	何橋修繕費	○諸色代金何圓○人夫賃金何圓
二	何橋修繕費	○諸色代金何圓○人夫賃金何圓
第三項	治水費	
一	何川浚渫費	○人夫賃金何圓○何々金何圓
二	何川藻刈費	○人夫賃金何圓○何々金何圓
三	何用(惡)水路費	○何々
第四項	堤防費	○延長何間
一	何堤防修繕費	○延長何間

二	何堤防修繕費	○延長何間
第五項	樋管費	○諸色代金何圓○人夫賃金何圓
一	何樋管修繕費	○諸色代金何圓○人夫賃金何圓
二	何樋管修繕費	○諸色代金何圓○人夫賃金何圓
第六項	雜費	○何々測量金何圓○何々樋番給金何圓○何々金何圓
第四款	教育費	
第一項	給料	○校長月俸金何圓○正教員何人一人月俸金何圓此金何程○准教員何人一人月俸金何圓此金何程
一	校長給料	○校長、正教員、汽車哩數延何哩汽車賃一哩金何錢此金何程○同陸路里數延何哩汽車賃一哩金何錢此金何程○同日當延何日當一日金何拾錢此金何程○准教員汽車哩數延何哩汽車賃一哩金何錢此金何程○同陸路里數延何哩汽車賃一哩金何錢此金何程
二	使丁給料	○月給金何圓何人
第二項	雜給	
一	旅費	

第四類 地方財務 第四款 郡町村費

第一項 消防費	一 消防器械費	○何々
二 火番人給	○何人一人金何拾錢	
第八款 勸業費		
一 蟲害豫防費	○何々	
二 獸疫豫防費	○何々	
三 試驗費	○何々種苗金何圓○何々栽培金何圓○何々金何圓	
四 通信運搬費	○郵便何通一通何錢此金何程○運搬何度一度金何錢此金何程	
五 雜費	○何々	
第九款 諸稅及負擔		
第一項 國稅		
一 地租	○田(畑)(宅地)(山林)反別何町步	

第二項 地方稅	一 地租割	○本年地租豫(決)算高金何圓地租壹圓二付金何錢
第三項 町村稅	一 地價割	○本年地租豫(決)算高金何圓地價一圓二付金何錢
第四項 組合費	一 本町(村)負擔	○何費負擔
第十款 町村公債費	一 公債元金償還	○公債元金何圓ノ内
二 一時借入元金償還	○一時借入元金何圓ノ内	
三公債利子	○金何圓ニ付年何割	
四 一時借入金利子	○金何圓ニ付年何割	
第十一款 雜支出		

臨時部		前年度豫算額 (本年度決算額)	本年度豫算額
一	山番給		
二	墓地費		
三	何費		
第十二款	豫備費		
合計			
科	目		
第一款	土木費		
第一項	道路費		
一	何道路開鑿費		
二	何道路改築費		
第二項	橋梁費		

○何人一人年給金何圓

○墓地掃除人手當金何圓○何々金何圓

○何々

○木材金何圓○人夫賃金何圓○何々金何圓

○延長何間

○何々

○校舍建坪何坪一坪金何圓此金何程○柵矢來延長何間一間金何圓此金何程○門一々所金何圓

第一項	建築費						
一	何學校建築費						
第二款	教育費						
二	何堤急水留費						
第三項	堤防費						
一	何築堤費						
二	何堤急水留費						
合計							
通計							

○縣訓令第二百三十六號 明治二十六年三月三十一日

町村出納帳簿式別冊ノ通定ム 但別冊ハ別ニ頒ツ(別冊略ス)

○訓令第四十號 明治二十二年四月二日

町村稅ハ町村制第九十條ニ依リ國稅府縣稅ニ附加シ又ハ特別稅ヲ課スル等其町村ノ便宜ニ

町郡 役 場所

町郡 村 役 場所

任スト雖モ從來ノ課目中地價割戸別割家屋割及營業割等ハ附加税ノ性質ニ屬シ反別割ハ特別税ニ屬スルヲ以テ成ル可ク此課目ヲ存シ當分ノ内ハ別ニ新税ヲ起サ、ルヲ要ス

○訓令第四號 明治二十三年二月七日

町 郡 役 場 所

町村税ハ成ル可ク從來ノ町村費課目ヲ存シ當分ノ内別ニ新税ヲ起サ、ルヲ要スル儀ハ明治二十二年^四訓令第四十號ヲ以テ訓令ニ及ヒタル通りニ有之間接國税ニ附加税ヲ賦課シ若クハ地租七分ノ一其他直接國税百分ノ五十ヲ超過スル附加税ヲ賦課シ若クハ特別税ヲ新設變更スルカ如キハ町村ノ財政上必要アル場合ノ外ハ勉メテ之ヲ避ク可キハ勿論ナル處往々之カ許可ヲ稟請スルモノアリ畢竟天災地變ノ爲メ臨時費ヲ要スル等不得已事實ニ由ルモノ居多ナルヘント雖モ抑町村制第二百二十六條ノ規定アルハ町村財政ノ處分ハ國ノ利害ニ關係ヲ有スルヲ以テ精密ノ調査ヲ要セラル、ニ付自今特別税ヲ新設又ハ變更シ若クハ地租七分ノ一其他直接國税百分ノ五十ヲ超過スル附加税ヲ賦課シ及間接國税ニ附加税ヲ賦課スル稟請ニ付テハ調査ノ参照トシテ左掲ノ書類ヲ添付スヘキ儀ト心得ヘシ

○縣訓令第四百七十七號 明治二十六年五月三十日

町 郡 役 場 所

明治二十三年^二訓令第四號ニ依リ添付スル参照書類ノ儀別紙ノ通改正ス尤モ町村其他ノ歳入出豫算表ハ別ニ添付ヲ要セサル儀ト心得ヘシ
但別紙ハ別ニ頒ツ

(別紙)

- 一 町村歳入一覽表 別紙第一號表式ニ準ス
- 一同 歳出一覽表 別紙第二號表式ニ準ス

但此歳出一覽表ハ地租制限外其他直接國税百分ノ五十ヲ超過スル附加税又ハ特別税若クハ間接國税附加税ノ賦課ヲ議決シタル豫算ノ歳出ヲ掲クヘシ若シ其豫算二種以上ニ涉ルモノハ格別ニ調製スヘシ

- 一 地租制限外其他直接國税百分ノ五十ヲ超過スル附加税又ハ特別税若クハ間接國税附加税賦課ニ關スル町村會議決書及其理由書
- 一同上議決書ニハ賦課ノ年度地租制限外其他直接國税百分ノ五十ヲ超過スル附加税ハ超過金額及其課率^(課率金額ハ厘以下三位ニ止ム)特別税間接國税附加税ハ課税物件課率等ヲ明記スヘシ
- 一同上ニ關スル町村長ノ稟請書中ニハ其課税ヲ要スルノ費途及議決ヲ爲シタル會議名ヲ掲クヘシ
- 一 町村組合町村學校組合二十二年法律第十一號ニ依リ存續シタル會議ニ係ルモノハ前各項ニ準シ調製スヘシ

第一表

埼玉縣某郡某村明治何年度歳入一覽表

第一例 (△印ハ朱書)

費 途	附 加		税		特 別 税		計
	地 價 割	家 屋 別 割	營 業 割	何 々 附 加 税	段 別 割	存 置 税	
本 町 經 常 費	〇〇〇〇	〇〇〇〇		〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
本 町 臨 時 費							
何 町 外 何 箇 町 村 組 合 經 常 費							
同 臨 時 費							
本 村 何 區 何 々 經 常 費							
同 臨 時 費							
何 水 利 土 功 會 經 常 費							
同 臨 時 費							
何 町 外 何 箇 町 村 聯 合 會 經 常 費							
同 臨 時 費							
何 々 々 々 費							
合 計							
地 租 金 若 干 戸 數 幾 戸	此 七 分 一 若 平 均 一 戸 二 千	幾 戸	地 方 税 金 若 本 税 金 若 干	此 何 分	何 段 別 何 町 步		

九十八

干	付 金 若 干 又 此 何 分	本 税 壹 圓 二 一 段 步 二 付 若 干	但 直 接 國 稅 附 加 金 若 干 地 租 若 干	不 均 一 稅 率 納 稅 額 若 干	依 其 稅 率 納 稅 額 若 干	依 其 稅 率 納 稅 額 若 干	依 其 稅 率 納 稅 額 若 干	依 其 稅 率 納 稅 額 若 干	依 其 稅 率 納 稅 額 若 干
超 過 若 干	付 金 若 干 又 此 何 分	本 税 壹 圓 二 一 段 步 二 付 若 干	但 直 接 國 稅 附 加 金 若 干 地 租 若 干	不 均 一 稅 率 納 稅 額 若 干	依 其 稅 率 納 稅 額 若 干	依 其 稅 率 納 稅 額 若 干	依 其 稅 率 納 稅 額 若 干	依 其 稅 率 納 稅 額 若 干	依 其 稅 率 納 稅 額 若 干
剩 餘 若 干	幾 個 付	金 若 干 地 租 若 干	金 若 干 地 租 若 干	金 若 干 地 租 若 干	金 若 干 地 租 若 干	金 若 干 地 租 若 干	金 若 干 地 租 若 干	金 若 干 地 租 若 干	金 若 干 地 租 若 干
又 ハ	平 均 幾 坪 二 金 若 干	若 干	若 干	若 干	若 干	若 干	若 干	若 干	若 干
地 價 割 總 額 若 干	金 若 干	金 若 干	金 若 干	金 若 干	金 若 干	金 若 干	金 若 干	金 若 干	金 若 干
此 課 率 地 租 若 干	金 若 干	金 若 干	金 若 干	金 若 干	金 若 干	金 若 干	金 若 干	金 若 干	金 若 干
最 近 地 租 額 若 干	金 若 干	金 若 干	金 若 干	金 若 干	金 若 干	金 若 干	金 若 干	金 若 干	金 若 干
一 二 五 分 一 若 干	金 若 干	金 若 干	金 若 干	金 若 干	金 若 干	金 若 干	金 若 干	金 若 干	金 若 干
超 過 金 若 干	金 若 干	金 若 干	金 若 干	金 若 干	金 若 干	金 若 干	金 若 干	金 若 干	金 若 干

凡例

一 費 途 ノ 欄 ニ ハ 地 租 制 限 外 其 他 直 接 國 稅 百 分 ノ 五 十 ヲ 超 過 ス ル 附 加 税 又 ハ 特 別 税 若 ク ハ 間 接 國 稅 附 加 税 ノ 賦 課 ヲ 要 ス ル 費 途 ヲ 墨 書 シ 其 他 ノ 費 目 ハ 朱 書 ス ヘ シ

一 其 他 ノ 收 入 ノ 欄 ニ ハ 課 税 外 一 切 ノ 收 入 即 チ 雜 收 入 使 用 料 手 數 料 國 庫 及 地 方 税 交 付 金 財 産 ヲ リ 生 ス ル 收 入 等 ヲ 合 計 シ テ 記 入 ス ヘ シ

一 特 別 税 中 町 村 制 第 百 二 十 六 條 ニ 依 リ 許 可 ヲ 要 セ ス シ テ 從 前 ノ 儘 存 置 シ タ ル モ ノ ハ 特 別

○訓令第一百十號

明治二十三年十二月二十六日

郡役所

町村歲入出決算郡計表左式ニ依リ毎年度後五箇月以内ニ報告スヘシ

明治何年度町村歲入出決算郡計表

(△印ハ朱書)

何郡

一金 歲入

財産ヨリ生スル收入

内譯

金

貸地料

金

何藏敷料

一金 内譯

使用料及手數料

金

議事堂使用料

金

何堤塘使用料

一金 内譯

雜收入

金

橋錢及渡船賃

金

竹木拂代

一金

前年度繰越金

内

一金

寄附金

内譯

土木費寄附

金

何救助費寄附

金

何國庫交付金

一金

何縣交付金

一金

町村稅

内譯

地價割

但地價金何圓ニ付何錢本年
地租精算高金何程地租壹圓
ニ付金何程即チ地租ノ何分

第四類 地方財務 第四款 郡町村費

金 金 金
 營業割 百八
 但本年度地方稅營業ノ何分
 戶數割
 但本年總戶數何戶一戸ニ付
 金何程即チ地方稅戶數割ノ
 何分
 何々(反別割ナレハ本年總
 金何程ト記載スヘシ)

合計金何程
 (右ノ外新設科目アレハ總テ記載スヘシ)

役場費
 町村稅
 寄附金
 給料
 町村長給料
 何々
 金 金 金 金 金 金 金 金 金 金
 內 內 內 內 內 內 內 內 內 內
 歲出

雜給
 旅費
 何々
 何々
 會費
 何々
 議員實費辨償額
 書記給料
 何々
 金 金 金 金 金 金 金 金 金 金
 內 內 內 內 內 內 內 內 內 內
 一 金
 內 譯

右報告ス
 明治 年 月 日
 知事氏名宛
 郡長氏 名 印
 郡 役 所

○埼玉縣訓令第三十七號
 明治二十八年四月二十三日

町村歳入出豫算郡計表明治二十三年^{十二}訓令第一百十號決算郡計表ノ式ニ準シ毎年度四月末日迄ニ報告スヘシ 但明治二十八年度分ハ本年五月末日限り報告スヘシ

○訓第三十七號 明治二十二年三月三十日

町村費ニ對シ金穀物件ヲ寄附シタルモノ其寄附者指定ノ事業又ハ費途ノ廢絶シタル場合ニ於テ其金穀物件ハ左ノ各項ニ依リ取扱フヘシ

第一項 一旦使用ノ後寄附者指定ノ事業又ハ費途ノ廢絶シタル場合ニ於テハ町村會ノ議決ニ依リ其事業又ハ費途ニ最モ近似ノ事業ニ充用シ若クハ寄附者ニ還付スル事ヲ得

同上ノ金穀物件ニシテ未タ使用スルニ至ラスシテ寄附者指定ノ事業又ハ費途ノ廢絶シタル場合ニ於テハ之ヲ寄附者ニ還付スヘシ

第二項 元金又ハ原物ヲ委托シ其收得ヲ寄附シタルモノ若クハ元金又ハ原物ヲ据置トナシ其收得ヲ使用スルノ方法ヲ以テ元金又ハ原物ヲ寄附シタルモノ其事業又ハ費途ノ廢絶シタル場合ニ於テハ其元金又ハ原物ハ之ヲ寄附者ニ還付シ其現存ノ收得又ハ之ヲ以テ支辨シタル物件ハ前項ニ依リ處分スヘシ

第三項 寄附ノ金穀物件ニシテ其處分方ニ付特別ノ約束ヲ付セサルモノハ各々其約束ニ依ルヘシ

○埼玉縣訓令第四十二號 明治二十八年五月十日 郡 役 所

町村立學校基本財産調左ノ様式ニ據リ調製進達スヘシ

町村立學校基本財産調		明治何年度末現在		何郡役所	
郡名	町村立學校數	土地價格	建物價格	穀物價格	諸公債證券價格
何郡					
何郡					
何郡					
何郡					
計					

附記

一本表ハ毎年八月三十一日限進達スヘシ

一土地ノ價格ハ比隣同等地ノ賣買實價建物價格ハ評價穀物諸公債證券價格ハ時價其他諸物品價格ハ其品物ニ應シ時價又ハ評價ヲ以テ記入スヘシ 但山林原野ノ土石木等ノ價格ハ見積ヲ以テ土地ニ合算スヘシ

一町村學校組合及區ノ設立ニ係ルモノモ包含ス 但組合ハ一町村ト見做スヘシ

一本表ハ一郡毎ニ取調ヲ要ス

○埼玉縣訓令第九十二號

明治三十年八月六日

郡役所

郡役所ニ於テ町村ノ基本財産臺帳ヲ備ヘ増減異動並該財産ノ所在及處分ノ顛末ヲ登記スヘシ但臺帳ノ様式ハ別ニ頒ツ(三十年訓令第一四二號ヲ以テ但書改正様式ヲ領付ス但様式略ス)

○縣訓令第四百三十六號

明治二十六年五月十六日

郡役所
町村役場

水利組合歳入出豫算決算調製及出納事務取扱手續左ノ通定ム

一組合ノ歳入出豫算決算ハ町村歳入出豫算決算ノ式ニ準シテ調製スヘシ

豫算ハ組合會議決後、決算ハ組合會議認定後(町村長ノ管理者タル場合ハ郡長ヲ經テ)十日以内ニ報告スヘシ

二組合ノ出納帳簿ハ郡町村出納帳簿ノ式ニ準シテ調製スヘシ

出納事務ハ郡町村ノ出納事務ト混同セサル様分別シ總テ郡町村ノ出納事務ニ準シテ取扱フヘシ

三其他組合會ノ議決ヲ經タル事件ハ其議決後(町村長ノ管理者タル場合ハ郡長ヲ經テ)十日以内ニ報告スヘシ

第五類 公文及報告

第一款 公文 官、縣報及報告

○縣令甲第五十四號

明治二十六年十一月二十四日

本縣令及郡令ハ縣報ヲ以テ公布ス

○縣令甲第五十五號

明治二十六年十一月二十四日

管内一般又ハ一部ニ告達スル告示及告諭ニハ知事署名シ公布ノ年月日ヲ記入シ縣報ヲ以テ公布ス

所轄官廳、官吏及監督ニ屬スル役場、公吏ニ達スル訓令モ亦前項ノ例ニ依ル 但時宜ニ依リ縣報ニ登載セサルコトアルヘシ

○丙第四百五十三號

明治二十六年十一月二十四日

明治二十四年八月訓令第八十二號縣令告示告諭訓令公文書式左ノ通改正シ本年十二月一日ヨリ施行ス

第一 縣令

埼玉縣令第何號

(何郡何町村)(何々區域町村)(何々區域)

(一部ニ發スルモノニ限リ箇所ヲ掲ク告示告諭亦同シ)

何々、、、、、(左ノ通定ム)

(但本令ハ何年月日ヨリ施行ス)

又例

何年(何月)埼玉縣令第何號何々(左ノ通改正追加削除廢止ス)

年月日

埼玉縣知事 氏 名

第二 告示

埼玉縣告示第何號

何々、、、、、、、、、

年月日

埼玉縣知事 氏 名

第三 告諭

埼玉縣告諭第何號

何々、、、、、、、、、

年月日

埼玉縣知事 氏 名

第四 訓令

埼玉縣訓令第何號

何々、、、、、、、、、(左ノ通定ム)(心得取扱フ取計フ差出スヘシ)又例

(部署課)(郡役所)(警察署)(警察分署)(收稅署)(町村役場)(某官)

(平假名ヲ用ヒ又文字ニ假名ヲ付スルコトアルヘシ)

何年(何月)埼玉縣訓令第何號何々(左ノ通改正追加削除廢止ス)

年月日

埼玉縣知事 氏 名

○訓令第百二十九號

明治二十四年九月十八日

郡 役 所

官報縣報報告取扱手續左ノ通定ム

官報縣報報告取扱手續

第一條 官報、縣報ノ報告ニ關スル事務ヲ取扱ハシムル爲メ各郡役所ニ報告擔任者一名若クハ二名ヲ定メ其氏名ヲ縣廳內務部ニ通報スヘシ

第二條 報告擔任者ハ官報、縣報ニ登載スヘキ事項ヲ取調縣報原稿用紙ニ之ヲ記載シテ送付スヘシ 但原稿ニハ添書ヲ要セス其紙尾ニ月日及郡名ヲ記スヘシ

第三條 縣報發行日ノ前日午前九時迄ニ本廳ニ到達シタル原稿ハ定期發行ノ縣報ニ登載スヘシ 但郡令、郡告示ヲ除クノ外ハ字句ヲ修正シ若クハ登載ノ都合ニ依リ其原稿ヲ次回ニ譲リ又ハ數回ニ分載スルコトアルヘシ (二十六年訓令第五七二號及三十二年同第四四號ヲ以テ本條中改正)

第四條 縣報發行ノ定日ヲ俟ツ能ハサル緊急ノ事項アルトキハ郡長ハ該原稿ニ其事由書ヲ添テ送付スヘシ

第五條 縣報ニ登載スヘキ事項中郡令、郡告示ノ外ハ彙報若クハ廣告トス (二十六年訓令第五七二號ヲ以テ本條中改)

第六條 縣報原稿用紙ハ甲乙ノ二種ニ分チ郡令、郡告示ヲ甲種トシ彙報及廣告ヲ乙種トス

但原稿ノ字體ハ正楷ヲ以テ記載スヘシ(上同)

第七條 縣報ニ登載スヘキ事項中郡令、郡告示ノ改正削除廢止等ニ係ルモノハ參照トシテ該原稿ニ其全文又ハ條項ヲ附記スヘシ(上同)

第八條 官報及縣報ニ併載スヘキ事項ハ各別ニ報告スルニ及ハス 但縣報原稿中ニ(官報、縣報)ノ四字ヲ附記スヘシ

第九條 官報、縣報報告事項ノ數位ニ屬スルモノハ金員ハ厘位ニ量數ハ合位ニ坪數ハ才位ニ段別ハ步位ニ止メ一位ニ「」ヲ附スヘシ

第十條 農作物ノ被害等ノ比較ハ百分率ニ依リ記スヘシ

第十一條 報告擔任者ニ於テ報告スヘキ事項左ノ如シ

- 一、二 (三十年訓令第四四號ヲ以テ削除)
- 三 町村費歲入出豫算精算
- 四 穀、菜、果樹、桑樹、茶樹栽培法、蠶兒飼養法、蟲害驅除豫防法、家畜、家禽蕃息、保健、治疾法其他農產物及工業上ニ關スル質問答議
- 五 重要作物ノ景況(三十年訓令第四四號ヲ以テ改正)
- 六 種子交換及肥料等得失
- 七 農作物試驗場景況及其栽培植物種類
- 八 天產物、人造物成績及開墾等景況

九 旱、水、風、雨、雹害其他作物被害景況

十 農工商會開閉及議決要領並項目

十一 農事諸會ノ會況(三十年訓令第四四號ヲ以テ改正)

十二 老農實驗說其他農事ニ關スル古來慣習ノ參考トナルヘキモノ

十三 博覽會共進會等景況及出品概目審查概況等

十四 天然物、人造物產出高、收納金高及増減並ニ原由

十五 製作及製造場景況並盛衰原由

十六 發明工夫ニ係ル事項

十七 蠶飼、製茶及製藍傳習所景況

十八 蠶絲、茶業、森林組合及同業組合ニ關スル事項

十九 牛馬鳥畜蕃殖及流行病等

二十 物價變動及原由

二十一 特有物產市價並ニ賣捌地方等

二十二 金融景況

二十三 (三十年訓令第四四號ヲ以テ削除)

二十四 水産ニ關スル事項

二十五 地籍異動及山林並ニ鑛物ニ關スル事項

- 二十六 天災(暴風、雨其他山嶽鳴動崩壞等)及氣候激變等
- 二十七 開鑿其他諸般新工事又ハ古來大土工ノ參考トナルヘキモノ
- 二十八 河川堤防、道路、橋梁、溝渠等重要ナル修繕景況竝ニ竣功等
- 二十九 堤防、道路、橋梁破損等
- 三十 出水景況及其被害等
- 三十一、三十二、三十三、三十四 (三十年訓令第四) (四號ヲ以テ削除)
- 三十五 學事ニ關スル諸會景況
- 三十六 (三十年訓令第四) (四號ヲ以テ削除)
- 三十七 傳染病流行徵候、病勢緩急、劇易、病患屏息、豫防消毒法施行要領虎列刺病ニ罹リタルモノ郡町村大字竝ニ氏名年齡等
- 三十八 地方病及中毒ニ係ル紀事
- 三十九、四十 (三十年訓令第四) (四號ヲ以テ削除)
- 四十一 飲料水ノ試驗成績
- 四十二 清潔法施行成績
- 四十三 諸隊行軍演習等
- 四十四 (三十年訓令第四) (四號ヲ以テ削除)
- 四十五 官印及官ノ記章アル物品竝ニ諸鑑札遺失、紛失、燒失、流失、盜難、携帶逃走等

六

四十六 物件賣買貸借及工事受負競争入札等
右ノ外郡役所ノ取扱ニ係ル緊要ノ事項

○訓令第三百三十一號 明治二十四年九月十八日

各 部 署

官報縣報報告取扱順序左ノ通定ム

官報縣報報告取扱順序

- 第一條 官報、縣報ノ報告ニ關スル事務ヲ取扱ハシムル爲メ知事官房及各部署課ニ報告擔任者一名若クハ二名ヲ定メ置クヘシ 但内務部第一課ニ於テハ庶務主任ヲ以テ之ニ充ツ
- 第二條 知事官房及各部署課ノ報告擔任者ハ官報、縣報ニ登載スヘキ事項ヲ取調内務部第一課ニ其原稿ヲ送付スヘシ 但縣報發行日ノ前日ニ原稿ヲ送付スルハ午前十時迄トシ 期限後ノ送付ニ係ルモノハ次回ノ發行ニ讓ルモノトス (三十年丙第一三六) (號ヲ以テ但書改正)
- 第三條 郡役所町村役場等ヨリ官報、縣報ニ關シ報告スル事項ニシテ其縣報ニ掲載スル公文ハ總テ内務部第一課ニ於テ受理シ其他ノ事項ハ主務ノ部署課ニ於テ受理シ報告擔任者之ヲ調査シテ其原稿ヲ内務部第一課ニ送付スヘシ
- 第四條 内務部第一課ニ於テハ諸般ノ報告事項ヲ調査シ官報原稿ハ官報報告主任ニ於テ内閣官報局ニ報告ノ手續ヲナシ縣報原稿ハ庶務主任ニ於テ之ヲ蒐集シ印刷ニ付スルノ手續ヲ爲スヘシ
- 第五條 内務部第一課長ハ縣報登載ノ公文原稿ヲ除クノ外官報、縣報原稿ノ字句ヲ取捨改

竄スルコトヲ得ルト雖モ爲メニ其趣旨ヲ變更スルコトヲ得ス

內務部第一課長ハ縣報彙報ノ原稿ニシテ一般ニ要用ナラスト認ムルモノハ內務部長ノ檢閱ヲ經テ之ヲ取捨スルコトヲ得(二十六年訓令第五二七號ヲ以テ本項追加)

第六條 內務部第一課長ハ縣報原稿ノ數多クシテ一時ニ掲載スルコト能ハサルトキハ其緩急ヲ量リ次回ニ譲リ又ハ數回ニ分載スルコトヲ得

第七條 縣報ノ發行定日ハ火曜日金曜日トス若シ緊急事件アリテ發行定日ヲ俟ツ能ハサルトキハ各部署課ノ報告擔任者ハ該原稿ニ其事由書ヲ添ヘテ內務部第一課ニ送付スヘシ內務部第一課ニ於テハ之ヲ調査シ內務部長ノ檢閱ヲ經テ號外ヲ發行スルコトヲ得

第八條 縣報ニ登載スヘキ事項ハ縣令、訓令、告示、告諭、郡役所公文、彙報、觀象、公告、廣告ノ九項トス

彙報ニハ縣廳事項其他觀象ニハ測候所ノ氣象觀測ニ係ルモノ公告ニハ法律命令ノ規定ニ依リ公告スルモノ廣告ニハ鑑札竝ニ官ノ記章アル物品ノ遺失、紛失物件ノ競争入札等ヲ記載スルモノトス(三十年丙第一三六號ヲ以テ本條改正)

第九條 官報、縣報ノ原稿用紙ハ甲乙丙ノ三種ニ分チ官報ヲ甲種トシ縣報ノ公文ヲ乙種トシ彙報以下ヲ丙種トス 但原稿ノ字體ハ正楷ヲ以テ記載スヘシ(三十年丙第一三六號ヲ以テ本條改正)

第十條 縣報ニ登載スヘキ公文ノ改正刪除廢止等ニ係ルモノハ參照トシテ其全文若クハ條項ヲ附記スヘシ

第十一條 官報、縣報報告事項ノ數位ニ屬スルモノハ金員ハ厘位ニ量數ハ合位ニ坪數ハ才位ニ段別ハ歩位ニ止メ一位ニ「」ヲ附スヘシ

第十二條 知事官房及各部署課ノ報告擔任者通シテ報告スヘキ事項左ノ如シ 但同指令等縣報ニ登載ヲ要スルモノハ豫メ裁決ヲ受クヘシ(三十年丙第一三六號ヲ以テ報告事項改正)

- 一 諸伺、請訓指令其他事務上參考トナルヘキ事項(縣報)
- 一 所轄及監督ニ屬スル官吏等召集ノ件(官報)
- 一 官印、官ノ記章アル物品及諸鑑札、免狀等ノ遺失、紛失、燒失、流失、盜難、發見等(官報、縣報)

- 一 縣令、訓令、告示ニシテ他ノ廳府縣ニ關係ヲ有スル事項(官報)
- 一 物件賣買、貸借競争入札等(縣報)

第十三條 知事官房及各部署課ノ報告擔任者ニ於テ報告スヘキ事項左ノ如シ(同上)

- 一 高等官勤務辭令及死亡、改氏名等(官報、縣報)
 - 二 判任官課、署長命免等ノ辭令及其死亡改氏名等(縣報)
 - 三 高等官上京、歸縣ノ月日及其事由(官報)
- 右ノ外官房ノ取扱ニ係ル緊要ノ事項
- 內務部第一課報告事項

- 一 縣會、縣參事會急施會開閉並ニ其決議ノ要略及認可不認可ノ項目(官報、縣報)
- 二 貴族院多額納稅者議員、衆議院議員、縣會議員ニ關スル事項(官報、縣報)
- 三 町村長、助役當選者認可及退職者氏名等(縣報)
- 四 町村長、助役死亡、改氏名等(縣報)
- 五 郡、町村制ニ係ル訴願裁決(縣報)
- 六 郡長委任條件(官報)
- 七 郡役所、町村役場水、火災ニ罹リ書類焼失、流失等(官報)
- 八 郡町村廢置分合及名稱變更等(官報)
- 九 郡役所、町村役場設置及位置變更等(官報)
- 十 町村役場移轉等(官報、縣報)
- 十一 備荒儲蓄金給貸人員及支出金額(官報、縣報)
- 十二 縣稅歲入出豫算比較(官報、縣報)
- 十三 縣稅、備荒儲蓄等精算(官報)
- 十四 郡町村歲入出豫算、決算(官報、縣報)
- 十五 町村並ニ町村立學校基本財產調(官報、縣報)
- 十六 褒章受領者氏名及其行爲ノ顛末(縣報)
- 十七 較著ナル行爲ニ因リ褒賞ヲ與ヘタル者ノ住所氏名及其行爲ノ顛末(官報、縣報)

十八 華族世襲財產公告(官報、縣報)
右ノ外第一課ノ取扱ニ係ル緊要ノ事項

內務部第二課報告事項

- 一 開鑿其他諸般ノ重要ナル新工事又ハ古來大土工ノ參考トナルヘキモノ(官報、縣報)
 - 二 河川堤防、道路、橋梁、溝渠等重要ナル修繕景況並ニ竣功等(官報、縣報)
 - 三 堤防道路橋梁破損等(官報、縣報)
 - 四 出水景況等(官報、縣報)
 - 五 工事請負等競争入札(縣報)
 - 六 地籍異動及鑛物ニ關スル事項(官報)
 - 七 收用土地細目(官報、縣報)
- 右ノ外第二課ノ取扱ニ係ル緊要ノ事項

內務部第三課報告事項

- 一 小學校教員候補者名籍登錄(縣報)
- 二 尋常師範學校生徒入學退學等(官報、縣報)
- 三 學事ニ關スル諸會景況(縣稅)
- 四 學事ニ關スル統計ノ緊要ナル事項(縣報)
- 五 諸隊行軍演習_{以下}(官報)

- 六 陸海軍生徒召募(縣報)
 - 七 徵發物件(官報、縣報)
 - 八 六週間陸軍現役兵(官報)
 - 九 戶口調查(官報、縣報)
- 右ノ外第三課ノ取扱ニ係ル緊要ノ事項
- 內務部第四課報告事項
- 一 會計ニ關スル緊要ノ事項(官報、縣報)
- 內務部第五課報告事項
- 一 穀菜、山林、果樹、桑樹、茶樹栽培法、蠶兒飼養法、蟲害驅除豫防法、家畜、家禽蕃息、保健、治疾法其他農產物及工業上ニ關スル質問答議(縣報)
 - 二 重要作物ノ景況(官報、縣報)
 - 三 種子交換及肥料等ノ得失(官報、縣報)
 - 四 農作物試驗場景況及栽培植物種類(官報)
 - 五 天產物、人造物成績及開墾等景況(官報)
 - 六 旱、水、風、雨、雹害其他作物ノ被害景況(官報、縣報)
 - 七 農工商會開閉及決議ノ要領項目等(官報)
 - 八 農事諸會ノ景況(官報)

- 九 老農實驗說其他農事ニ關スル古來慣習ノ參考トナルヘキモノ(官報、縣報)
 - 十 博覽會、共進會等ノ景況及出品概目、審査概況等(官報)
 - 十一 天然物、人造物產出高、收納金高及増減竝ニ原由(官報)
 - 十二 發明工夫ニ係ル事項(官報、縣報)
 - 十三 製作及製造場景況竝ニ盛衰原由(官報)
 - 十四 蠶飼、製茶及製藍傳習所景況(官報)
 - 十五 蠶絲、茶業、森林組合及同業組合ニ關スル事項(官報)
 - 十六 牛馬羊豚屠殺頭數(官報)
 - 十七 家畜流行病(縣報)
 - 十八 物價變動及原由(官報、縣報)
 - 十九 特有物產市價竝ニ賣捌地方等(官報)
 - 二十 金融景況(官報、縣報)
 - 二十一 水産ニ關スル事項(官報)
 - 二十二 氣象觀測(縣報)
 - 二十三 天變地異及氣候激變等(官報、縣報)
 - 二十四 度量衡檢定(官報、縣報)
- 右ノ外第五課ノ取扱ニ係ル緊要ノ事項

警察部第一課報告事項

- 一 警察署分署廢置分合及移轉等(官報)
 - 二 教習所巡查卒業(官報、縣報)
 - 三 警察賞與及恩給ヲ得タル者ノ數竝ニ其種別(官報)
 - 四 巡查召集(縣報)
 - 五 警部長巡閱景況(官報、縣報)
 - 六 巡查召集及非常召集等(官報)
- 右ノ外第一課ノ取扱ニ係ル緊要ノ事項

警察部第二課報告事項

- 一 賊難人事事故等(官報、縣報)
- 二 時變(風雨水害、山嶽鳴動崩壞、落雷等天變地異)、(官報、縣報)
- 三 火災(官報、縣報)
- 四 漂流物、漂著物等(官報、縣報)
- 五 銃砲及火藥類遺失、紛失、盜難、發見等(官報、縣報)
- 六 傳染病流行徵候、病勢緩急、劇易、病患屏息、豫防消毒法施行要領竝ニ虎列刺病患者住所氏名年齡及停船檢疫等(官報、縣報)
- 七 每一週間傳染病患者發起及新舊死亡數(官報、縣報)

八 地方病及中毒ニ係ル紀事(官報、縣報)

九 出產死亡人員年報(官報)

十 飲料水試驗成績(官報、縣報)

十一 清潔法施行成績(官報、縣報)

右ノ外第二課ノ取扱ニ係ル緊要ノ事項

監獄署第一課報告事項

- 一 在監人傳染病及流行病ニ關スル事項(官報、縣報)
 - 二 特赦、假出獄、假出場及賞表附與ニ關スル事項(官報、縣報)
 - 三 在監人員出入及罪質區分(官報、縣報)
 - 四 死刑執行(官報、縣報)
 - 五 看守募集(縣報)
- 右ノ外監獄上ニ關スル緊要ノ事項

第十四條 內務部第五課報告事項中第十六項ハ每三箇月同第二十項警察部第一課報告事項

中第三項同第二課報告事項中第一項監獄署第一課報告事項中第二項第三項ハ每半年內務部第一課報告事項中第十一項同第五課報告事項中第二十四項ハ每一年ニ之ヲ報告スヘシ

(三十年丙第一三六號ヲ以テ改正)

第十五條 警察部第二課報告事項第二項第六項中電報ヲ以テ主務省ニ報告スルモノハ同時

ニ之ヲ報告スヘシ(上同)

第十六條 警察部第二課報告事項中第三項ハ官廳舎公署舎公私立學校、病院社寺銀行會社又ハ人家十戸以上其他著名建物燒失シ若クハ人畜ニ死傷アリタルトキ之ヲ報告スヘシ

(上同)

○甲第五十五號 明治十九年五月十一日

勅令閣令省令自今官報ヲ以テ之ヲ示シ別ニ翻刻配布セス 右布達候事

○甲第五十六號 明治十九年五月十一日

本年^三本縣甲第五十五號布達候ニ付テハ官報ハ郡役所戸長役場ニ備置ク 右布達候事

○丙第十號 明治十八年七月七日

府縣一般ニ令スル官省達之儀ハ官報ニ依リ承認スヘキ筈ニ付向後ハ該達ニ起因シテ別ニ令スル所アルモノ、外ハ當廳ニ於テ更ニ達書發付不致候條爲心得此旨相達候事

○訓令第十號 明治二十一年二月三日

明治十九年^三本縣乙第四十一號達閣令省令承認方ノ儀ハ閣省訓令達等モ同様ノ儀ト心得ヘシ

(明治十九年^三三月十九日乙第四十一號達)

官報ニ掲載アル閣令省令ニ付其事務戸長役場ニ關涉スルモノハ其都度示達致シ來リ候處自今本廳ニ於テ別ニ指定スヘキモノ、外達書ヲ發セス候條官報ニ依リ承認スヘキ件

○訓令第五十四號

明治二十四年五月五日

町 郡 役 場

各府縣トモ左記ノ事件ハ自今官報附錄廳府縣公報ヘ掲載相成候條總テ該公報ニ據リ知領スヘシ 但第一項ノ事件ニシテ應答未完結ノモノアルトキハ本年^三訓令第二十二號ノ通取計フヘシ

一 郡市役所町村役場水火災ニ罹リ書類燒失又ハ流亡等ノ件

一 市町村ノ廢置分合並境界及名稱變更ノ件

一 郡市役所町村役場位置變更ノ件

右ノ外廳府縣令訓令告示ニシテ他府縣ニ關係ヲ有スル事項(二十五年訓令第三六九號ヲ以テ本項追加)

(明治二十四年^三三月十七日訓令第二十二號)

他府縣郡市役所町村役場水火災ニ罹リ書類燒失流亡等ノ節ハ其府縣ヨリノ照會ニ因リ同郡役所役場ニ對シ照會ノ件ニシテ未完結ノモノハ更ニ照會スヘキ旨其都度及訓令候處官報ニ登載シ照會ニ換ユル府縣ノ分ハ自今訓令ニ及ハス候條官報ニ依テ知領^三未完結ノ事件アルトキハ更ニ照會スヘキ件

○訓令第七十六號

明治二十四年七月二十四日

郡 役 所

縣令又ハ訓令等ヲ以テ縣廳ニ報告スヘキ旨令達セシ事項ニシテ郡長ニ於テ縣報ヲ以テ部内ニ告示スルモノハ左記ノ事項ニ限り自今縣廳ニ報告スルニ及ハス 但別ニ願ツ所ノモノハ其別紙ノミヲ縣廳ニ送達スヘシ 一 郡徵兵參事員選舉開會ノ場所

- 一存續會ノ開閉及豫算精算
- 一小學校生徒大試験ノ成績
- 一所得税法第十條第一項但書ノ町村名
- 一所得稅調查委員ノ當選
- 一所得稅調查委員ノ開閉

○達第三十一號 明治二十一年十二月十八日

郡 役 所

本年六月本縣達二十四號部内ノ景況報告方ハ自今毎年一期トシ翌年一月三十一日限り報告スヘシ

(明治二十一年六月達第二十四號)

部内ノ景況毎年二期 上半期一月ヨリ六月迄ニ分チ詳細取調へ上半期ハ七月十日下半期ハ翌年一月十日限り報告スヘシ

第二款 上申文書

○甲第二十九號 明治十二年三月二十二日

人民ノ願伺書等郡長管掌ノ條件ニ係ル者ハ郡長名宛ヲ用キ其他縣廳ノ處分ニ係ル願伺書等ハ官長名宛ニ相認メ必ス郡役所ヲ經由可差出此旨布達候事

○告示第四十七號 明治二十二年六月二十九日

人民ヨリ當廳へ差出ス諸願書ハ總テ副本ヲ差出スニ及ハス右ニ對スル指令ハ別紙ヲ以テス
○縣令甲第四十七號 明治二十五年六月二十一日

明治二十二年七月 縣令甲第四十八號諸願書等經由區別左ノ通改正ス 但別ニ規定アルモノハ其規定ニ依ルヘシ

町村役場及郡役所經由ノ分

- 一官有地拂下及下附借地ニ關スル事
- 一官有地生産物拂下ニ關スル事
- 一官民有地地種變換ニ關スル事
- 一獸醫及蹄鐵工試験並假免狀ニ關スル事
- 一陸運營業ニ關スル事
- 一河川堤防溝渠道路橋梁ニ關スル事
- 一渡船ニ關スル事
- 一學事諸會ニ關スル事
- 一私立學校及幼稚園圖書館ニ關スル事
- 一私立學校教員及幼稚園保姆進退異動ニ關スル事
- 一小學校教員檢定及免許狀ニ關スル事
- 一小學校教員候補者住所異動ニ關スル事
- 一私立小學校設立者資格ニ關スル事
- 一私立病院設立ニ關スル事

- 一 醫師代診者及出張所設置ニ關スル事
- 一 藥湯營業ニ關スル事
- 一 戶籍ニ關スル事
- 一 社寺境内伐木及建物ニ關スル事
- 一 社寺移轉及廢合ニ關スル事
- 一 社寺財産増減ニ關スル事
- 一 縣社以下神官進退ニ關スル事
- 一 教會講社教務所及說教所ニ關スル事
- 一 貸下金返納年賦及月賦返換並置据ニ關スル事
- 一 獵區設定ニ關スル事(二十五年縣令甲第七六號ヲ以テ追加)
- 一 度量衡ニ關スル事(廿六年縣令甲第一號ヲ以テ追加)
- 但度量衡檢定願ヲ除ク
- 郡役所經由ノ分
- 一 雇外國人居留地外居住ニ關スル事
- 一 農工產物共進會品評會及農談會等開設並景況ニ關スル事
- 一 茶業藍業稻作講話並傳習ニ關スル事
- 一 勸業會ニ關スル事

- 一 農工商業景況ニ關スル事
 - 一 森林蠶絲業茶業漁業及同業組合ニ關スル事
 - 一 獸醫及蹄鐵工本免狀ニ關スル事
 - 一 種牛馬検査ニ關スル事
 - 一 銀行、株式會社及取引所ニ關スル事(二十七年縣令第一五號ヲ以テ改正)
 - 但取引所税金ニ關スルモノヲ除ク
 - 一 獻納地及上地ニ關スル事
 - 一 官有地所建物拂下及無代下渡登記ニ關スル事
 - 一 電信柱敷地手當金ニ關スル事
 - 一 尋常師範學校尋常中學校及高等女學校教員檢定ニ關スル事
 - 一 教科用圖書檢定ニ關スル事
 - 一 醫師藥舖及產婆開業免狀ニ關スル事
 - 一 海軍兵學校生徒軍樂生徒及屯田兵志願ニ關スル事
 - 一 軍人恩給扶助料ニ關スル事
- 乙第三十九號 明治十五年六月一日
- 戶郡長役場所
- 人民ヨリ諸官廳へ進達スル願伺書へ奧書加印ヲ乞フノ場合ニ際シ戶長ノ意見ヲ以テ差拒ミ其願伺ヲ壅蔽スル等ノ儀ハ有之間敷候得共若シ其書面ニ意見有之時ハ奧書加印ノ上之ニ別

啓ヲ附シ進達候様可致此旨相達候事

○訓令第七十七號 明治二十二年六月二十九日

郡 役 所

町村役場ノ諸申牒又ハ人民ノ諸願届等ノ郡役所ヲ經由シテ本縣廳ニ差出ス文書ニハ添書ヲ要セス便宜記印シテ進達スルコトヲ得其異例若クハ異見アル事項ハ添書ヲ以テ申出ツヘシ

○無號 明治十四年九月二十七日

郡 役 所

上申書類ニ若シ文字ヲ挿入シ又ハ削除スルコトアルトキハ其廉々ニ認印ノ上差出ヘキ筈之處往々其手續ヲナサ、ルモノ有之右ハ書類ノ後證ニ供スヘキモノナルハ申迄モ無之義ニ付必右手續ヲナシ可差出且字面ニ不得止貼箋ヲ施シ原文ヲ變更スル時ハ其箋端ニ契印ノ上差出候様可致此旨爲念相達候事

○乙第十一號 明治十六年一月二十五日

郡 長 役 場

郡長ヨリ縣令ニ戸長ヨリ郡長ニ差出タル諸願伺書指令淹滞等ノコトアルトキハ郡長ハ縣令ニ戸長ハ郡長ニ宛親展書ヲ以テ督促スヘシ此旨相達候事

第六類 褒賞濟恤及統計

第一款 褒 賞

○乙第九十號 明治十五年十二月七日

郡 長 役 場

褒章下賜之義ニ付具申書ヘ記載スヘキ要領其筋ヨリ照會ノ次第モ有之候條左之項目ニ據リ申出ヘク尤モ褒狀ヲ與フヘキ見込ノ者ハ本例ニ倣ヒ節略具申スヘシ此旨相達候事

褒賞請求ノ申牒ヘ具狀スヘキ要件

- 一 住所族籍
- 一 官位勳等
- 一 姓名年齢
- 一 受賞受刑之有無 賞罰トモ其全文ヲ記スヘシ
- 一 戸長等之具狀書
- 一 褒章ヲ賜ルヘキ要旨ノ内
- 人命救助者
 - 一 最モ危難ト見認ムヘキ實況
 - 一 數人ニテ救助セシ場合ニ於テハ其内最モ率先盡力ノ者ヨリ甲乙ノ區別
 - 一 水難者ヲ救助スルモノハ游泳シテ其所ニ到リシヤ又ハ船筏或ハ助綱等ヲ以テセシ

ヤノ區別

一 水難者ト救助ノ船又ハ陸トノ距離及ヒ河海ノ淺深廣狹水勢ノ緩急等
德行着

一 履歷

一 平素ノ行狀

一 其志行最モ卓絶ト見認ル件

一 其志操ヲ不變ノ年數

公益ヲ興セシ者

一 平素ノ志行一事業經營ノ始末及ヒ將來維持ノ方法及ヒ費金ノ額 該金ハ本人ヨリ支出セシヤ又ハ其舉容ヲ賛成

シ他ヨリ寄贈ニ係ル等ノ譯
一 學校病院等ヲ設立セシモノハ其構造並建坪其他教師生徒及ヒ醫員患者等ノ員數

一 疏河築堤修路ニ係ルモノハ工事ノ模様著手及ヒ竣工ノ年月施工前後實地ノ景況又

ハ川幅堤等ノ里程間數詳細繪圖面ヲ要ス

右ノ外ト雖モ緊要ノ件ハ記載ヲ要ス

○丁第十九號 明治十六年一月二十五日

從前奇特者賞與具狀ニ數名之事實聯書相成候分モ有之候處右ハ奇特之厚薄ニ依リ上申之都

合モ有之取調上差支候條自今各名各紙ヲ以具申可致此旨相達候事

○丁第二百七十九號 明治十六年十二月二十六日

明治十四年第六十三號並本年第一號公布ニ據リ褒賞方申牒之儀ニ付其筋ヨリ照會之趣モ有

之候條自今孝心貞節其他篤行等ニテ其筋へ具申可相成程ノ卓絶希有ノ者及寄附金五百圓以

上ニ係ル具狀ハ附屬書類ヲ併セ正副四通可差出此旨相達候事

○乙第七十二號 明治十年十二月十八日

學校病院其他道路橋梁濟貧恤窮等之費途へ金員物品差出候節願書面區々ニテ調査上差問不

尠候條自今別紙書式ニ照準差出候様可取計此旨相達候事

(學校其他へ出費願書式)

(何々へ物品)差出願

埼玉縣第何區國郡村番地族籍

一 村町或ハ社ナレハ(番地族籍ヲ除ク)

他縣ノ者本縣寄留ナレハ

何縣何區國郡村族籍

(何縣何區國郡村番地寄留)

官職アル者ハ

一 村町協同

(何村)

一 同

一金員 何程

(一 何品何程)
此代價何程)

第六類 褒賞濟恤及統計 第一款 褒賞

總計	寄附物品箇數及田畑坪數	價格	學校病院道路橋梁墾田等所在地名	費途ノ目的	指令年月日 納濟年月日 町村會議決年月日	本籍住所(官位)	族籍 姓	名
							華士族(平民)	某
							何町村大字	某
							何	某

右之通相違無之候條此段及御届候也

年月日

何郡長姓名殿

何郡何町村長

何

誰印

凡例

- 一 寄附物件金員等町村費ニ屬スルモノハ其町村會ノ議決ノ年月日ヲ記入スヘシ
- 一 寄留者ハ其原籍ノ府縣郡町村名及大字ヲ本籍住所ノ欄ニ併記スヘシ
- 一 勞力ヲ寄附セシ者ハ其延人員ヲ寄附物品ノ欄ニ記入シ賃銀ハ合算シテ價格ノ欄ニ記入スヘシ

- 一 學校病院土木費等へ金圓ヲ寄附セシモノハ其費途ノ目的ヲ明記スヘシ
- 一 道路橋梁ハ何號國道又ハ何々間道路ト甲式ハ第二欄へ乙式ハ第三欄へ記入スヘシ

○埼玉縣訓令第十號

明治二十七年二月二日

郡役場

褒章又ハ金銀木杯金圓褒狀等ノ下賜ヲ稟申スルトキハ高等官及高等官待遇ノ者竝ニ從六位以上及勳六等以上ノ者竝ニ華族ノ戸主其祖父母父母妻嫡長子孫及嫡長子孫ノ妻竝ニ外國人ニ係ル分ハ其他ノ者ト各別ニ稟申スヘク且稟申後授與以前ニ於テ輕罪以上ノ罪ヲ犯シ又ハ死亡シタルトキハ速ニ其事由ヲ具申スヘシ

○埼玉縣訓令第二百一十一號

明治二十九年二月十八日

郡役所

官幣社ニ於テ從前ノ官營個所ニ對スル營繕費ノ寄附ヲ受領シタルトキハ明治十六年五月乙第四十五號達及同二十七年二月埼玉縣訓令第十號ニ準シ寄附者所在ノ郡役所ニ其他府縣在住者ニ在テハ神社所在ノ郡役所ニ報告スヘシ
 郡長ハ前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ調査ノ上褒賞方具申スヘシ

第二款 濟恤

○乙第二十四號

明治十年五月二十二日

區長

棄兒養育致シ候寄留人エ養育米渡方之儀自今寄留中ハ其寄留之管轄廳ヨリ可下渡旨內務省ヨリ達シ有之候條得其意自今棄兒養育致シ候者他ノ管下へ寄留シ又ハ他ノ管下ヨリ寄留候節ハ其時々無遺漏可届出此旨相達候事 但即今他管下ニ寄留シ又ハ他ノ管下ヨリ寄留ノ者

有之候ハ、取調早々可届出候事

○丁第百二十三號 明治二十五年七月二十五日

棄兒養育方官給米ノミニテハ行届カサル旨ヲ以テ補給之義申出ル者アルトキハ其取計方左ノ條項ノ通可相心得此旨相達候事

第一項 棄兒拾主赤貧ニシテ官給米及ヒ其町村協議費等ノ補助ヲ請ルモ尙養育ニ困ムヲ以テ之カ補給ヲ請フ者アルトキハ其實況ヲ審査シ全ク其養育ヲナシ得サル者ト認ルトキハ其事情ヲ詳細具狀ス可シ

第二項 補給金支給裁可ノ後ハ其月分翌月五日限「郡役所豫備金ヲ以テ繰替支給シ置キ毎月十五日限」棄兒養育官給米代請求書ニ準シテ請求ス可シ

第三項 棄兒拾上ケ又ハ死没セシトキハ月額ニ其日數ヲ乘シ其月ノ全日數ヲ以テ之ヲ除シ四捨五入ノ法ヲ以テ支給スヘシ

第四項 養育主事故アリテ其棄兒ヲ他ニ轉スルトキハ第一項ニ依ルヘシト雖モ養子女トナシタルトキハ其許可ノ翌日ヨリ之ヲ支給セサルヘシ其計算法ハ前項ニ同シ

○丙第九號 明治十六年六月七日 郡 役 所
棄兒増減届ノ儀ニ付今般内務省乙第二十三號達ニ付テハ以往右書式ニ照準シ一郡毎ニ調製毎年半年分ハ七月後半年分ハ翌年一月限り可差出此旨相達候事

○訓令第百二十三號 明治二十一年二月十八日(二十二年訓令第二二號ヲ以テ神職云々ヲ削除ス) 郡 役 所

本年^十内務省訓令第二十號表式中棄兒並養育費ハ一月十五日限り調製シ常應エ差出スヘシ

○乙第三十二號 明治十六年三月二十九日 郡 役 所
客年第五十號公布ヲ以テ脱籍無産ノ輩遞送及ヒ行旅病人取扱規則等被相廢候處途中天災又ハ病氣ニ罹リ一時警察署ニ於テ保護ヲ加ヘタル者ノ内重症又ハ饑餓ニ類スルモノニ限り各警察署ヨリ戸長役場ヘ引渡候節ハ救護方可取計且戸長役場ヘ救護ヲ請フモノモ同様可相心得此旨相達候事

但本條ニ屬スル經費ノ義ハ本人身元ヨリ辨償セシムヘシト雖モ生國不詳又ハ無籍ニシテ生家退轉セシモノ、辨償方ハ郡役所ヲ經テ其時々詳細申出ヘシ

○乙第七十四號 明治十九年五月二十八日 郡 役 所
行旅死亡人及行旅病人取扱手續左之通相定候條此旨相達候事

行旅死亡人及行旅病人取扱手續
第一條 引取人ナキ行旅死亡人及行旅病人重症饑餓ニ迫ル者アルトキハ條下ノ費表ノ金額以內ヲ以テ取扱ヒ其費用ハ一時町村費ヲ以テ繰替フヘシ 但傳染病豫防規則ニ依ルヘキ者ハ此手續以外トス

第二條 行旅死亡人本籍詳ナラサル者ハ新聞紙ヘ廣告ト同時ニ縣報ヘ廣告ノ案文ヲ差出スヘシ

第三條 行旅死亡人本籍氏名詳ナル者ハ死亡ノ顛末ヲ詳記シ第二號第三號第四號第六號ノ

書類ヲ添へ其本籍區戸長へ費用ノ償還ヲ照會スヘシ

第四條 行旅死亡人本籍詳ナラサルトキハ第三號第四號第六號其他取扱顛末書ヲ添へ第七號書式ニ依リ公告滿期後十日以内ニ該費受取方申出ヘシ

第五條 本籍詳ナラサル死亡人ノ餘贏金ヲ保管スル場合ニ於テハ第二條ノ屆書ニ計算書ヲ添フヘシ

第六條 行旅病人ハ重症饑餓ニ迫リ他ニ救助スル者ナク目下捨置カタキモノニ限ル所在地戸長ニ於テ救護ヲ加へ其住所氏名等ヲ聞糺シ第二號第五號書ヲ添へ二日以内ニ本籍戸長へ引取方ヲ照會スヘシ

第七條 同上救護ノ費用本人辨償シ能ハサルトキハ第三號第六號書ヲ添へ本籍戸長へ償却方ヲ照會スヘシ

本籍詳ナラサル者ハ第三號第六號其他取扱顛末書類ヲ添へ該費受取方ヲ申出ヘシ
第八條 本籍町村ノ者行旅中死亡若クハ重症饑餓ニ迫リ其地區戸長ニ於テ假埋葬又ハ救護ヲナシ該費用償還ノ照會ヲ受ケタルトキハ其家赤貧ニシテ償還シ能ハサルモノハ其戸主若クハ親族ヨリ願書財産ノ有無及戸籍等ヲ記載ス差出サセ戸長ハ之ニ該家赤貧ノ證明書ト該費仕譯書及照會書寫ヲ添へ第八號書式ニ依リ申請スヘシ

一 藥價 一日 金六錢

一 賄料	一日	諸雜費共	金拾錢
一 看護人	一人	一日晝夜共	金貳拾錢
一 醫師診察料	一度		金貳拾錢
一 小屋	一所		金五拾錢
一 小屋掛人夫	一人		金貳拾錢
一 屍體番人	一人		金貳拾錢
一 埋葬人夫	三人	一人	金貳拾錢
一 埋葬器具	一式		金五拾錢
一 揭示札	一枚		金四錢
一 廣告料	二度		金何程

第一號

相貌書

一 丈	一 頭髮	一 顏	一 眼
一 眉	一 鼻	一 口	一 齒

本籍不詳男(女) 姓名 不詳 年齡何年位

一痘痕 一別徵 一衣服 一帶
外携帶品何々
其他物色スルニ足ルヘキモノハ皆記スヘシ

年月日

何郡何町村戸長
姓名印

第二號

何府縣何國何郡區何町村族籍

職業

何某幾男(女)

何ノ誰

但寄留所アレハ其寄留地ノ府
縣國郡區町村番地併記スヘシ

- 一 生年月又ハ年齡
- 一 改姓名セシコトアレハ舊姓名
- 一 養子女或ハ他ノ附籍等ナレハ其實家ノ國郡區町村番地姓名並戸主トノ續柄
- 一 生國發途ノ原由及年月並行先
- 一 祖父母父母兄弟姉妹等アレハ同居別居ヲ區別シ其國郡區町村番地姓名等
- 但親戚又ハ隣保ト雖モ原籍取調ニ必要ト認ムルモノハ皆記スヘシ

年月日

何郡何町村區戸長
姓名印

第三號

何府縣何國何郡區何町村(又ハ本籍不詳)何某行旅中病死倒死變死假埋葬(又ハ重症饑餓ニ
迫リ救護)諸費明細書

一金

內譯

- 金 何藥何程但何月何日ヨリ何月何日マテ何日分一日何程
- 金 何月何日ヨリ何月何日マテ何晝夜賄料但一晝夜金何程
- 金 何月何日ヨリ何月何日マテ何日間看護賃但一日金何程
- 金 醫師診察料何度但一度金何程
- 金 小屋一所
- 金 小屋掛人夫一人
- 金 屍體番人何人但一人一日金何程
- 金 埋葬人夫三人但一人金何程
- 金 埋葬器具一式
- 金 揭示札一枚

廣告料二度但一度金何程

十四

右之通相違無之候也

年月日

何縣何町村戸長

姓名印

第四號

行旅^{病死}死^{變死}何府縣何郡區何町村(又ハ本籍不詳)何某遺物取調書

一金何程 遺金

一金何程 何々公賣(又ハ競賣)代金

一、、、、、、、、、、、、

一、、、、、、、、、、、、

計金何程

右之通遺金並公賣(又ハ競賣)代金相違無之候也

何郡何町村戸長

姓名印

年月日

第五號

診斷書

何府縣何國何郡區何町村族籍(又ハ本籍不詳)

何ノ誰

一病名

一原因

一症候

一治法

一豫後

右年月日何所ニ於テ遂診斷候處相違無之候也

何郡何町村

醫師 姓名印

年月日

何郡何町村戸長

姓名宛

第六號

請取證

一金

內譯

金 何々

第六類 褒賞濟恤及統計 第二款 濟恤

十五

金 金

右ハ何府縣何國何郡區何町村何某(又ハ本籍不詳行旅人)假埋葬費或ハ藥價賄料何々料總實費仕拂云御拂被下正ニ受取候也

年月日

何郡何町村

何ノ誰印

何郡何町村戸長

姓名宛

第七號

本籍不詳死亡人假埋葬費用請求書

本籍不詳

何

ノ誰若クハ姓名不詳生年月(又何年位)

一金

內金

地方稅ヨリ御下渡相成度分本人遺金又ハ遺物公賣代金ヲ以テ差繼クヘキ分

右ハ年月日當町村何字ニ於テ病死倒死變死致候ニ付何月何日及御届置候處公告期限ヲ過クルモ尙本籍不相分ニ付假埋葬等ニ屬スル費用地方稅ヨリ御下渡有之度別紙關係書類相添此段

上申候也

何郡何町村戸長

姓名印

年月日

縣令宛

第八號

行旅死亡人假埋葬(又ハ行旅中重症饑餓ニ迫ル者救護)費用請求書

一金

內金

地方稅ヨリ御下渡相成度分本人遺金又ハ遺物公賣代金ヲ差繼クヘキ分

右ハ當町村何某又ハ幾男女何某儀旅行中年月日何府縣何國何郡區何町村ニ於テ病死倒死變死致候ニ付假埋葬(又ハ重症饑餓ニ迫リ救護ヲ受ケシ)費用前書之通該町村戸長ヨリ通知越候處別紙何某願書並證明書ノ通赤貧ニシテ辨償シ能ハサルモノニ付地方稅ヲ以テ御下渡相成度此段及上申候也

何郡何町村戸長

姓名印

年月日

縣令宛

○乙第十八號

明治十七年二月七日

郡長役場所

旅行死亡人取扱規則第二條ノ費用中吊祭料回向料等ハ包含セサル儀ト心得ヘシ此旨相達候事

○乙第百三號

明治十九年七月十六日

郡長役場所

管下人民行旅中死亡シ又ハ重病ニ罹リタル際其携帯セル幼年者等彼地戸長ノ救護ヲ受ケシ者獨身又ハ家族アルモ老幼等ニテ他ニ養育スヘキモノナク家元赤貧難引取親戚等ニ於テモ扶助スルモノナクシテ明治七年第百六十二號公達恤救規則ニ該當スヘキモノハ引取ヲ要セス身元取調書及ヒ戸籍寫等相添事情詳細ヲ盡シ救護地戸長へ通報スヘシ又他管下人民ヲ救護シタル場合ニ於テ本籍戸長ヨリ同様ノ通報アリタルトキ規則該當ノ者ト認ムル上ハ關係書類相添救護初日ニ溯リ救助方當廳ニ申請スヘシ此旨相達候事

○埼玉縣訓令第八十六號

明治二十八年十月十八日

郡村役場所

明治十九年五月乙第七十四號達行旅死亡人及行旅病人取扱手續第八條ニ依リ費用給與申請ノ際ハ本年九月埼玉縣訓令第八十二號ニ準シ調書ヲ添付スヘシ

(明治二十八年九月二十日埼玉縣訓令第八十二號)

傳染病赤貧患者費用給與稟請ノ際ハ本人ノ財産調及他ニ補助チナスヘキ親族故舊等無之事實ヲ詳記シ稟請書ニ添付ノ件

第三款 統計

○乙第百十七號

明治十六年十月九日

郡長役場所

統計ノ儀ハ諸般事物ノ結果ヲ證明スル重要ノ事件ナルニ因リ材料ノ計査正確ナラサル可ラサルハ勿論ニ候處正確事實ヲ得ルハ專ラ材料蒐集ノ際注意ノ周到ナルト否トニ關スル儀ニ候條一層慎重ニ取扱候様致スヘシ此旨相達候事

○訓第四十六號

明治二十年三月八日

郡役所

明治十八年以降統計材料別紙様式ニ依リ調整翌年七月限差出スヘシ(様式略ス)右訓令ス(二十一年訓令第一號ヲ以テ別冊様式改正二十二年訓令第九號ヲ以テ様式中削除式追加二十一年訓令第二三號及二十七年訓令第六八號ヲ以テ様式中削除)

第七類 土木

第一款 水利土功

○達第二十二號 明治二十一年六月二日

戸郡 長 役 場 所

土功取扱順序左ノ通定ム

但明治十六年^{九月}乙第百七號同十九年^{三月}乙第三十六號同年^{七月}乙第百六號達同年^{十月}訓第五十九號同二十年^{二月}訓第三十四號訓令及本文ノ順序ニ牴觸スル令達ハ總テ廢止ス

土功取扱順序

- 第一條 土功ノ數町村ニ係ルモノハ其組合一町村ニ係ルモノハ其町村ノ負擔トス組合ハ關涉區域ノ町村トシ土功ノ名稱ヲ以テ組合ノ名稱トスヘシ 但區域ノ指定ナキモノハ要用アルニ方リ町村會取扱順序ニ定ムル手續ニ依リ郡長又ハ戶長ニ於テ申請スヘシ
- 第二條 土功ヲ分テ道路治水トシ道路ニ屬スルモノヲ路線、橋梁、暗渠、隧道、濕拔、里程標、並木ノ七項トシ治水ニ屬スルモノヲ堤塘、畑圍、川除、護岸、河身、水制、浚渫、水量、溝渠、堰埭、樋管、溜池ノ十二項トス
- 第三條 道路ニ屬スル土功ハ專ラ運輸交通ヲ目的トシ治水ニ屬スル土功ハ各其目的ニ從ヒ之ヲ經營シ毎歲定式ノ修繕ヲ加フヘシ
- 第四條 道路ノ運輸交通ニ不便ナルモノ治水ノ其目的ニ適ハサルモノハ漸次之ヲ改良シ或

ハ之ヲ新設スヘシ

第五條 道路ノ幅員國道縣道ニアリテハ成規ノ如シ里道ニアリテハ壹間半以上トス橋梁ノ幅員國道縣道ニアリテハ內務省訓令ノ如シ里道ニアリテハ壹間以上トス其間數ニ滿サルモノハ漸次之ヲ改築スヘシ

第六條 土功ノ經費ハ地方稅支辨ト地方稅補助ト町村費支辨トノ三種ニ區別スヘシ

第七條 土功ノ經費地方稅支辨及補助ニ係ル事項ハ毎年縣會ノ決議ヲ經テ之ヲ支辨シ其他ハ町村費ヲ以テ支辨スヘシ

第八條 公益ノ爲メ土功ノ新設改良ヲ要スルモノハ其經費ノ地方稅補助ト町村費支辨トヲ問ハス特ニ地方稅ノ支辨ヲ以テ其施設ヲナスコトアルヘシ

第九條 土功ノ經費地方稅支辨ノモノハ縣廳ニ於テ之ヲ施行シ或ハ郡長ヲシテ特ニ之ヲ施行セシム地方稅補助及町村費支辨ノモノハ其管理者タル郡長若クハ戶長ニ於テ之ヲ施行スヘシ

第十條 土功ノ郡長施行ニ係ルモノハ縣廳ニ於テ之ヲ指揮監督シ戶長施行ニ係ルモノハ縣廳及郡長ニ於テ之ヲ指揮監督スヘシ

第十一條 地方稅ノ支辨ヲ以テ翌年度ニ施行ヲ要セントスル土功ノ箇所ハ管理者ニ於テ調査シ毎年六月十五日限り當廳ニ具申スヘシ

第十二條 地方稅支辨ノ土功ハ當廳ニ於テ其緩急ヲ量リ掛官ヲ派遣シ管理者又ハ地元町村

ノ戶長ヲ立會セ實地ニ就キ目論見ヲ爲シ仕様帳ヲ調製スヘシ

第十三條 地方稅支辨ノ土功ハ起工ニ先チ當廳ヨリ管理者ニ告知スヘシ其管理者戶長ナルトキハ所轄郡長ニ告知シ郡長ヲシテ之ヲ告知セシムヘシ

第十四條 地方稅補助及町村費支辨ノ土功ハ毎年管理者ニ於テ其緩急ヲ量リ實地ニ就キ目論見ヲ爲シ仕様帳ヲ調製スヘシ

第十五條 地方稅ノ補助ヲ以テ翌年度ニ施行ヲ要セントスル土功ハ管理者ニ於テ仕様帳ニ經費ノ支出收入豫算書ヲ添へ起工及竣功ノ期日ヲ豫定シ毎年六月十五日限り當廳ニ具申シ指揮ヲ請クヘシ但起工ニ際シ變更ヲ要スルトキハ更ニ具申シテ許可ヲ請クヘシ

第十六條 地方稅補助ノ土功ハ當廳ヨリ掛官ヲ派遣シ仕様ノ當否ヲ検査セシム若シ掛官ニ於テ意見アルトキハ管理者ニ面議商量セシム其意見ノ一致ニ歸シタルモノハ直ニ朱字ヲ以テ仕様帳ヲ訂正シ共ニ認印ヲナスヘシ

第十七條 地方稅ノ支辨ヲ以テ施設セシ土功ト雖モ保護ニ屬スル路線ノ小破繕ヒ凸凹直シ掃除堤塘ノ小破繕ヒ芝植繼刈拂等ノ如キモノハ町村費ヲ以テ時々之ヲ施行シ大破ニ至ラサルコトヲ勉ムヘシ

第十八條 町村費支辨ノ土功ニシテ新設改良又ハ天災時變ノ爲メ巨額ノ工費ヲ要シ町村ノ負擔ニ堪へ難キモノアリテ特ニ地方稅ノ補助ヲ請フトキハ管理者ニ於テ仕様帳ニ繪圖面及經費ノ支出收入豫算書其他町村ノ反別地價戶數ノ調書ヲ添へ第十五條ノ例ニ依リ當廳

ニ具申スヘシ 但天災時變ニ係ル事項ニシテ豫知シ難キモノハ臨時之ヲ具申スルコトヲ得ヘシ

第十九條 地方稅支辨及補助ノ土功ニシテ町村ノ便宜ニ依リ其支辨ノ外町村費ヲ以テ特ニ工事ヲ施設セントスルトキハ管理者ニ於テ仕様帳ニ經費ノ支出收入豫算書ヲ添ヘ當廳ニ具申シテ許可ヲ請クヘシ

第二十條 地方稅補助及町村費支辨ノ土功ヲ創設シ或ハ之ヲ廢毀シ或ハ之ヲ變更セントスルトキハ管理者ニ於テ仕様帳ニ繪圖面及經費ノ支出收入豫算書其他必要ト認ムル書類ヲ添ヘ當廳ニ具申シテ許可ヲ請クヘシ

第二十一條 地方稅支辨ノ土功ハ當廳ニ於テ實地ニ掛官ヲ派遣シ之ヲ掌理セシム管理者又ハ地元町村ノ戸長ハ掛官ノ需アル場合ニ於テハ其幫助ヲナスヘシ

第二十二條 地方稅支辨ノ土功ニ關シ管理者又ハ所轄郡長又ハ町村ノ戸長ニ於テ利害ノ意見アルトキハ掛官ニ面議商量シ或ハ當廳ニ具申スルコトヲ得ヘシ

第二十三條 地方稅支辨ノ土功ハ直仕立ヲ要スルモノ、外入札ニ依リ請負ヲ命シ或ハ關係町村人民ノ出願ニ依リ特ニ請負ヲ命ス其請負ノ方法ハ別ニ之ヲ定ムヘシ

第二十四條 町村費支辨ノ土功ニシテ元形ノ如ク改造シ或ハ定式ノ修繕ヲナス等ノ如キモノハ管理者ニ於テ深ク自他ノ利害ニ注意シ仕様帳ノ如ク施行スヘシ

第二十五條 地方稅補助及町村費支辨ノ土功ハ直仕立ヲ要スルモノ、外總テ地方稅支辨ノ

土功ニ準シ管理者ニ於テ請負ノ方法ヲ設ケ之ヲ施行スヘシ

第二十六條 地方稅補助ノ土功ヲ直仕立ニスルトキハ其事由又之ヲ請負セタルトキハ請負人ノ姓名ヲ管理者ニ於テ當廳ニ報告スヘシ 但著手及竣功ノ期日ヲ附記スヘシ

第二十七條 地方稅補助及町村費支辨ノ土功ハ監督ノ爲メ當廳ヨリ時々掛官ヲ派遣セシム若シ掛官ニ於テ意見アルトキハ直ニ管理者ニ面議商量セシムヘシ

第二十八條 監督上掛官ノ必要ト思惟スル帳簿書類及工事物件ハ如何ナル場合ト雖モ便宜之ヲ點檢シ其調書ヲ要求又ハ管理者ノ辨明書若クハ證明書ヲ要求スルコトヲ得ヘシ

第二十九條 監督上掛官ノ要求スル事項ハ管理者ニ於テ之ヲ拒絕スルコトヲ得ス若シ要求ノ事項ニシテ意見アルモノハ其要求ニ應シテ後事由ヲ縣廳ニ具申スヘシ

第三十條 工所用ノ木石等點檢ノ際ハ成ルヘク見易キ種類毎ニ駢列シ砂利ハ適宜ノ場所ニ分配シ總テ其數量ヲ記シタル目印ヲ付スヘシ

第三十一條 戸長ノ管理ニ係ル町村費支辨ノ土功ニ關シ郡長ニ於テ監督上報告ヲ要スル事項ハ適宜其手續ヲ定メ戸長ニ示達シタル後當廳ニ報告スヘシ

第三十二條 土功ノ仕様及工事ニ使役スル職工人夫ノ就役時間ハ之ヲ明記シ工場ニ揭示スヘシ其工事ノ直仕立ニ係ルモノハ管理者ニ於テシ請負ニ係ルモノハ其請負人ニ命スヘシ

第三十三條 地方稅補助ノ土功ハ竣功ノ上管理者ニ於テ出來形帳ニ通ニ經費精算書ヲ添ヘ當廳ニ差出シ實地ノ檢査ヲ請クヘシ當廳ニ於テハ檢査ヲ遂ケ不都合ナシト認メタルトキ

ハ其一通ニ認可證ヲ附シテ下戻スヘシ 但竣功ノ後直ニ之ヲ検査シ或ハ管理者ニ於テ検査ヲ請求スルコトヲ得ヘシ

第三十四條 地方稅補助及町村費支辨ノ土功ニシテ技術工藝ヲ要スル設計又ハ施設方ヲ當廳ニ囑托セントスルトキハ管理者ニ於テ當廳ヨリ派遣スヘキ掛官ノ旅費支辨法ヲ設ケ事由ヲ具申シテ許可ヲ請クヘシ 但此場合ニ於テモ管理者ハ其土功ニ關スル一切ノ責ニ任スヘシ

第三十五條 土功組合ノ町村ニ於テ從來ノ慣行ニ依リ水利取締人ノ如キモノヲ設置セントスルトキハ其便宜ニ任スコトヲ得ヘシ 但設置ニ係ル手續ハ別ニ之ヲ定ムヘシ

第三十六條 道路中國道縣道ノ築造保存方法ハ內務省訓令ニ從フハ勿論ナリト雖モ里道ニシテ運輸交通ノ頻繁ナルモノハ右ニ準シテ經營スヘシ

第三十七條 道路ノ掃除ハ豫メ請持等ノ方法ヲ設ケ毎年定式トシテ五月八月十一月ニ於テ之ヲ施行シ降雪等ノ節ハ臨時之ヲ施行スヘシ其掃除丁場分定ノ標杭ニハ間數請持町村名又ハ姓名ヲ掲記スヘシ 但里道ニシテ運輸交通ノ稀少ナルモノハ町村ノ便宜ニ任スヘシ

第三十八條 修築スヘキ堤塘ノ勾配ハ成ルヘク堤内一割五分以上堤外二割以上トシ其勾配ニ及ハサル堤塘ハ漸次ニ改良ヲ加フヘシ又堤塘ノ修築ニハ特ニ注意ヲ加ヘ持土一層毎ニ千本築或ハ蝟築ヲナシ或ハ兒童ヲシテ踏堅メシムヘシ

第三十九條 堤塘修築ノ土取ハ堤内ハ二十間以外堤外ハ三十間以外ノ距離ニ於テ良質ノモ

ノヲ撰フヘシ 但適當ノ場所ナキトキハ適宜掘取ルコトヲ得ルト雖モ河身及地況ヲ調査シ治水上ニ障礙ナカラシムヘシ

第四十條 堤脚ニ池沼又ハ水路又ハ水田アルカ或ハ堤内ノ地盤川床ヨリ低キ場所ヘハ小段又ハ根抗力抗等ヲ打テ兼テ鞏固ヲ謀ルヘシ

第四十一條 堤塘ノ新築改築増築ニ係ルモノハ良質ノ芝草ヲ撰ミ堤内外一面或ハ横線ニ之ヲ植付ケ堤脚ニ楊柳ヲ仕付クヘシ 但其當分毎月一回ツ、雜草ヲ拔取り芝草及楊柳ノ繁茂ヲ助クヘシ

第四十二條 樋管ハ成ルヘク金屬石質又ハ煉瓦等ノ如キモノヲ使用シ其堤塘ニ關スルモノハ特ニ堅牢ノ材料ヲ使用スヘシ

第四十三條 河川ノ水量標ハ組合町村ノ便宜ニ依リ適宜ニ建設スルヲ得ヘシ其地方稅支辨ニ係ルモノハ位置看守ノ方法等別ニ之ヲ定ムヘシ

第四十四條 堤塘ノ雜草ハ毎年五月九月ニ於テ之ヲ薙拂フヘシ 但郡長ハ之ヲ検査シ所轄內總テ完了ノ上當廳ニ報告スヘシ

第四十五條 堤防又ハ治水ノ妨害トナル竹木ハ左ノ各項ニ照シテ處分スヘシ 但堤塘法先ノ楊柳及堤内ノ竹藪等ニシテ堤塘ノ根堅メトナルヘキモノハ伐採スヘキ限ニアラス 一堤塘ニハ竹木ヲ生立セシムヘカラス現ニ生立セシモノハ伐採ノ上根株ヲ掘取リ跡地ヲ堅牢ニ築立ツヘシ若シ掘取ルコトヲ得サルトキハ幹三四尺ノ所ヨリ伐採スヘシ

一水行ノ妨害トナル竹木ハ社殿堂宇及民家ノ敷地内ニアルモノト雖モ持主又ハ管理人ニ通告シテ伐採セシムヘシ若シ民有地ニシテ持主之ニ應セサルトキハ堤塘ノ所屬地トシテ買上クヘシ

一前二項ニ準シ難キモノハ實地ノ景況ヲ斟酌シテ適宜所分スルコトヲ得ヘシ
第四十六條 土功ヲ破壊シ又ハ之ニ妨害ヲ加フル等其所爲刑法若クハ本縣違警罪ニ該當スルモノハ直ニ告發シ其損害アルモノハ併テ要償ノ訴ヲナシタル後其事由ヲ當廳ニ報告スヘシ

第四十七條 水防ハ増水ノ見届ケ人夫ノ觸當物品ノ差配及受持等ノ方法ヲ設ケ臨時防禦ニ應シ得ル様常ニ管理者ニ於テ用意スヘシ其水防丁場分定ノ標杭ニハ間數請持町村名又ハ姓名ヲ掲記スヘシ 但水防ノ方法ハ當廳ニ報告スヘシ

第四十八條 寄附金支拂ニ係ル人夫ハ地方稅支辨ノ土功ト町村費支辨ノ土功トヲ問ハス成ルヘク其寄附セシ町村ノモノヲ傭入レテ使役スヘシ

第四十九條 工事施設ノ爲メ他ノ土地ヲ要スルトキハ場所ヲ選定シ其反別地價地種等ヲ調査シ官有地ニ係ルモノハ管理人ニ要求シ民有地ニ係ルモノハ持主ニ協議シ地種變換ノ上使用スヘシ

第五十條 町村費支辨ノ土功及經費ノ支出徵收方法ハ各其定ムル所ノ手續ニ依リ町村會ノ評決ヲ經テ處理スヘシ 但土功ニ關スル具申書等ニハ已ニ町村會ノ評決ヲ經タルモノト

追テ其評決ニ附スルモノトノ區別ヲ附記スヘシ

○訓令第七十一號

明治二十一年六月九日

郡長役場

土功取扱順序ニ依テ調製スル土功ノ仕様帳出來形帳及經費ノ豫算書精算書々式左ノ通定ム但明治十六年九月乙第百八號達ハ廢止ス

(仕様帳出來形帳書式)

何年度何郡(何町村)(何町村外何箇町村何組合)(何道)(何川)(修築)(何々)(仕様帳)(出來形帳)(路線ノ例)

何郡

何町村地内

字何々

一(修築)(起返シ)(不陸直シ)(何々)長延何間

平均巾何間

此平坪何坪

右需用

(砂利)(土)何程

代金何程

巾何間
厚何程
壹何坪
但金何程

(物品ノ名稱員數ハ之ニ倣ヒ記載スヘシ以下總テ同シ)

人夫何人

賃金何程

但一人

(起返シ不陸直シ及砂利敷又ハ足土等何レモ人夫掛リノ内譯ヲ記載スヘシ)

(仕様出來形ニ係ル事項ハ右ニ倣ヒ慣例ノ通り詳記スヘシ以下總テ同シ)

合金何程

金何程

諸色代

内

金何程

人夫賃

(橋梁ノ例)

何郡

何町村地内

何(川)(堀)掛ヶ渡シ

字何々

(架換)(修覆)(何々)

一(木)(石)(土)橋長何間

巾何間

壹箇所

此平坪何程

(石橋ニハ橋臺上端何間根通り何間兩袖上端何間根通り何間ツ、高何間平面積何坪)

(但去ル何年中何費ヲ以テ新設或ハ何々シ爾來何年間ヲ經本年度ニ於テ修繕或ハ何

々ト其施工ヲ要スル理由ヲ摘記スヘシ)

右需用

何々何程

長何程
巾何程
末口何程

何々

代金何程

但(一本)(一個)
金何程

(橋抗桁梁橋石橋板高欄木品尺ノ鏡物其他之ニ使用スル物品ハ悉ク仕譯代價及一個當リヲ記載スヘシ)

(石工)(大工)(何々)何人

賃金何程

但一人
金何程

(人掛ヶ坪當リ等其内譯ヲ記載スヘシ)

人夫何人

賃金何程

但一人
金何程

(大工手傳或ハ橋抗震込打抗其他ニ要スル人夫ハ悉ク内譯ヲ記載スヘシ)

(假橋及假道ヲ要スルトキハ右ニ倣ヒ物品人夫金額等掲記スヘシ)

合何程

金何程

諸色代

内金何程

職工賃

金何程

人夫賃

(堤塘ノ例)

何郡

何町村地内

字何々

仕上馬踏何程

一(上置)(腹付)(添築)長何間

平均横何尺
高何尺
法何尺
厚何尺

此土坪何坪

人夫何人

(堤内外何間ノ場所ヨリ土取壹坪何人、或ハ有土繰返シ土厚五寸毎ニ蛸築或ハ千本築又ハ總張芝筋芝等其内譯ヲナスヘシ)

(小段或ハ崩所堤表裏法直シ等モ渾テ右ノ例ニ倣フ)

字何々

箒高何尺

一堤脚埋々立抗箒長何間

平均横何程
高何程

此土坪何坪

箒坪何坪

人夫何人

(箒平壹坪何人同抗打壹本何人箒内埋立壹坪何人ト其仕譯ヲナスヘシ)

右需用

何々何程

(杭木ノ如キモノハ長及ヒ末口ヲ記ス)

代金何程

但(机木壹本)(土坪壹坪)(何々)金何程

(種類毎ニ右ニ倣ヒ仕譯ヲナスヘシ)

人夫何人

但壹人金何程

賃金何程

合金何程

内 金何程

諸色代

金何程

人夫賃

(川除ノ例)

何郡

何町村地内

字何々

(杭出)(並杭)何通打(半梓何組建)(何々)

一(杭出)(並杭)(梓出)(何々)

壹ヶ所

右需用

何々何程

代金何程

(種類毎ニ右ニ倣ヒ仕譯ヲナスヘシ)

人夫何人

賃金何程

(杭打壹人何本打石取何丁壹坪何人其他枠類組立川入人夫等ノ内譯ヲ記載スヘシ)

合金何程

内 金何程

内

金何程

(樋管ノ例)

諸色代

人夫賃

何 郡

何町村地内

但(壹本)(壹個)
金何程

(何川通)(何用悪水)伏込(何々)
字何々

(伏換)(修繕)(何々)

一(以樋)(伏越以)(關枠)(何々)長何間

内法 横何間
高何間

壹ヶ所

(但去ル何年中何費ヲ以テ新設シ爾來何年ニ伏換或ハ修繕セシニ目下何々ニ付本
年度ニ於テ伏換或ハ何々ト其施工ヲ要スル理由ヲ摘記スヘシ)

此板坪例坪

新板何坪
古板何坪

内

何坪

何坪

右需用

長何間
高何尺
横何尺
高何尺

何板坪

何板坪

削立何程 何々

何(木)(板)(丸太)(何本)(何枚)

長何程

何寸角
巾厚何程
末口何程

何々

代金何

但(壹本)(壹枚)
金何程

(以樋關枠ハ長何程土臺何本繼側板何繼其他何々ト其使用方法ヲ明記シ又木材ハ同
種類ナルモ使用方或ハ寸尺ノ異ナルモノハ區別シテ代價及一個當リヲ記載スヘシ)

(何寸釘)(何鋸)(何々)何程

此鋸目何程

但(壹本)(壹個)
何々
但 壹實目
金何程

内 何本古鋸物用

何本

何々(何本)(何枚)(壹枚何本打)

(木材ノ種類ニ依リテ要スル鋸物ノ使用方ハ各仕譯ヲナスヘシ)

小計金何程

(職工)(人夫)何人

賃金何程

但壹人
金何程

計金何程

(新古板坪職工人掛ハ各其柄ニ依リテ内譯ヲ記載スヘシ)

右掘埋

一堤掘割馬踏何程

平均上口何尺
中床何尺
高何尺

此掘埋坪何坪

伏場

掘割長何間

平均上口何尺
床何尺
高何尺

此掘埋坪何坪

内 何坪 扒長何間

外法橫何程
高何程

扒倍坪引

殘坪何坪

二口坪何坪

人夫何人

但掘埋壹坪何人
足土取壹坪何人

何坪

何坪

有土
足土

代金何程

但壹坪金何程

人夫何人

(掘埋壹坪何人或ハ足土取壹町壹坪何人ト記載スヘシ)
樋表裏土抱板内長何間ツ、

掘割長延何間

平均橫何程
高何程

此培坪何坪

内

何坪

有土

何坪

足土

代金何程

但壹坪金何程

人夫何人

(表裏土抱ノ長竝高等ノ異ナルモノハ區別スヘシ)

何口人夫何人

賃金何程

但壹人
金何程

小計金何程

計金何程

掘埋一式

何(川)(堀)長何間ツ、

一、切長延何間

平均 橫何尺
高何尺

此土坪何坪

右需用

何々何程

長何程末口何程

代金何程

但壹個
金何程

(一、切用又ハ何々ト使用方ヲ記載スヘシ)

小計金何程

人夫何人

賃金何程

但壹人
金何程

(一、切仕立或ハ土取土儀拵水換其他ニ使用スル人夫ハ内譯ヲ記載スヘシ)

計金何程

合金何程

金何程

諸色代

内金何程

職工賃

金何程

人夫賃

右之通相違無之候也

(右管理「一町村負擔ノモノハ之ヲ除ク」)

年月日

某郡(町村戸長)(郡長) 氏 名 印

一、仕様帳出來形帳ノ書式ハ大體ノ例ヲ示スニ過キス故ニ彼是斟酌ヲ加ヘ諸色人夫ノ員數價格及施設ノ方法等掲記スヘシ

一、暗渠、隧道、濕拔、里程標、並木、畑圍、護岸、河身、水制、浚渫、水量、溝渠、堰埭、溜池ノ仕様帳出來形帳ハ他ノ書式ノ體裁ニ倣ヒ諸色人夫ノ員數價格及施設ノ方法等力メテ明瞭ニ掲記スヘシ

豫算書精算書書式

何年度(何道)(何々)(修築)(何々)經費(豫算書)(精算書)

何郡

何町村

(又ハ何町村外何箇町村何組)

合)

支出ノ部

一金何程

土 木 費

(内「地方稅ヨリ補助トシテ下渡金アルモノ又ハ科目ヲ指定シタル寄附アルモノハ此内書ヲ要ス以下支出科目總テ同シ」)

金何程

地方稅補助金

金何程

寄 附 金

内 譯

金何程

〔内〕此内書科目ハ左ニ掲記スル例ニ倣ヒ事業ノ要領ヲ摘記スヘシ又路線ニ關スル費用ニシテ其仕譯ヲ掲クルノ必要アルモノハ適宜之ヲ掲クルモ妨ケナシ以下支出科目總テ同シ

道 路 費

- 金何程 路線(開鑿)(修繕)費
- 金何程 橋梁(新設)(何々)費
- 金何程 暗渠(新設)(何々)費
- 金何程 隧道(開鑿)(何々)費
- 金何程 濕拔(新設)(何々)費
- 金何程 里程標(建設)(何々)費
- 金何程 並木(植付)(何々)費
- 金何程 雜 費

金何程

内

治 水 費

- 金何程 堤塘(修繕)(何々)費
- 金何程 畑圍(改築)(何々)費
- 金何程 川除(修繕)(何々)費
- 金何程 護岸(新設)(何々)費
- 金何程 河身(開鑿)(何々)費

一金何程

- 金何程
- 金何程
- 金何程
- 金何程
- 金何程
- 金何程
- 金何程
- 金何程

收入ノ部

- 水制(新設)(何々)費
- 浚 漑 費
- 水 量 (何々) 費
- 溝 渠 (何々) 費
- 堰埭(新設)(何々)費
- 樋管(改築)(何々)費
- 溜 池 (何々) 費
- 雜 費

(地價)(反別)割

但(地價金何程金壹圓)(反別何程此地價金何程反別壹反)ニ付金何程

金何程

(内譯)田畑宅地山林等其賦課率ヲ異ニスルモノハ此内譯ヲ要ス

田(地價)(反別)割

但同上

金何程

畑(何々)(地價)(反別)割

但同上

一金何程

營業割

但(何軒壹軒)(營業金高何圓金壹圓)ニ付金何程

(内譯「商業工業等ヲ區別シテ賦課スルモノハ此内譯ヲ要ス以下ノ」)

金何程

商業割

金何程

但同上

金何程

工業割

一金何程

但同上

一金何程

戶別割

一金何程

雜收入

一金何程

寄附金

計金何程

前々年度繰越金

右之通相違無之候也

地方稅下渡金

右之通相違無之候也

(右管理「一町村負擔ノモノハ之ヲ除ク」)

年月日

某郡(町村戶長)(郡長)氏名印

○訓令第六十五號

明治二十四年六月二日

町郡村役場所

地方稅ヲ以テ支辨シ或ハ補助スヘキ土功ハ總テ從前ノ例ニ依ルヘキ筈ニ有之候得共調査上區々相成ラサル爲メ左ニ標準相示シ候條得其意土功取扱順序第十一條第十五條第十八條ニ依リ具申スヘシ

一 國道縣道ニ屬スル土功及縣道ニ準スヘキ里道ノ修繕改良ニ屬スル土功

一 利根川、渡良瀨川、權現堂川、江戸川、鴨川、神流川、小山川、庄内古川、荒川、入間川、越邊川、高麗川、都幾川、市野川、新川岸川、柳瀨川ニ屬スル土功

一 前項ノ道路河川ニ屬セサル土功ノ新設改良又ハ天災時變ノ爲メ巨額ノ工費ヲ要シ町村ノ負擔ニ堪ヘサルモノ

○丙第二三號

明治二十九年一月二十一日

内務部

土木費及町村土木補助費支辨規定別紙之通改定シ本年四月一日ヨリ施行ス

(別紙)

土木費及町村土木補助費支辨規定

第一條 左ニ掲クル道路(廣場、砂利置場、溝渠、橋)及河川(水量標共)ニ關スル事業ノ費用ハ地方稅ノ負擔トス 但道路掃除、堤防雜草刈拂、藻刈及用惡水疏通ノ爲メ要スル浚渫ハ此限ニアラス

五號 國道

六號 國道

十二號 國道

青梅街道

熊谷大宮道

本庄小鹿野道

熊谷妻沿道

吹上川俣道

熊谷川越道	川越東京道	大宮粕壁道	熊谷久喜道
久喜幸手道	川口岩槻道	本庄伊勢崎道	川越青梅道
浦和所澤道	鴻巣松山道	松山小川道	大宮川越道
大宮東京道	飯能名栗道	鴻巣加須道	兒玉鬼石道
川越所澤道	熊谷小川道	志木八王子道	栗橋加須道
上尾川越道	越ヶ谷岩槻道	加須大越道	忍羽生道
羽生古河道	水戸脇街道	越ヶ谷吉川道	吉藤河川道
越ヶ谷野田道	粕壁金ノ井道	熊ヶ谷河川道	桶川川越道
上尾原市道	鳩ヶ谷千住道	浦和流山道	浦和越ヶ谷道
川越越生道	小川越生道	松山八王子道	寄居藤岡道
深谷寄居道	岩槻騎西道	桶川菖蒲道	菖蒲久喜道
小川大宮道	大宮小鹿野道	大宮大瀧道	幸現堂河手道
杉戸久喜道	加須羽生道	羽生川俣河川道	岩槻幸手道
忍騎西道	本庄藤岡道	松山平道	小川寄居道
草加松戸道	大宮志木道	蕨鳩ヶ谷道	所澤五日市道
川越新河岸道	入間川飯能道	幡羅中瀬道	久喜岩槻道
所澤青梅道	熊谷新郷道	鴻巣忍道	大宮上野道

川越小川道	川越今宿道	幸手寶珠花道	原市蓮田道
久喜騎西道	杉戸關宿道	浦和岩槻道	栗橋菖蒲道
蕨停車場道	浦和停車場道	大宮停車場道	上尾停車場道
桶川停車場道	鴻巣停車場道	吹上停車場道	熊谷停車場道
深谷停車場道	本庄停車場道	久喜停車場道	栗橋停車場道
川越停車場道	入間川停車場道	豐岡入曾停車場道	裁判所道
郡役所道	警察署道	中學校道	利根川
權現堂川	江戶川	神流川	島川
身馴川	小山川	渡良瀬川	島川
庄内古川	荒川	和田吉野川	市野川
槻川	都幾川	高麗川	小野川
越邊川	入間川	柳瀬川	新河岸川
綾瀬川	大落古利根川	元荒川	

第二條 見沿中惡水路(尾間木村八丁)ハ浚渫ニ限リ地方税ヲ以テ之ヲ支辨ス

第三條 左ニ掲クル道路(溝渠橋)ノ工事ハ其費用ヲ負擔スヘキ町村又ハ公共組合ノ出願ニ依リ其工費十分ノ五以上七以下地方税ヲ以テ之ヲ補助ス

大宮名栗道 新河川道 幸手關宿道 浦和川越道

吹上松山道	鴻巣川越道	岩槻原市道	兒玉菅谷道
小鹿野信州道	幸手鷺宮道	越ヶ谷道	下妻道
越ヶ谷道	杉戸道	寶珠花道	妻沼羽生道
志木東京道	深谷妻沿道	中瀬本庄道	所澤入間川道
小川平道	志木川越道	川越吾野道	深谷今市道
熊谷菅谷道	菅谷今宿道	吹上川越道	桶川坂戸道
飯能越生道	粕壁關宿道	大宮菖蒲道	幸手原市道
下吉田上州道	飯能高萩道	小鹿野白川道	鴻巣岩槻道
桶川松山道	粕壁吉川道	吉川新宿道	妻沿中瀬道
與野八丁河岸道	古河館林道	岩槻蒲生道	不 <small>動</small> 村 <small>岡</small> 道
騎西藤岡道	普濟寺橫瀨道	飯能金子道	栗橋大越道
杉戸岩槻道	忍酒卷河岸道	本庄鬼石道	岩槻妙見河岸道
川口千住道	所澤南畑道	川越宗岡道	本泉鬼石道
本庄寄居道	大麻生大宮道	妻沼小島道	古谷所澤道
新河岸元狹山道	越ヶ谷大門道	安行谷塚道	熊谷赤岩道
廣瀨用土道	所澤府中道	八木郷金町道	鳩ヶ谷吉川道
小鹿野魚尾道	入間川越生道	越生松山道	大宮平道

寄居槻川道	兒玉深谷道	葛蒲忍道	吉川流山道
粕壁寶珠花道	今宿小川道	吹上押切道	玉井尾島道
羽生館林道	兒玉野上道	兒玉新町道	浦和白子道
久喜上平道	八幡花畑道	本庄小川道	忍笠原道

第四條 第一條ノ河川ノ本堤及之ニ代ルヘキ河岸ニ伏込タル樋管ノ修繕及伏替ハ其工費十分ノ三以上五以下石、煉瓦等不朽ノ材料ヲ以テ之ヲ改造スルモノハ其工費十分ノ四以上六以下其費用ヲ負擔スヘキ町村又ハ公共組合ノ出願ニ依リ地方税ヲ以テ之ヲ補助ス
 第五條 左ニ掲ルク工事ハ其費用ヲ負擔スヘキ町村又ハ公共組合ノ出願ニ依リ其工費十分ノ五以下地方税ヲ以テ之ヲ補助スルコトアルヘシ
 第一條ノ河川ニ係ル畑圍堤ヲ復舊若クハ維持スル工事ニシテ百圓以上ヲ要スルモノ
 橋梁長五間橋臺上端ノ間幅一間以上ノ新築又ハ架換ヲ要スルモノ
 公益ノ爲メ新設又ハ改良スル工事ニシテ五百圓以上ヲ要スルモノ
 第六條 非常災害ニ依リ必要ヲ生シタル工事ニシテ費用ノ負擔ニ堪ヘ難シト認ムルモノハ其町村又ハ公共組合ノ出願ニ依リ此規定ニ拘ラス特ニ地方税ヲ以テ之ヲ補助シ若クハ地方税ヲ以テ之ヲ支辨スルコトアルヘシ 但地方税ヲ以テ支辨スル場合ニ在テハ縣廳ニ於テ其工事ヲ管理スルモノトス
 第七條 第三條ノ道路ヲ改良スルトキハ其費用ヲ負擔スヘキ町村又ハ公共組合ノ出願ニ依

リ地方税ヲ以テ之ヲ支辨スルコトアルヘシ 但地方税ヲ以テ支辨スル場合ニ在テハ縣廳ニ於テ其工事ヲ管理スルモノトス

第八條 地方税ヲ以テ補助スル工事ノ設計並工費ノ適否計算ノ方法等ハ總テ縣廳ノ認定スル處ニ依ル

○乙第四十九號

明治十四年十月二十日

郡 役 場
戶 長 役 場

地方税ノ修築ニ屬スル河川堤防道路橋梁等ヲ町村ノ協議費或ハ一己數人ノ自費ヲ以修築セシムコトヲ願出ルトキハ本廳ノ指揮ヲ得テ著手候儀ト可心得此旨相達候事

○埼玉縣訓令第六十一號

明治三十年五月二十八日

內務部 警察部
監獄署 郡役所
警察署 警察署
監獄支署 縣立學校
測候所

工事執行規程左ノ通定ム

工事執行規程

第一條 縣ノ費用ヲ以テ支辨スル工事ノ執行ハ此ノ規程ニ據ル

第二條 工事ノ起工及其設計ノ變更ハ縣參事會ノ議決ヲ經ルモノトス 但豫算額五十拾圓以內ノ起工工事ハ此ノ限りニ非ラス

第三條 工事又ハ工費用物件ノ供給ハ總テ競争入札ニ附スルモノトス 但左ノ場合ニ於テハ隨意契約ニ依ルコトヲ得

一 一人又ハ一會社ノ專有スル物品ヲ買入レ若クハ借入ル、トキ

二 工事又ハ物件ノ買入ヲナスニ當リ競争ニ附スル暇ナキトキ

三 豫定價格百圓ヲ超ヘサル工事又ハ貳拾圓ヲ超ヘサル物件ヲ買入若クハ借入ル、トキ

四 競争ニ附スルモ入札者ナキ又ハ再入札ニ付スルモ尙ホ豫定價格ニ達セサルトキ

五 增加工事ヲ既約ノ請負人ニ命スルトキ

六 土地家屋及土砂等ノ買入若クハ借入ヲナスニ當リ其位置又ハ構造ニ限リアルトキ

七 試験ノ爲メニ工作製造ヲ命シ又ハ物件ヲ買入レ若クハ借入ル、トキ

八 官廳又ハ公共團體ヨリ物品ヲ買入若クハ借入ル、トキ

九 工事又ハ物品ノ供給ヲ關係町村共同人民ニ請負ハシムルトキ

十 囚徒ヲ雇役シ又ハ囚徒ノ製作品ヲ直接買入ル、トキ

十一 直轄工事ニ要スル職工及人夫等ヲ備役スルトキ

第四條 工事又ハ工費用物件供給請負ノ入札及契約ニ關スル事項ハ知事ノ定ムル所ニヨル

○告示第三十二號

明治二十一年五月二十九日

土木工事入札請負規則左ノ如シ

土木工事入札請負規則

第一條 當廳管理ニ係ル土木工事ハ工事ノ全部又ハ工費用物件ノ一部ヲ入札ニテ請負ハシムルコトアルヘシ

第二條 工事又ハ物件ハ入札ノ都度縣報ヲ以テ廣告シ併テ新聞紙ニモ之ヲ廣告スルコトアルヘシ

第三條 入札セントスルモノハ工事仕様帳又ハ物件明細書ヲ熟覽シ隨時指定スル所ノ入札證憑金ヲ添テ入札スヘシ

第四條 入札ハ指定ノ場所公衆ノ面前ニ於テ掛官之ヲ開キ金額最低ノモノヲ以テ落札トシ其請負ヲ命ス若シ金額不相當ニシテ落札スヘカラスト認メタルトキハ之ヲ棄却シ特ニ順次次札ノモノヲ落札トスルカ又ハ入札ノ全部ヲ廢棄スルコトアルヘシ

第五條 入札證憑金ハ開札後直ニ之ヲ還付ス落札人ニシテ請負ヲ命シタルモノハ請負保證金ヲ差出シタル後之ヲ還付スヘシ

第六條 入札ハ差出ノ順序ニ隨ヒ番號ヲ附記シ落札金額ニ同位ノモノアルトキハ先番ヲ以テ落札ト定ムヘシ

第七條 落札人請負ヲ命セラレタルトキハ七日以内ニ落札金額百分ノ十以下五以上ニ於テ掛官ノ指定スル請負保證金ニ書式ノ如ク保證人ノ連署シタル請負證書及工事仕様帳又ハ物件明細書ニ對スル請負金額仕譯書ヲ添テ差出スヘシ 但保證人ハ管内ニ本籍居住ヲ定メ管内ニ於テ不動産ヲ所有スルモノ二名以上タルヘシ

第八條 開札後請負證書差出前ニ於テ入札又ハ請負ノ取消ヲ請フモノハ違約金トシテ入札證憑金ヲ沒收スヘシ

第九條 請負ヲ命シタル後當廳ニ於テ工事又ハ物件ノ變更廢止ヲ要スルトキハ入札證憑金又ハ請負保證金及證書ヲ還附シテ其請負ヲ解免スルコトアルヘシ 但著手後ニアリテハ當廳ノ見積ヲ以テ出來形又ハ物件ニ對スル價金ヲ下附スヘシ

第十條 請負證書ヲ差出シタル後請負人ノ便宜ニ依リ請負ノ解免ヲ請フトキハ違約金トシテ請負保證金ヲ沒收スヘシ 但著手後ニアリテハ出來形又ハ物件ノ所定ニ違ハサルモノハ當廳ノ見積ヲ以テ特ニ幾分ノ價金ヲ給與スルコトアルヘシ

第十一條 請負人ハ正實ヲ旨トシ工事施設ノ順序物件受渡ノ手續等總テ掛官ノ指揮ヲ請クヘシ 但工所用ノ木石其他ノ物件ハ其點檢ヲ請ケタル上使用スヘシ

第十二條 工事ノ仕様帳又ハ物件ノ明細書ニ違フモノハ日ヲ期シテ之ヲ改造セシメ又ハ之ヲ交換セシム若シ緩慢ニ附スルトキハ請負ヲ解免シ違約金トシテ請負保證金ヲ沒收シ請負金ノ下附以前ニ係ルモノヲ下附セサルヘシ

第十三條 風雨出水積雪其他天災時變ニ係リ指定ノ期限ヲ變更セントスルトキハ掛官ノ許諾ヲ請クヘシ若シ故ナク之ヲ變更シ遲延ニ及フモノハ違約金トシテ一日ニ付請負金額百分ノ一ニ相當スル金員ヲ納メシム其納金ヲ怠ルトキハ前條ニ準シテ所分スヘシ

第十四條 工事ノ落成又ハ物件ハ掛官ニ届出檢査ヲ請クヘシ其檢査濟受渡以前ニアリテ出來形ノ毀損セシモノ又ハ物件ノ損亡セシモノハ總テ請負人ノ損失タルヘシ 但天災時變ニシテ防禦シ得ラレサルモノハ特ニ損失金ノ半額ヲ補給スルコトアルヘシ

第十五條 工事又ハ物件ハ届出ノ日ヨリ遅クモ二十日以内ニ於テ之ヲ検査シ不都合ナキモノハ請負證書及保證金ヲ還附スヘシ若シ期限内ニ検査ヲナサ、ルモノハ請負人ニ於テハ検査済ノモノト見做スヘシ

第十六條 請負金額ハ工事ノ出来形及其場所ニ持込タル其材料又ハ物件ニ對シ掛官ノ見積リ價格十分ノ八マテハ請負人ノ請求ニ應シテ時々之ヲ下附ス其殘餘ハ工事ニアリテハ落成検査済物件ニアリテハ検査済受渡ノ上一時ニ之ヲ下附スヘシ

第十七條 期限ヲ特約シ其期限内完全ヲ請合タルモノハ請負證書ニ其期限ヲ明記シ請負金ノ内ヨリ請負金額百分ノ五ニ相當スル金員ヲ抵償トシテ當廳ニ領置シ滿期ノ後之ヲ還附スヘシ

第十八條 請合期限内破損ヲ生シ改造又ハ交換ヲ要スル場合ニアリテ請負人其義務ヲ怠リタルトキハ抵償金ヲ以テ費用ニ充テ殘餘ハ之ヲ還附シ不足ハ之ヲ賠償セシムヘシ

第十九條 職工人夫多數ニシテ掛官ニ於テ請持丁場ヲ立ルヲ必要トスルトキハ其指揮ニ依リ請負人ニ於テ工事ニ熟練ナルモノヲ撰ミ取締人トシテ丁場毎ニ之ヲ附置スヘシ

第二十條 請負人ハ常ニ場所ニ出頭シ請負ニ關スル事務ヲ擔當スヘシ若シ疾病事故ノ爲メ自ラ擔當スルコト能ハサルトキハ相當ノ代人ヲ定メ掛官ノ許諾ヲ得テ代理セシムルコトヲ得ヘシ

第二十一條 請負人ノ違約又ハ怠慢等ヨリ當廳ニ損害ヲ生シタルトキハ別ニ之ヲ賠償セシム

ム若シ請負人ニ於テ賠償スルコト能ハサルトキハ保證人ニ代償セシムヘシ

第二十二條 第十一條第十九條第二十條ニ掲クル事項ニ違背シタルトキハ第十二條ニ準シテ處分スヘシ

明治二十五年三月左ノ通追加

第二十三條 入札人共謀結托シテ入札ヲ爲シタルトキハ其入札ハ總テ棄却ス可シ

落札人既ニ定マリタル後前項ノ事實發覺シタルトキハ其落札又ハ請負ヲ取消シ入札證憑金若クハ請負保證金ハ之ヲ還附セス

前項ニ依リ請負ヲ取消シタル場合ニ於テ出来形又ハ物件ノ所定ニ違ハサルモノハ當廳ニ於テ相當ト認ムル價金ヲ下附スヘシ

(書式)

印紙

工事(工事用物件)請負證書

何々道路橋梁(何川何々工事)(何々)

一金何百圓也

請負高

此請負保證金何圓也

右入札候處前書金高ヲ以テ落札ノ上請負被命候ニ就テハ明治二十一年御廳告示第三十二號土木工事入札請負規則ニ遵ヒ來ル何月何日ヨリ著手シ何月何日迄ニ無相違(別冊)(工事仕

様帳ノ通竣功(物件明細書ノ通取揃)(又ハ何々ノ上)御検査相請可申ハ勿論(向何年間ハ完全ノ請合仕候)万一不都合ナル所爲有之候節ハ御規則ノ通夫々御處分相成候トモ聊苦情無御座候因テ保證金相添へ連署ノ證書差出置候也

年月日

何縣何國何郡何町村何番地居住

請負人 何ノ某印

同

保證人 何ノ某印

同

同 何ノ某印

埼玉縣知事氏名殿

○廳達第七九號

明治二十三年十二月十八日

内務部第二課

土功用品検査手續左ノ通定ム

一直轄工事ニ使用スル築品ヲ工事擔任者ニ於テ検査受領ノ際ハ僚屬ヲシテ立會ヲ爲サシムヘシ

一受負人其他ヨリ築品ヲ納付シ來リタルトキハ工事擔任者ニ於テ検査受領スヘキ日時ヲ定メ其品名數量代價及納附人ノ氏名ヲ記シ之ヲ課長ニ報告スヘシ

一検査受領スヘキ日時ニ至リ立會者ノ派遣ナキトキハ工事擔任者限り検査ヲ遂ケ受領ノ手

續ヲ爲スヘシ 但検査ノ結果ニ依リ數量、代價ニ異同ヲ生シタルトキハ其増減ヲ課長ニ報告スヘシ

一隨時受領スル築品ニシテ日時ヲ定メテ検査スルコト能ハサルモノハ豫メ認可ヲ得テ工事擔任者限り之ヲ検査受領シ十五日間毎ニ其品名數量代價及納附人ノ氏名ヲ課長ニ報告スヘシ

第二部 土木課

○廳達第三十四號

明治二十一年七月十一日

直仕立土功用品職工人夫傭入及物品購入手續左ノ通心得ヘシ 但直仕立ニ要スル職工人夫及

物品ト雖モ請負ノ方法ニ依ルヘキモノハ此限ニアラス

第一項 職工人夫ノ豫算金内ニ屬スルモノハ課長ニ於テ便宜傭入ル、コトヲ得 職工人夫ハ相當賃金ヲ以テ成ルヘク地元町村又ハ關係町村ヨリ工事ニ熟練ナルモノヲ傭入ルヘシ 但工事ニ不熟練ナルモノト認ムルカ又ハ工事ノ都合ニ依リテハ他町村ヨリ傭入ル、モ妨ケナシ

賃金ハ甲乙成ルヘク多人數ノ見積ヲ問糺シ低廉ナルモノヲ標準トシテ査定スヘシ 但工事ノ都合ニ依リテハ取捨斟酌スルコトヲ得

第二項 物品ハ豫算金内ニ屬スルモノト雖モ一箇若クハ一口ノ價格金拾圓以上ハ部長ノ裁決ヲ經テ之ヲ購入シ其拾圓未満ノモノハ課長ニ於テ便宜購入スルコトヲ得 價格ハ職工人夫ノ賃金ト等ク甲乙之ヲ問糺シ品質善良ニシテ價格低廉ナルモノヲ撰定ス

一箇若クハ一口ノ價格金拾圓以上ナルモノハ前節ノ例ニ依リ價格ヲ査定シテ裁決ヲ請クヘシ

第三項 豫算金ニ指定ナキ職工人夫及物品ノ臨時須要ヲ生シタルトキハ先ツ經費支出ノ方法ヲ要求シ然ル後備入レ又ハ購入ノ手續ヲナスヘシ
豫算金ニ指定ナキモ總費額内ニテ支辨シ得ル職工人夫及物品ハ第一項第二項ニ準シ之ヲ備入シ又ハ之ヲ購入スルコトヲ得 但他日其總費額ニ不足ヲ生スルカ如キコトヲナスヲ得ス

第四項 出張先ニ於テ要スル職工人夫及物品ハ前各項ニ照シ其土功擔任者ニ於テ處分スヘシ 但第二項第三節ニ該當スルモノハ價格査定ノ上土木課ニ移牒シテ裁決ヲ請クヘシ
出張先ニアリテ臨時至急ヲ要シ裁決ヲ請クルニ暇ナキモノハ便宜處分ノ後課長ヲ經テ其事由ヲ部長ニ開陳スルコトヲ得

○告示第三十三號 明治二十一年五月二十九日

土木工事請負規則左ノ如シ

土木工事請負規則

第一條 當廳ノ管理ニ係ル土木工事ハ工事ノ全部又ハ工事用物件ノ一部ヲ關係町村ノ人民ニ請負ハシムルコトアルヘシ

第二條 町村ノ人民共同シテ工事又ハ物件ヲ請負ハントスルトキハ其人民中資産名望アルモノヨリ二名以上五名以下ノ總代ヲ撰定シ請負人トシテ之ヲ出願セシムヘシ

第三條 總代ハ請負ニ關スル一切ノ責ニ任シ請負フヘキ工事仕様帳又ハ物件明細書ヲ熟覽シ價格ヲ詳記シタル願書ニ所轄戸長ノ與書ヲ請ケテ差出スヘシ

第四條 請負ノ許可ヲ得タルトキハ五日以内ニ願金額十分ノ一ヨリ少カラサル請負保證金ヲ定メ書式ノ如キ請負證書ヲ差出スヘシ

第五條 請負ヲ許可シタル後當廳ニ於テ工事又ハ物件ノ變更廢止ヲ要スルトキハ請負證書ヲ還附シテ其請負ヲ取消コトアルヘシ 但著手後ニアリテハ當廳ノ見積ヲ以テ出來形又ハ物件ニ對スル價金ヲ下附スヘシ

第六條 請負證書ヲ差出シタル後町村人民ノ便宜ニ依リ請負ノ取消ヲ請フトキハ違約金トシテ請負保證ヲ徵收スヘシ 但著手後ニアリテ出來形又ハ物件ノ所定ニ違ハサルモノハ當廳ノ見積ヲ以テ特ニ幾分ノ價金ヲ給與スルコトアルヘシ

第七條 工事ノ仕様帳又ハ物件ノ明細書ニ違フモノハ日ヲ期シテ之ヲ改造セシメ又ハ之ヲ交換セシム若シ緩慢ニ附スルトキハ請負ヲ取消シ違約金トシテ請負保證金ヲ徵收シ請負金ノ下附以前ニ係ルモノヲ下附セサルヘシ

第八條 風雨出水積雪其他天災時變ニ係リ指定ノ期限ヲ變更セントスルトキハ掛官ノ許諾ヲ請クヘシ若シ故ナク之ヲ變更シ遲延ニ及フモノハ違約金トシテ一日ニ付請負金額百分

ノ一ニ相當スル金員ヲ納メシム其納金ヲ怠ルトキハ前條ニ準シテ處分スヘシ
 第九條 請負人ノ違約又ハ怠慢等ヨリ當應ニ損害ヲ生シタルトキハ別ニ之ヲ賠償セシムヘシ
 第十條 前條ノ外本年^五本縣告示第三十二號土木工事入札請負規則第十一條第十四條乃至
 第二十條ヲ適用シ其第十一條第十九條第二十條ニ掲クル事項ニ違背シタルトキハ第七條
 ニ準シテ處分スヘシ

(書式)

印紙
 ④ 工事(工服用物件)請負證書

何々道路橋梁(何川何々工事)(何々)

一金何百圓也

請負高

此請負保證金何圓也

右請負ノ義出願仕候處御許可相成候ニ就テハ明治二十一年御應告示第三十三號土木工事請
 負規則ニ遵ヒ來ル何月何日ヨリ著手シ何月何日マテニ無相違(別冊)(工事仕様帳ノ通竣功)
 (物件明細書ノ通取揃)(又ハ何々ノ上)御検査相請ケ可申ハ勿論(向何年間ハ完全ノ請合仕
 候)万一不都合ナル所爲有之候節ハ御規則ノ通夫々御處分相成候トモ聊苦情無御座候因テ
 保證金相定メ連署ノ證書差出置候也

何縣何國何郡

何町村何ノ某外何人總代

何町村何番地住

請負人 何ノ某印

何町村番地住

同 何ノ某印

(幾名アルモ右ニ倣ヒ列記スヘシ)

年月日

埼玉縣知事氏名宛

○乙第三十七號

明治十九年三月十九日

郡 役 所
戶 長 役 場

從來水利取締人ノ如キ者アル河川堤防溝渠組合ニ於テハ其慣行ニ依リ之ヲ置クコトヲ得
 但其取締人等ニ關スル事項ハ左ノ條件ニ準據スヘシ

- 一 水利取締人等ハ組合ニ於テ公撰シ郡長ヲ經テ縣廳ノ認可ヲ受クヘシ 但其任ニ適セサル者ト認ムルトキハ改撰セシムルコトアルヘシ
- 一 水利取締人等ノ名稱ハ總テ從來ノ慣行ニ依ルヘシ
- 一 水利取締人等ノ員數公撰法任期改撰及手當旅費日當ハ其組合ノ聯合町村會又ハ水利土功會ノ評決ヲ取リ之ヲ定ムヘシ
- 一 水利取締人等ハ常ニ關係ノ河川堤防溝渠ヲ巡視シ治水上ノ障礙及損所等ニ注意シ專ラ

保護方ニ從事スヘシ 但土功經營ノ場所ヲ巡視監査セシムルコトアルヘシ
一 水利取締人等ハ出水ノ際ハ速ニ防禦方ヲ組合ニ通告シ準備水防用ノ諸色ヲ要所ニ配置
シ堤上ニ持溜土ヲ爲ス等水防諸般ノ事ノ指圖ヲ爲スヘシ 但樋管アル堤塘ハ殊ニ注意
スヘシ

旱魃又ハ霖雨ニ際シテハ溝渠ヲ巡視シ慣行ニ依リ藻刈其他諸般ノ事ノ指圖ヲ爲スヘシ
一 前二項ハ總テ郡長又ハ戸長ノ指揮ヲ得テ取扱フモノトス 但其取扱ニ關シ郡長又ハ戸
長ニ於テ規程等ノ設ケヲ要スルトキハ聯合町村會又ハ水利土功會ノ評決ヲ取り之ヲ設
定シテ後縣廳ニ報告スヘシ

一 水利取締人等ハ水利土功ニ係ル總テノ書類ニ連署スヘカラス
一 水利取締人等ハ工事ニ關スル一切ノ受負ヲ爲スコトヲ許サス
一 河川堤防溝渠以外ノ土功ニシテ從來取締人等設置ノ慣行アルモノハ右ニ準スルコトヲ
得又慣行ナキモ特ニ必要アリテ聯合町村會又ハ水利土功會ノ評決ヲ經タルモノハ縣廳
ノ許可ヲ受ケテ之ヲ設置スルコトヲ得ヘシ

○訓令第四十八號 明治二十三年六月十日 町 郡 村 役 場 所
水防ニ用ユル空俵繩杭木竹等ノ物品ハ明治二十一年^六本縣達第二十二號土功取扱順序第四
十七條ノ規定ニ依リ豫テ準備致シ置クヘキ筈ノ處未タ其準備相立サル町村ニ於テハ此際必
ス該物品ヲ備置クヘシ

○訓令第二十九號 明治二十四年三月二十四日 町 郡 村 役 場 所
水防ニ用ユル空俵繩杭木竹等ノ物品準備ノ儀ニ付テハ客年六月訓令(第四十八號)及ヒ置候
處今年モ追々出水ノ時期ニ近キタルヲ以テ各町村水防組合ニ於テ充分水防ノ準備ヲナシ就
中土取場遠隔不便ノ町村ニ於テハ豫テ堤塘ノ最寄便宜ノ所ニ豫備土ヲ置キ非常急遽ノ用ニ
供スヘシ

○縣令甲第十九號 明治二十四年三月二十四日
畑園堤搔上堤ハ治水上容易ナラサル關係ヲ生スルヲ以テ自今設計書ヲ添付シ縣廳へ願出許
可ヲ得ルニ非ラサレハ新設又ハ増築スルコトヲ得ス

○訓令第三十號 明治二十四年三月二十四日 町 郡 村 役 場 所
左ノ事項ハ出水ニ際シ自然堤防ニ危險ヲ生シ容易ナラサル災害ヲ來スノ虞アルニ付自今地
元町村ニ於テ厚ク注意シ猶水防組合ニ於テ嚴重取締ノ方法ヲ設ケシムヘシ
一 堤防ノ内郷二十間以内及ヒ堤外三十間以内ノ地盤ヲ掘鑿スル事
一 水行ノ妨害トナル竹木ヲ本堤外ニ生立スル事
○達第二十三號 明治二十一年六月五日 戸 郡 長 役 場 所
水量標規程左ノ通定ム

水量標規程
第一條 地方税ノ支辨ヲ以テ建設スル水量標ノ位置左ノ如シ

- 一 利根川 兒玉郡山王堂村 北埼玉郡北河原村 北葛飾郡栗橋宿
 - 一 渡良瀬川 北埼玉郡榮村
 - 一 權現堂川 北葛飾郡權現堂村
 - 一 江戸川 中葛飾郡西寶珠花村 北葛飾郡長戸呂村
 - 一 烏川 賀美郡忍保村
 - 一 神流川 賀美郡勅使河原村
 - 一 小山川 榛澤郡岡村
 - 一 莊内古川 北葛飾郡三輪野江村
 - 一 荒川 大里郡熊谷宿 北足立郡大蘆村 同郡西遊馬村 同郡美谷本村
 - 一 入間川 入間郡小ヶ谷村 比企郡下伊草村
 - 一 越邊川 比企郡中山村
 - 一 高麗川 入間郡上吉田村
 - 一 都幾川 比企郡下押垂村
 - 一 市野川 横見郡荒子村
 - 一 新河岸川 入間郡宗岡村
 - 一 柳瀬川 新座郡大和田村
- 第二條 左ニ掲クル場所ニハ水量標看守人ヲ置ク看守人ハ水量標ヲ看守シ水量ニ係ル事務ヲ取扱フヘシ

- 山王堂村 北河原村 栗橋宿 權現堂村 西寶珠花村
 - 長戸呂村 三輪野江村 熊谷宿 大蘆村 西遊馬村
 - 美谷本村
- 第三條 看守人ハ所轄郡長ノ具狀ニ依リ當廳ニ於テ補免ス郡長ハ缺員アル毎ニ所在町村ノ内ヨリ相當ノモノヲ撰舉スヘシ
- 第四條 看守人ハ午前午後ノ六時ニ於テ水量標ヲ點檢シ書式ノ如ク水位表ヲ調製シ毎月一日ニ前月分ヲ當廳ニ宛テ、差立ツヘシ 但用紙ハ豫テ下附スヘシ
- 第五條 看守人ハ臨時水量ノ堤高サ十分ノ五ニ達シタルトキハ郵便ヲ以テ其景況ヲ報告シ其七以上ニ達シタルトキハ電信又ハ特使ヲ以テ之ヲ報告スヘシ其報告ヲ發スルトキハ必ス日時ヲ記載スヘシ
- 第六條 看守人ニハ俸給ヲ給シ旅費ヲ給セス俸給ハ年俸金拾貳圓トシ一年ヲ四期ニ分チ每期ノ末即チ三月六月九月十二月ニ於テ之ヲ支給スヘシ 但補免ノトキハ總テ日割ヲ以テシ解免ノモノニ限リ臨時之ヲ支給スヘシ
- 第七條 看守人ノ職務取扱ニ係ル諸費ハ一年ヲ四期ニ分チ每期經過後十日以内ニ實費ヲ請求スヘシ
- 第八條 水量標ノ看守人ナキモノハ其所在町村ノ戸長ニ於テ看守シ第五條ニ掲クル報告ノ

事務ヲ取扱フヘシ

某郡某町村何番地住

看守人

何ノ某印

水位日表

何明治何年月日	晴雨	風	朝第六時			夕第六時			異常景況
			尺	寸	分	尺	寸	分	
一日	午前晴 午後雨	午前乾 午後坤	六	八	九	六	八	〇	
二日									
三日									
四日									
五日									
六日									
七日									

某川某郡某町村水量標

八日	九日	十日	十一日	十二日	十三日	十四日	十五日	十六日	十七日	十八日	十九日

第七類 土木 第一款 水利土功

ノ欠損ヲ防クヘシ

第四條 道路ノ修築ハ最初新道ハ線路ヲ敷設シ不陸ヲ矯正シ修繕ハ路面ヲ掘起シ凹凸ヲ直シローラル或ハ蝟木ニテ地盤ヲ堅ムルノ後幅員ノ廣狹ヲ量リ左右三尺以内ヲ明ケ砂利厚サ一寸散布シテローラル或ハ蝟木ニテ之ヲ堅メ而シテ後又一寸散布シテ法ノ如ク堅ムヘシ

第五條 砂利ヲ假令ハ四寸布ク計畫ナレハ二寸前條ノ如ク布キ餘ハ路傍ニ貯ヘ置キ砂利ノ踏込タルヲ待チテ前ノ法ヲ以テ散布スヘシ 但道路ノ景狀ニ據リ一寸ヲ布キ殘一寸ノ砂利ヲ豫備ニ置クモ妨ケナシ尤モ國道ハ此限ニ非ス

第六條 新道改修及大修繕ヲ爲ストキ池沼ノ埋地或ハ地質善良ナラサル箇所ハ砂利ノ下ニ玉石又ハ碎石ヲ布クヘシ 但玉石碎石ヲ布クトキハ最初ローラル或ハ蝟木ニテ地盤ヲ堅ムルノ後玉石又ハ碎石ヲ三寸乃至四寸ヲ布キ之ヲ堅メ土ヲ二寸乃至三寸ヲ置キ又之ヲ堅メ而シテ第四條第五條ニ倣ヒ砂利ヲ布クヘシ

第七條 橫斷路面ノ形狀ハ橢圓形トス其勾酌ハ平均三十分ノ一トスヘシ 但道路ノ一方溪谷ニ沿フトキハ片斜形谷ノ方ヲ高クストナシ齒止石ヲ設クヘシ

第八條 阪路及屈曲ノ幅員ハ其勾配屈曲ノ緩急ヲ酌量シ前後ノ道幅ヨリ廣クシ左右ニ濕拔ヲ設ケ勾配國道ハ三十分ノ一縣里道ハ二十五分ノ一以内トシテ修築ニ最モ注意スヘシ

第九條 道路ノ地質善良ナラサル所或ハ持土ヲナストキハ可成砂ヲ混入スヘシ 但持土ヲ

ナスハ池沼ノ埋立低地ノ床上ケ等不得止モノニ限ル此場合ニ於テハ地質ニ注意シ可成乾燥ノ土ヲ用ユヘシ且持土ヲナストキハ三寸毎ニ突堅ムヘシ

第十條 修路ニ要スル砂利ハ八分目三分目篩ヲ以テ二度篩ノ砂利ヲ用ユヘシ 但新道ニ要スル砂利ハ其時々仕様帳ヲ以テ伺定ムヘシ

第十一條 道路ハ平素注意シ大破ヲ豫防スル爲メ砂利ヲ貯蓄シ置キ小破アルトキハ速カニ修繕ヲ加ヘ大破ニ至ラサシムヘシ

第十二條 小破修繕ハ路面ニ少シク凹所ヲ生シタルトキハ直チニ其部分ヲ少シク掘起シ然ル後不陸ヲ直シ砂利ヲ適宜ニ散布シローラル或ハ蝟木ヲ以テ之ヲ堅メ修繕ヲ加ヘサル部分ト結合シ易キヲ務ムヘシ

第十三條 小破修繕ハ路面ノ濕氣ヲ含ミタル時ニ於テ施行シ若シ降雨ナキトキハ適宜ニ水ヲ注テ施行シ車馬ノ通行偏倚セサル様注意スヘシ

第十四條 小破修繕箇所數所アルトキハ必ス凹所ノ尤モ甚シキ部分ヨリ先ニ著手スヘシ

第十五條 橋梁ハ可成道路幅員ト同一ニシ小流ニハ土管或ハ暗渠ニナスヘシ 但橋梁ヲ架スル爲メニ河川溝渠ノ幅員ヲ廣狹ナラシムルトキハ其組合又ハ地元町村ニ協議スヘシ

第十六條 橋梁ノ構造ハ可成堅牢ノ土橋ニシ橋面平積一坪ニ付四百貫目ノ重量ヲ積載シ得ルモノトナスヘシ

第十七條 道路ニ障礙ヲナス竹木アルトキハ體裁風致ヲ損セサル様其枝葉ヲ伐採ナサシム

第十八條 地方稅ヲ以テ施行スル道路ハ懲役人ヲ仕役スルノ外都テ廣ク投票ナサシメ其最低價ヲ以テ期限ヲ定メ受負規則ニ準據シ砂利ヲ購買シ又修路ヲ受負ハシムヘシ 但橋梁モ之ニ準ス

第十九條 地方稅ヨリ補助シテ施工スル道路ハ砂利價格等近傍其職ノ者ニ就キ廣ク評價ヲ取り其最低價ヲ以テ組合或ハ地元町村ニ命スヘシ其組合又ハ地元町村ニ受ケサルトキハ前條ニ據ルヘシ 但同斷

第二十條 地方稅ヲ以テ施行ノ道路修築中ハ擔任技手寸暇モ工場ヲ去ルヘカラス若シ他ニ用務アルカ又ハ丁場長間ニ亘リ監督届カサルトキハ工事熟練ノ傭員ヲ置キ監督ノ補助ナサシムヘシ 但工費ヲ以テ傭員雇入スルトキハ事由ヲ具シ上請スヘシ

第二十一條 郡役所々管ノ工事ニシテ地方稅ヨリ補助アル線路ハ時々巡視監督スヘシ

○乙第五百五十九號 明治十七年十二月二十日 郡長 役 場所
道路ニ横出スル木竹ノ枝葉ハ其道路ノ障礙ヲナスコト不少儀ニ付官地ニアルモノハ郡長ニ於テ處分シ民有ニ屬スルモノハ持主ニ於テ伐採候様可取計此旨相達候事

○埼玉縣令第二十三號 明治三十年四月二十日
明治二十年五月 勅令第十二號私設鐵道條例第十條ニ依ル施設ニ付テハ豫メ必要ノ書類圖面等ヲ添へ出願ノ上知事ノ許可ヲ受クヘシ

○乙第四十六號

明治十七年五月一日

郡長 役 場所

道路開設修繕等ノ爲メ電信ノ線路ヲ變換シ又ハ電信柱ヲ移轉センコトヲ請求スル時ハ其向ニ於テ實地ヲ調査シ不得止ニ出ルモノハ多少ヲ論セス轉換可取計候得共其費用ハ都テ請求者ニ於テ支辨可致義ト可相心得旨工部省ヨリ被達候條此旨相達候事 但家屋構造又ハ店頭商業ノ支障等ニテ電信柱ノ移轉ヲ請求スル分ハ此限リニアラフ

○訓令第六十三號

明治二十三年七月二十五日

郡村 役 場所

道路橋梁修築等ニ際シ衆庶ノ往來車馬ノ通行ヲ止ムル儀ハ公衆ノ不便ヲ感スル尠カラサルニ付右等通行止ヲ爲ス場合ニ於テハ事實精査ヲ遂ケ工事上大ナル支障アルカ又ハ通行ニ危険ノ虞アルモノヲ除クノ外ハ可成一般交通ノ便ヲ缺カサル様注意スヘシ

第一款 雜 件

郡 役 所

○縣訓令第三百九十三號

明治二十五年八月十二日

明治十八年八月丙第十一號水害表及明治十九年二月丁第十四號土木工費總計表別表ノ通改正ス 但別表ハ別ニ頒ツ(表式)

第二部 土木課

○廳達第二十九號

明治二十一年五月五日

土木工場查察規程左ノ通定ム

土木工場查察規定

第一條 工場ヲ巡回シ工事ノ方法經費及物品ノ出納等ヲ查察スルハ第二部長ノ任トス第二

部長ハ毎年一回之ヲ施行シ尙ホ技術官服務規程第二十五項ニ依リ臨時課僚ヲ派遣シテ其
検査ヲナサシムヘシ

第二條 検査スヘキ事項概テ左ノ如シ

- 一 工事施設ノ適否及其順序
- 二 經費出納ノ方法
- 三 物品ノ出納及管理ノ方法
- 四 器械取扱ノ順序

第三條 前條ノ外技術官以下ノ行爲ニ對シ視察スヘキ事項概テ左ノ如シ

- 一 職工人夫ノ使役上苛酷又ハ緩慢ノ行爲ナキヤ
 - 二 工場備員ノ指揮監督宜ヲ得ルヤ
 - 三 工場ノ管理行届クヤ
 - 四 工事關係人ニ對シ廉潔懇篤ナルヤ
 - 五 工事關係人ト金錢ヲ貸借スル等ノコトナキヤ
 - 六 怠惰ニ流レ容儀ヲ紊シ他ノ輕侮ヲ招クカ如キコトナキヤ
- 第四條 查察上必要ト思惟スル帳簿書類及工事物件ハ如何ナル場合ト雖モ便宜之ヲ點檢シ
其調書ヲ要求シ又ハ主任官ノ辯明書若クハ證明書ヲ要求スルコトヲ得ヘシ
- 第五條 成規定例ニ悖戾シタルカ又ハ專斷ニ出タル事件アルトキハ其顛末ヲ問ヒ糺シ事ニ

害ナキモノハ將來ヲ戒メテ之ヲ更正セシメ事ニ害アルモノハ其執行ヲ停メテ指揮ヲ待タ
シムヘシ

第六條 巡回中ハ土功ニ關スル總テノ事項ニ注意シ他日ノ參考トナルヘキモノハ細大トナ
ク其調書ヲ製シ復命書ニ添ヘテ提供スヘシ

第七條 查察シタル事項ハ歸廳後復命書ニ詳記シテ之ヲ差出スヘシ 但他ノ見聞ヲ憚リ復
命書ヘ記載シ難キ事項ハ口頭ヲ以テ部長ハ知事ニ課僚ハ部長ニ具陳スヘシ

○廳第七十四號 明治二十三年十一月二十二日

内務部第二課

技術官服務規程左ノ通改正ス

技術官服務規程

第一項 本規程ニ於テ技術官ト稱スルハ總テ土功ニ從事スル技師及助手ヲ云フ

第二項 技師ハ土功ニ關シテハ此服務規程ニ依リ助手及工場所屬ノ備員ヲ指揮監督スルモ
ノトス

第三項 技師ハ管内一般ノ工事施設等ノ適否ヲ監査シ新設及修繕等ヲ要スル箇所ヲ視察ス
ヘシ其出張ハ知事之ヲ命ス

第四項 技師ハ土功ノ施設ヲ擔在シ若クハ助手ヲシテ之カ設計ヲ爲サシメ總テ其責ニ任ス
ルモノトス

第五項 技術官ノ出役ヲ分テ工場擔任巡視及臨時出張ノ三種トス工場擔任ノ出張ハ工場ヲ

指定シ巡視ハ區域ヲ指定シ臨時出張ハ事項ヲ指定シ共ニ技師ノ意見ヲ聞キ知事ノ決裁ヲ經テ部長之ヲ命スルモノトス

第六項 工場擔任ノ技術官ハ工場所屬ノ傭員ヲ指揮監督シ擔任ノ工事ヲ管理シ其工事ニ就テハ責ニ任スルモノトス

第七項 毎工場ニハ技術官一名ヲ出張セシム技術官ハ便宜ノ地ニ止宿シ工場ヲ管理シ其事務ヲ處理スヘシ 但止宿所ハ課長ニ報告スヘシ又事務ノ都合ニ依リ臨時他ニ止宿スルトキハ行先ヲ止宿所ニ告ケ置クヘシ

第八項 巡視ヲ命セラレタル技術官ハ指定區域内ノ河川堤防道路橋梁等ヲ巡視シ新設改良及修繕ヲ要スル箇所ヲ調査シ意見ヲ提出シ又臨時修繕ヲ要スル箇所ヲ見聞シタルトキハ經費ノ所屬ヲ調査シ直ニ目論見帳ヲ調製シテ申報スヘシ

第九項 工事設計ノ要ハ土功ノ利害得失ヲ調査シ技術上正確ノ設計ヲ立ツルニアリト雖經費ノ多寡負擔ノ輕重ハ實地上重要ノ關係アルヲ以テ彼是斟酌ヲ加ヘ實地恰當ノ計畫ヲナスヘシ

第十項 土功ハ總テ各其擔任ノ技術官ニ於テ處理スヘキハ勿論ナリト雖若シ事務ノ多端ナルカ爲メ定員ニテ處理シ難キトキハ甲乙助勤ヲ命シ或ハ一部分ノ擔任ヲ定メテ臨時技術官ヲ出張セシムルコトアルヘシ

第十一項 臨時出張ヲ命セラレタル技術官ハ其指定ノ事務ヲ處理スヘシ 但一部ノ工事ヲ擔任スル場合ニ於テハ工場所屬傭員ノ指揮監督等ニ係ル事項ハ第六項ノ例ニ依ル

第十二項 工場擔任及臨時出張ノ技術官ハ土功ノ利害ヲ調査シ民意ノ如何ヲ考察シ意見アルトキハ之ヲ提出スルコトヲ得

第十三項 第八項ノ意見案並目論見帳及第十二項ノ意見ヲ技術官ヨリ提出シタルトキハ技師ニ附シテ調査セシメ意見ヲ述ヘシムルモノトス

第十四項 技術官ハ總テ經費ノ確定セサル土功ヲ專決施設スルコトヲ得ス若シ經費ノ確定ヲ待ツニ暇ナキトキハ知事ノ指揮ヲ請クヘシ 但水防ノ如キ急迫ノ場合ニ於テ指揮ヲ待ツコト能ハサルモノハ便宜處分ノ後事由ヲ知事ニ具申スヘシ

第十五項 工所用物件ハ各豫算金額ノ設アリ且買上ノ手續アリト雖成ルヘク價格ヲ吟味シ勉メテ低廉ノモノヲ選用スルヲ要ス 但價格ノ低廉ニ偏シテ工事ノ構造物件ノ品質ヲ變換シ寸法數量ヲ減殺スルコトヲ得ス

第十六項 技術官ハ土功ノ著手以前ニ於テ施行ノ方法例ヘハ直仕立又ハ入札請負又ハ町村請負ノ區別其他著手ノ期日成功ノ日限等ヲ豫定シ知事ノ認可ヲ受クヘシ 但豫メ施行順序ヲ指示セシモノハ此限ニアラス

第十七項 土功ノ落成ニシテ左ノ第一ニ掲クルモノハ部長及技師第二ニ掲クルモノハ技師及課長ニ於テ臨檢スヘシ其他ハ臨時出張ノ技術官ニ於テ之ヲ檢査シ其景況ヲ部長ニ報告スヘシ

一 五百圓以上ヲ要スル新設改良ノ工事、三千圓以上ヲ要スル増築ノ工事、五千圓以上ヲ要スル修繕ノ工事

二 五百圓未滿ノ新設改良工事、三千圓未滿ノ増築工事、貳千圓以上五千圓未滿ノ修繕工事

第十八項 土功ノ設計及落成ニシテ前項部長以下ノ臨檢ヲ受クヘキモノハ擔任ノ技術官ニ於テ實地ノ模様ヲ量リ臨檢ノ時期ヲ豫定シ課長ニ報告スヘシ 但事務ノ都合ニ依リ報告ノ時期前後ニ於テ臨檢スルコトアルヘシ

第十九項 技術官ハ確定セシ工事ノ仕様ヲ肆ニ變更スルヲ得ス若シ實地ニ於テ變更セサルヲ得サルモノアルトキハ先ツ經費ノ過不足ヲ計査シ意見案ヲ調製シ知事ノ指揮ヲ請クヘシ

第二十項 技術官ニ於テ郡長又ハ町村長ノ囑托ニ係ル土功ノ設計又ハ施設ノ擔任ヲ命セラレタルトキハ細大其管理者ト商議シ事ニ害ナキ限リハ成ルヘク其望ヲ達セシムヘシ若シ土功ノ得失ニ關シ商議相整ハサルトキハ其事由ヲ知事ニ具申シテ指揮ヲ請クヘシ

第二十一項 技術官ハ木材、鐵物、砂石、持土其他總テ工事ニ要スル物件ハ綿密檢査ヲ遂ケ若シ品質ノ悪キモノ又ハ寸法數量等ノ違フモノアルトキハ寛假ナク之ヲ交換セシメ又ハ之ヲ補充セシムヘシ

第二十二項 工事用物件ニシテ檢査スヘキモノハ敏速ニ之ヲ處分シ請負人等ニ時日ヲ空過

セシムルカ如キ不便ヲ與フヘカラス若シ不得止事故アリテ即時ニ處分スルヲ得サルコトアルモ落成檢査ヲ除クノ外工事ニ要スル物件ハ必ス二日以内ニ於テ檢査スヘシ

第二十三項 技術官ハ出張中日誌ヲ作り處理セシ事件ノ要領ヲ摘記シ工場擔任ニアリテハ每一箇月限リ之ヲ差出シ巡視及臨時出張ニアリテハ歸廳後復命書ヲ作りテ差出スヘシ 技師監督ノ爲メ出張セシトキハ歸廳ノ上會食又ハ廳務會ノ節其土功ノ情況ヲ知事部長及課長ニ陳述スヘシ

第二十四項 技術官ハ工事毎ニ經費收支簿及物件受拂簿ヲ調製シ豫定ノ員額ヲ收受トシ日支拂ノ差引ヲナシ常ニ現額ヲ明ニシ經費ノ不足物件ノ紛雜ナカラシムルヲ要ス

第二十五項 技術官ハ工場毎ニ器械臺帳ヲ調製シ増減ノ都度之ヲ加除シ其購入ニ係ルモノハ代價及經費ノ所屬ヲ附記スヘシ 但器械ヲ役夫ニ貸與スルトキハ其證憑ヲ取置クヘシ 第二十六項 技術官ハ工事用物件及殘木古材等ヲ一己ノ意見ヲ以テ他ヘ流用シ或ハ之ヲ賣却スルコトヲ得ス

第二十七項 土功ニ不用ノ物品ヲ生シタルトキハ技術官ニ於テ名稱及員數ヲ調査シ沽却ノ見込價格ヲ附シ處分方法ノ意見ヲ具シ知事ノ指揮ヲ請クヘシ

第二十八項 工場ニハ臨時土木課僚ヲ派出シ工事ノ方法經費及物品ノ出納ヲ查察セシムルコトアルヘシ技術官ハ派出員ノ需ニ依リ何事ニテモ查察ノ便ニ供シ且質問アル事項ニ就テハ詳密ニ答辯スヘシ 但常置委員ノ巡視シタル場合ニ於テモ本文ニ準シ可成查察ノ便

宜ヲ與ヘ且質問アルトキハ應答シ其情況ハ詳細課長ニ報告スヘシ

第二十九項 技術官ハ土功ノ費途ヘ金員物件ヲ寄附セントスルモノアルトキハ工事ノ仕様寄附ノ手續等ヲ懇篤指示シ成ルヘク其志望ヲ達セシムヘシ

第三十項 技術官ハ出張中殊ニ品行ヲ方正ニシ工事關係者ト漫ニ交通スヘカラス又職務ヲ以テ應接スル場合ニアリテハ信切叮嚀ヲ主トシ廳中ニ在ルト等シク容儀ヲ慎ミ官吏ノ體面ヲ損セサルヲ要ス

第三十一項 技術官ハ水防等急迫ノ事務ヲ除クノ外肆ニ他ヘ出張スヘカラス若シ工事ノ都合ニ依リ他ニ商議ヲ要シ又ハ臨檢ヲ要スルトキハ其事由ヲ課長ニ報告シテ發程スヘシ但父母疾病危篤ノ場合ニ於テハ願書ヲ出シ直ニ出發スルコトヲ得

第三十二項 土功ニ對スル違犯者アルトキハ綿密ニ證據ヲ取調ヘ事實ヲ誤ラサル様處理スルヲ要ス若シ其所爲惡意ニ出タルニアラス且損害ナキトキハ事由ヲ知事ニ具申シテ指揮ヲ請クヘシ

第三十三項 技術官ニ於テ土功ニ對スル違犯者ヲ警察署ニ告發シタルトキハ其告發書ノ謄本ニ事由書ヲ添付シ直ニ課長ニ報告スヘシ 但損害アルモノハ其調書ヲモ添フヘシ

第三十四項 技術官ハ町村費及私費支辨ノ土功ニ就テモ其公衆ニ利害ノ關係アルモノハ總テ監査ノ責アルモノトス若シ監督上指揮ヲ爲スノ必要アリト認メタルトキハ意見ヲ具シ知事ニ提出スヘシ 但直接土功ニ干涉スルヲ得ス

第三十五項 技術官ハ土功ニ關スル規程ノ制定ヲ要スル事項ヲ實驗シ又ハ現行ノ規則手續等ニ就テ追加改正ヲ要スヘキ意見アルトキハ其事由ヲ詳記シテ知事ニ提出スヘシ

前項ノ意見書ニシテ技手ノ提出ニ係ルモノハ技師ニ附シテ調査セシメ意見ヲ陳ヘシムルモノトス

第三十六項 技手ニ於テ土功ノ新設改良等重大ノ事項ニ係ル目論見仕様帳等ヲ調製スルトキハ技師ノ指揮ヲ受ケ若クハ目論見仕様帳ヲ調製シタル後其監査ヲ受クヘシ

第三十七項 知事若クハ部長ヨリ技術官ニ下附スヘキ文書ハ課長ヲシテ交付セシム又技術官ヨリ知事若クハ部長ニ提出スヘキ文書ハ總テ課長ニ差出スヘシ又技術官ニ於テ知事若クハ部長ニ面陳ヲ要スルトキハ先ツ其要領ヲ課長ニ陳告シテ後具陳スヘシ 但出張先ニ於テスルモノハ此限ニアラス

○埼玉縣令第三十號 明治三十年六月四日

縣吏員設置並給料旅費手當支給規則縣會ノ決議ヲ經テ左ノ通定ム

縣吏員設置並給料旅費手當支給規則

第一章 總 則

第一條 土木事業ノ爲メ縣吏員ヲ置キ土木工手ト稱ス

第二條 土木工手ハ事務ノ繁簡ニ依リ休職ヲ命スルコトアルヘシ休職ハ六箇月ヲ期トシ期滿ツレハ其職ヲ免シタルモノトス

第三條 給料旅費手當ハ本則ノ定ムル處ニ依リ支給ス

第二章 給料

- 第四條 給料ハ月給六圓以上三拾圓以下トス
- 第五條 給料ハ毎月二十六日支給ス 但休日ニ當ルトキハ繰上トス
- 第六條 新任増俸減俸トモ發令ノ翌日ヨリ支給ス
他ノ職務ニ轉スルトキハ發令ノ當日迄支給ス
- 第七條 日割計算法ハ其月ノ現日數ニ依リ厘位未滿ノ端數ハ切捨トス
罷免又ハ死亡ノトキハ其月給料ノ全額ヲ支給ス
- 第八條 病氣ノ爲メ執務セサルコト六十日ヲ踰ユル者ハ給料ノ半額ヲ減ス 但公務ノ爲メ傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタル者ハ此限ニアラス
- 私事ノ故障ニ依リ執務セサルコト二十日ヲ踰ユル者ハ給料ノ半額ヲ減ス
病氣ト私事ト交互繼續シ前後通算シテ六十日ヲ踰ユルトキハ給料ノ半額ヲ減ス 但私事ノ故障ニ據リ其期限ヲ過キ已ニ減給ノ者ハ尙疾病ノ爲メ執務セサルモ本給ニ復セス
- 第九條 第六條第二項及第七條ノ場合ニ於テハ第五條ノ期日ニ拘ハラズ其時々支給ス
- 第十條 休職ヲ命シタル者ノ給料ハ現給三分ノ一ヲ支給ス

第三章 旅費

- 第十一條 旅費ハ汽車賃汽船賃馬車賃日當ノ四種トス
- 第十二條 汽賃車ハ一哩毎ニ貳錢汽船賃ハ一海里毎ニ貳錢馬車賃ハ一里毎ニ八錢日當ハ一日毎ニ五拾錢ヲ支給ス 但旅行ノ性質ニ依リ定額ノ車馬賃ヲ以テ支辨シ難キトキハ特ニ

實費ヲ給スルコトヲ得

- 第十三條 受持ヲ定メ出張セシムルトキハ其區域内ノ旅行ニハ汽車賃及車馬賃ヲ支給セス 但旅行ノ性質ニ由リ特ニ車馬賃ノ實費ヲ支給スルコトヲ得
受持區域ノ廣狹ニ依リ定額ノ日當ヲ減少シ等數ヲ設ケ支給スルコトヲ得
病氣其他私事ノ故障ニ依リ執務セサルコト二日以上ニ及フトキハ三日ヨリ日當ヲ支給セス
 - 受持區域内外ニ涉ル旅行ノ路程汽車十哩陸路六里未滿ハ受持區域内ノ日當ヲ支給ス 但受持區域外ニ於テ宿泊シタルトキハ定額ノ日當ヲ支給ス
受持區域内外ニ涉ル旅行ハ受持區域内ノ出發地ヨリ受持區域内ニ到著シタル地迄ヲ以テ一旅行トナシ其路程ヲ打切り計算スヘシ
 - 第十四條 第十一條乃至第十三條ニ規定ノ外ハ總テ内國旅費規則ニ據ル
- 第四章 手當
- 第十五條 職務ノ爲メ傷痍ヲ受ケタル者ハ療治料(藥價及施術料)ノ實費ヲ支給ス
 - 第十六條 職務ノ爲メ癱疾不具トナルモ自用ヲ辨シ得ルモノニハ一時金三拾圓以上五拾圓以內ノ手當ヲ支給ス
 - 第十七條 職務ノ爲メ癱疾不具トナリ自用ヲ辨スルコト能ハサルモノニハ一時金五拾圓以上百圓以內ノ手當ヲ給ス

第十八條 職務ノ爲メ死亡シタル吏員ノ遺族ニハ一時金五拾圓以上百五拾圓以内ノ扶助料ヲ支給ス

第十九條 職務ノ爲メ死亡シタルトキハ金貳拾五圓ノ埋葬料ヲ支給ス

○丙第三百四號 明治三十年六月三十日

内務部

道路定工夫規程左ノ通定ム

道路定工夫設置規程

第一條 縣費支辨ニ屬スル道路ニ道路定工夫ヲ置ク

第二條 道路定工夫ハ主務吏員ノ指揮監督ヲ承ケ道路橋梁側溝並木等修理保存ノ業務ニ從事シ兼テ豫備砂利ノ看守ニ任セシム 但時宜ニ依リ他ノ業務ニ從事セシムルコトアルヘシ

第三條 道路定工夫ハ毎日受持區域ノ道路ヲ巡視シ破損アル場合ニハ直ニ修理ヲ加フヘシ 但修理ノ爲メ備豫砂利ヲ使用スルコトヲ得

第四條 道路定工夫ハ道路橋梁等大破ヲ生シ自身修理シ能ハサルトキハ直ニ其箇所及狀況等ヲ主務吏員ニ報告スヘシ

第五條 道路定工夫ハ書式ニ據リ十日毎ニ修補セシ要領ヲ主務吏員ニ報告スヘシ

第六條 道路定工夫ハ道路橋梁側溝並木等ノ保存上障害トナルヘキ所爲ヲ認メタルトキハ直ニ之ヲ制止シ其住所氏名ヲ聞取主務吏員又ハ最寄警察官吏ニ申告スヘシ

第七條 道路定工夫ニハ必要ノ器械ヲ貸與スヘシ

第八條 前條ノ貸與品ニシテ自然破損ヲ生シタルトキハ主務吏員ニ其事由ヲ申告シ修補ヲ請フヘシ若シ其破損故意怠慢ヨリ生シタルトキハ自費ヲ以テ修補セシム

第九條 道路定工夫ヲ命セラレタルモノハ本縣管内ニ土地若クハ家屋ヲ有スルモノ二名以上ノ身元保證人ヲ立テ連署シタル誓約書ヲ差出スヘシ

第十條 道路定工夫ハ主務吏員ノ許可ヲ受ケ一定ノ住所ヲ定ム可シ

第十一條 道路定工夫ハ疾病其他ノ事故ニヨリ業務ニ從事スルコト能ハサルトキハ主務吏員ノ許可ヲ受ケ相當代人ヲ出スコトヲ得 但此場合ニ於テハ自己ノ利益ノ爲メ他ノ業務ニ從事スルコトヲ得ス

第十二條 道路定工夫中特別勉勵ノ者ニハ主務吏員ニ於テ一ヶ月三日以内ノ褒賞休暇ヲ與フルコトヲ得

第十三條 道路定工夫ハ主務吏員ノ許可ヲ得徽章ヲ附スルコトヲ得 但解雇セラレタルトキハ其徽章ヲ廢滅シ主務吏員ノ承認ヲ受ク可シ

第十四條 道路定工夫ニハ一箇月拾貳圓以内ノ手當ヲ支給ス 但他ノ業務ニ從事セシメタルトキ又ハ疾病其他ノ事故ニヨリ業務ニ從事セサルトキハ其月ノ日割ヲ以テ手當ヲ扣除ス 但代人ヲ出シタル場合ハ此限りニアラス

第十五條 道路定工夫ヨリ差出ス文書ハ總テ主務吏員ヲ經由スヘシ

第七類 土木 第二款 雜件

附則

第十六條 道路定工夫ハ樞要ノ道路ヨリ漸次設置ス

修補要領旬報

年月日	修路箇所			砂利置場番號	砂利使用高	砂利殘高	摘	要
	町村名	大字名	小字名					

右及報告候也

何道何町村間受持道路定工夫

何 誰 印

年月日 工事擔任者

官氏名宛

○廳達第四十二號

明治二十一年十月二十七日

第二部土木課

治水生徒養成規則左ノ通定ム

治水生徒養成規則

第一條 治水生徒ハ本縣貫籍ニシテ修業ノ後本縣ノ土木事業ニ從事セントスルモノヲ撰ビ 地方稅土木費ヲ以テ之ヲ養成スルモノトス

第二條 生徒ハ所定ノ學校ニ於テ土木ニ必要ナル學科ヲ修メシム其修業年期ハ五箇年以内 トス 但時宜ニ依リ本縣土木工場ニ於テ主任技師若クハ技手ヲシテ實業ヲ教授セシムル コトアルヘシ

第三條 生徒修業中ハ學資トシテ一箇月金拾圓ヲ給シ入學轉校又ハ實業研究ノ爲メ特ニ旅行ヲ命シタルトキハ土木課備員ニ準シ旅費ヲ給スヘシ 但書籍器械筆墨紙等總テ自費タリト雖モ書籍器械ニシテ高價ノモノハ特ニ之ヲ貸與スルコトアルヘシ

第四條 生徒ハ修業年限ニ二倍シタル年期间(例ハ一年間修業セシモノハ二年間)本縣土木事業ニ従事スルノ義務アルモノトス 但相當ノ給料ヲ給スヘシ

第五條 生徒修業中品行不良又ハ怠惰等ニシテ解放ヲ命セラレ又ハ中途ニシテ廢學ヲ願出テタルトキハ學資ヲ還納セシムヘシ 但本縣ノ都合又ハ疾病傷痍ニ依リ解放廢學ヲ命シタルモノハ此限ニアラス

第六條 生徒義務年期内自己ノ便宜ニ依リ辭罷スルカ又ハ懲戒處分若クハ刑事ニ關シテ解免セラレタルトキハ前條ノ例ニ準シテ學資ヲ還納セシムヘシ

第七條 前兩條ノ場合ニアリテハ已ニ給與ヲ受ケタル學資ノ全額ヲ三十日以内ニ還納スヘシ若本人ニ於テ還納スルコト能ハサルトキハ保證人ニ於テ之ヲ辨償スヘシ